

末日聖徒イエス・キリスト教会・2015年4月号

リアホナ



救い主の
神聖な犠牲について
理解する, 34ページ

弱いことはなぜ罪ではないのか, 20ページ

家庭の夕べを成功させるには,
10, 80ページ



「あなたがたのうちに、百匹の羊を持っている者がいたとする。その一匹がいなくなったら、九十九匹を野原に残しておいて、
いなくなった一匹を見つけるまでは捜し歩かないであろうか。
そして見つけたら、喜んでそれを自分の肩に乗せ〔るであろう〕。」

ルカ 15：4－5

2010年4月にイスラエルで撮られたこの写真は、羊飼いが危険を冒しても自分の羊を救い出すことを伝えている。



メッセージ

- 4 大管長会メッセージ——
モンソン大管長が求める勇気**
トーマス・S・モンソン大管長
- 7 家庭訪問メッセージ——
イエス・キリストの特質
——偽りも偽善もない**

特集

- 14 女性の霊的な影響力**
スターラ・アワーカンブ・バトラー
あなたの女性としての影響力は、目に見える範囲を超えて広がっています。
- 20 弱さは罪ではない**
ウェンディー・ウルリヒ
罪と弱さを見分ける方法と弱さを強さに変える方法を学んでください。
- 26 清い信心**
W・クリストファー・ワデル長老
無私の奉仕に至るこれらの3つの段階について読んでください。
- 30 「絶えず頼り主求む」**
ジョナサン・H・ウェストーパー
賛美歌を歌うことで、この韓国の求道者の家族に大きな変化がもたらされました。

34 救い主の私心のない神聖な犠牲

ボイド・K・パッカー会長
救い主の贖罪を通じて、わたしたちは自分の罪と罪悪感という霊的な負債を清算することができます。

80 家庭のタベ 100 周年

1915年にジョセフ・F・スミス大管長とその顧問たちは会員たちに家庭のタベの方法と目的、祝福を説明し、家庭のタベを開き始めるように勧めました。

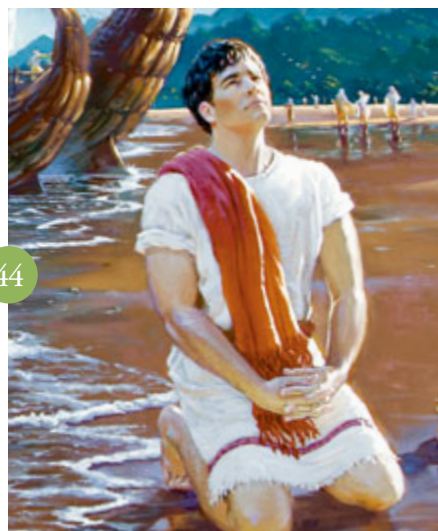
シリーズ

- 8 キリストについて語る——
信仰の力**
アンバー・バーロー・ダール
- 10 わたしたちの家庭、
わたしたちの家族——
家庭のタベ——
あなたにもできます**
- 12 福音クラシック——
主はよみがえられた**
デビッド・O・マッケイ大管長
- 40 末日聖徒の声**

表紙

表紙——
「エマオへの道」リズ・レモン・スウィンドル画、
複写は禁じられています
表紙裏——
写真/ジム・ジェフリー
裏表紙裏——
フォトイラストレーション/コディー・ベル

44



44 信仰を込めて前進する

アンソニー・D・パーキンス長老

重大な決定に直面したとき、どうするべきかをニーファイから学んでください。



こんげつごう なか
今月号の中に
かく
隠れている
リアホナを
さが
搜しましょう。

ヒント——

ろうそくは
どこにともすことが
できますか。

49 ポスター—— 主をたずね求めましょう

50 ジョセフのおかげで

テッド・バーンズ

預言者ジョセフ・スミスのおかげで、少なくとも6つの点で皆さんの人生は変わりました。

53 生ける預言者

エズラ・タフト・ベンソン大管長

アダム？ ニーファイ？ モーセ？ 最も大切な預言者は誰かを知ったら、あなたは驚くかもしれません。

54 救い主が示された従順の模範

イエス・キリストは、わたしたちが従うべき9つの規範を示されました。

58 わたしたちのスペース

60 賢明になる方法

ニール・L・アンダーセン長老

世の知恵と神の知恵の違いは何でしょうか。

61 そこが知りたい

62 一つの群れ、一人の羊飼い

羊飼いの仕事の詳細について理解すると、救い主にさらに近づくことができます。

64 質疑応答

どうしたら安心して、問題や心配事をビショップに話せるようになるでしょうか。



54



75

66 あなたのヒーローはだれですか

シャーロット・メイ・シエパード

エリーは、だれが自分の本当のヒーローかをクラスのみんなに話すのをおそれていました。

68 いのり^{いの}と大聖堂^{だいせいどう}

マッケル・ジョージ

ダニはイングランドの大聖堂を訪れたとき、祈りについて大切な教訓を学びました。

70 特別な証人^{しやうじん}——

従順^{じゆん}がそれほど大切なのはなぜですか

ラッセル・M・ネルソン長老^{ちやうろう}

71 すばらしい考え^{かんが}

72 聖文^{せいぶん}の時間^{じかん}——

おもい ひふびょうの^{ひと}人を
いやされる イエス

エリン・サンダーソン

74 新約聖書^{しんやくせいしょ}に 出てくる人^{ひと}——

びょうにんを いやされる イエス

75 正しい道^{ただちのち}

クラウド・D・シビック長老^{ちやうろう}

正しい道にしたがうことで、全てのことがちがってきます。

76 小さな みんなのために ——

イエスが わたしを
あいしておられることを
知っています

ジェーン・マクブライド・チョート

リアホナ 2015 年 4 月号
第 17 巻 4 号 (12564 300)

末日聖徒イエス・キリスト教会国際機関誌 (日本語版)

大管長会: トーマス・S・モンソン、ヘンリー・B・アイリング、ティーター・F・ウーグトルフ

十二使徒定員会: ボイド・K・バックナー、L・トム・ベリ、ラッセル・M・ネ
ルソン、ダリン・H・オックス、M・ラッセル・バラード、リチャード・G・
スコット、ロバート・D・ヘイルズ、ジェフリー・R・ホルランド、デビッド・A・
ベドナー、クエンティン・L・クック、D・トッド・クリストファーソン、ニール・L・アンダーセン

編集長: クレグ・A・カードン

顧問: マービン・B・アーノルド、クリストフェル・ゴールデン、ラリー・R・
ローレンス、ジェームズ・B・マルティン、ジョセフ・W・シターディ

実務運営ディレクター: デビッド・T・ワナー

業務ディレクター: ビンセント・A・ボーン

教会機関誌ディレクター: アラン・R・ロイボーク

ビジネスマネージャー: ガーフ・キャンノ

編集主幹: R・バル・ジョンソン

編集主幹補佐: ライアン・カー

出版補佐: リサ・カロリナ・ロベス

執筆・編集: ブリッター・ビーティ、デビッド・ディクソン、デビッド・
A・エドワーズ、マシュー・D・フリットソン、ローリー・フラー、ギャレット・
H・ガフ、ラリー・ポーター・ガント、ミンディ・アン・リービット、マイ
ケル・R・モリス、サリー・ジョンソン・オデカーク、ジョシュア・J・パー
キー、ジャン・ピンボロー、リチャード・M・ロムニー、ポール・バンテン
バーク、マリッサ・ウィティンソン

編集インターン: メリッサ・ハート

実務運営アートディレクター: J・スコット・クヌーセン

アートディレクター: タッド・R・ピーターソン

デザイン: ジャネット・アンドリュース、フェイ・P・アンドラス、マン
ディー・M・ベントレー、C・キンボール・ボット、トーマス・チャイルド、
ネート・ギネス、コリン・ヒンクレー、エリック・P・ジョーセン、スーザ
ン・ロウグレン、スコット・M・ムーイ、マーク・W・ロビンソン、ブラッド・テ
アー、K・ニコル・ウオーケンホースト

版権および許諾コーディネーター: コレット・ネベカー・オーヌ

制作主幹: ジェン・アン・ピーターズ

制作: コニー・パウソフ、ブリッジ・ジュリー・バーデット、キャティ
ー・ダンカン、ブライアン・W・ギギ、デニス・カービー、ギニー・J・ニルソ
ン、ゲイル・デイト・ラファティ

製版: ジェフ・L・マーティン

印刷ディレクター: クレグ・K・セドウィック

配送ディレクター: スティーブン・R・クリスチャンセン

日本語版翻訳課長: 森田康貴

●定期購読は、「リアホナ」注文用紙」でお申し込みになるか、郵便振替
(口座名: 末日聖徒イエス・キリスト教会 振込口座番号: 00100-6-
41512) にて教会管理本部配送センターへご送金いただければ、直接郵
送いたします。●「リアホナ」のお申し込み・配送についてのお問い合わせ
……〒133-0057 東京都江戸川区西小岩 5-8-6 / 末日聖徒イエス・
キリスト教会 管理本部配送センター 電話: 03-5668-3391

発行所 末日聖徒イエス・キリスト教会

〒106-0047 東京都港区南麻布 5-10-30

電話: 03-3440-2351

価 格 年間購読: 国内 1,030 円 (送料込み)

海外 1,030 円 (+送料実費)

海外在住の方はお近くのデストリビューションセンターへ

のお申し込みをお勧めします。

普通号/大会号 100 円

「リアホナ」へのご投稿およびご質問は、英語版ホームページ iahona.lds.org からお送りください。電子メールの場合は iahona@ldschurch.org へお送りください。また、下記の連絡先でも受け付けています。

Liahona, Rm. 2420, 50 E. North Temple St.,
Salt Lake City, UT 84150-0024, USA

「リアホナ」(モルモン書)に出てくる言葉。「羅計盤」または「指示器」の意)は、以下の言語で出版されています。

アルバニア語、アルメニア語、ヒスラマ語、ブルガリア語、カンボジア語、セ
ブアノ語、中国語、中国語(簡体字)、クロアチア語、チェコ語、デンマーク
語、オランダ語、英語、エストニア語、フィジー語、フィンランド語、フランス
語、ドイツ語、ギリシャ語、ハンガリー語、アイスランド語、インドネシア語、
イタリア語、日本語、キリバス語、韓国語、ラトビア語、リトアニア語、マダガ
スカ語、マーシャル語、モンゴル語、ノルウェー語、ポーランド語、ポルト
ガル語、ルーマニア語、ロシア語、サモア語、スロベニア語、スペイン語、ス
ワヒリ語、スウェーデン語、タガログ語、タヒチ語、タイ語、トンガ語、ウクラ
イナ語、ウルドゥー語、ベトナム語 (発行頻度は言語により異なります。)

©2015 Intellectual Reserve, Inc. All rights reserved. 印刷: 日本
「リアホナ」に掲載されている文章や視覚資料は、教会や家庭において一時
的に、また非営利目的に使用することは複写することができます。視覚資
料に関しては、作品の著作権表示に制限が記されている場合に複写できな
いことがあります。著作権に関するご質問は、Intellectual Property
Office, 50 E. North Temple St., Salt Lake City, UT 84150, USA に
郵送するか、電子メール——cor-intellectualproperty@ldschurch.org にご連絡ください。

For Readers in the United States and Canada:
April 2015 Vol. 39 No. 4. LIAHONA (USPS 311-480) English
(ISSN 1080-9554) is published monthly by The Church of Jesus
Christ of Latter-day Saints, 50 E. North Temple St., Salt Lake
City, UT 84150, USA subscription price is \$10.00 per year;
Canada, \$12.00 plus applicable taxes. Periodicals Postage Paid
at Salt Lake City, Utah. Sixty days' notice required for change
of address. Include address label from a recent issue; old and
new address must be included. Send USA and Canadian
subscriptions to Salt Lake Distribution Center at address
below. Subscription help line: 1-800-537-5971. Credit card
orders (American Express, Discover, MasterCard, Visa) may be
taken by phone or at store.lds.org. (Canada Post Information:
Publication Agreement #40017431)

POSTMASTER: Send all UAA to CFS (see DMM 707.4.12.5).
NONPOSTAL AND MILITARY FACILITIES: Send address changes
to Distribution Services, Church Magazines, P.O. Box 26368,
Salt Lake City, UT 84126-0368, USA.

家庭の夕べのためのアイデア

今月号には、家庭の夕べで活用できる記事や活動が載っています。

以下に二つの例を挙げます。



「絶えず頼り主求む」30 ページ——「絶えず頼り主求む」の歌詞をきっかけに、バク・ミジュンがバプテスマを受ける決心をしたように、賛美歌には大きな影響力があります。賛美歌の歌詞に助けられた経験について考え、それを家族に話すとよいでしょう。家族一人一人に、好きな賛美歌を選んでもらい、その賛美歌によってどのような祝福が得られたかを話してもらいます。その後、それらの賛美歌を家族で歌いましょう。(何週間かに分けて行ってもよいでしょう。)

「いのりと大聖堂」68 ページ——この話を読み、あなたの町にあるさまざまな教会の写真と並べるか、または教会の名前を挙げて、次の質問について家族と話し合いましょう。「わたしたちの教会と他の宗派との共通点は何だろうか。」「天の御父は、御父の子供たちに対してどのような気持ちを抱いておられるだろうか。」「信条の異なる人々にどのように接するべきだろうか。」これらの質問に答えるに当たって、十二使徒定員会 ダリン・H・オックス長老の「真理と寛容のバランスを取る」(「リアホナ」2013 年 2 月号, 28 - 35) を参考にするとよいでしょう。

あなたの言語で

languages.lds.org で、「リアホナ」や、教会のその他の資料を多くの言語で入手できます。

今月号に採り上げられているテーマ

数字は記事の最初のページを表します。

愛, 76

イエス・キリスト, 7, 8, 12, 20,
26, 34, 49, 54, 62, 66,
72, 74, 76

祈り, 68

戒め, 70, 75

癒やし, 8, 72, 74

音楽, 30, 40

改宗・改心, 30

回復, 50

家族, 10, 50

家庭の夕べ, 10, 80

悲しみ, 30, 41

神から受け継いだ特質, 58

教会指導者, 53, 64

悔い改め, 34, 64

決断, 44, 60, 75

罪悪感, 20, 34

サタン, 34, 61

死, 30, 41

従順, 44, 54, 58

贖罪, 20, 34, 49

女性, 14

ジョセフ・スミス, 12, 50

神権, 50

信仰, 8, 20, 44

神殿活動, 30, 43

新約聖書, 54, 62, 72, 74

聖霊, 30, 41, 42, 43, 44,
50, 58

選択の自由, 4, 20, 44

断食, 30

罪, 20, 34

伝道活動, 30, 40

復活, 12, 49

奉仕, 26, 42

ボルノグラフィー, 34

模範, 14, 66

勇気, 4

赦し, 20, 34

預言者, 53



トーマス・S・
モンソン大管長

モンソン大管長が求める

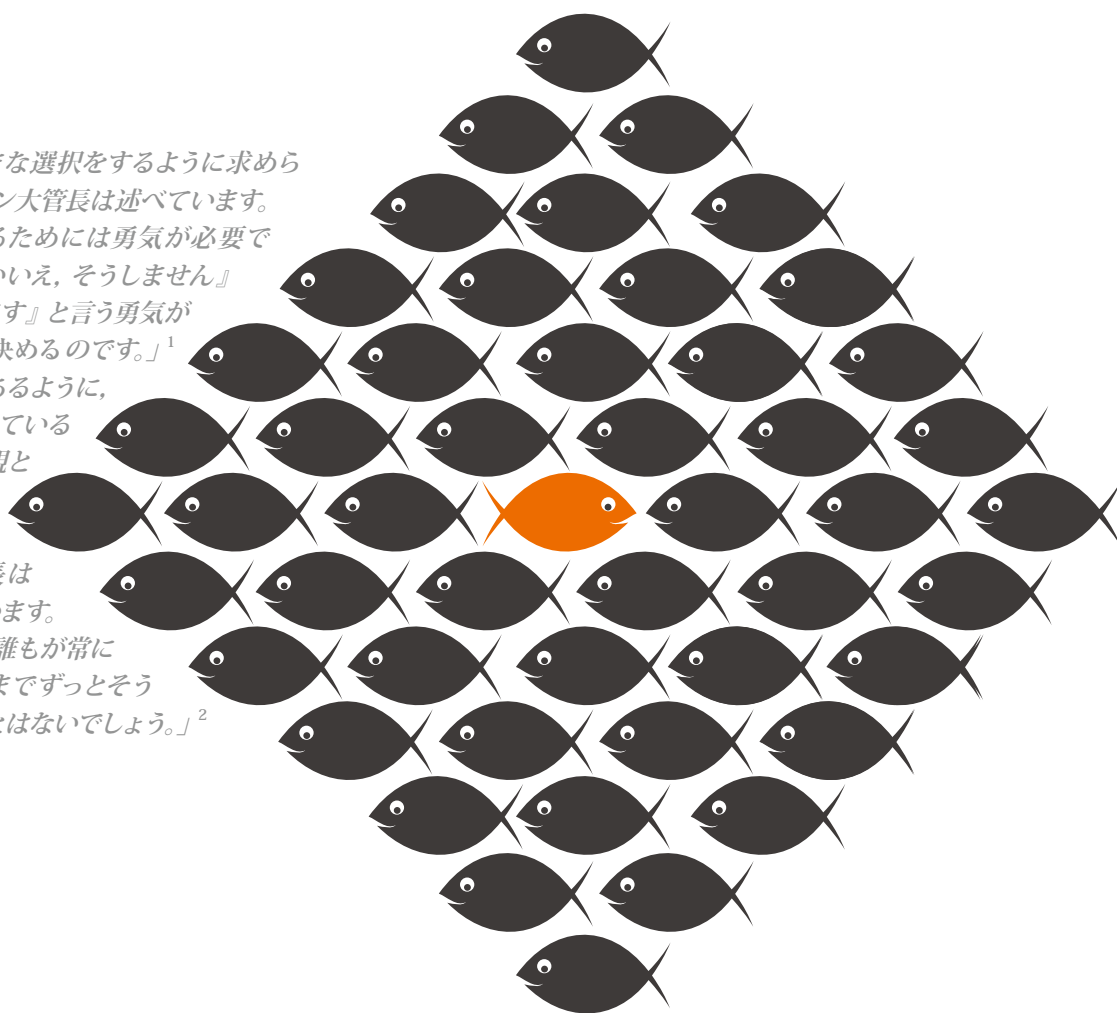
勇 気

わたしたちは常にさまざまな選択をするように求められると、トーマス・S・モンソン大管長は述べています。

そして、賢明な選択をするためには勇気が必要であると勧告しています。『『いいえ、そうしません』と言う勇気と『はい、そうします』と言う勇気が必要です。決断が行く末を決めるのです。』¹

以下に紹介する引用文にあるように、真理と義を守り、自分の信じていることを擁護し、永遠の価値観と原則を受け入れていない世に立ち向かう勇気が必要であることを、モンソン大管長は末日聖徒に思い起こさせています。

大管長は言っています。「誰もが常に勇気を求められます。これまでずっとそうであり、これからも変わることはないでしょう。」²



神は勇気を認めてくださる

「わたしたちは皆、恐れを感じたり、^{あざけ}嘲りを受けたり、反対に遭ったりすることがあるでしょう。わたしたち皆が世間に迎合しない勇気、原則を守る勇気を持ちましょう。妥協せずに勇気を示す人に、神はほほえんでくださいます。勇気とは、雄々しく命を差し出すことだけではなく、確固として高潔に生きることでもあると理解されるとき、勇気は力強い、魅力ある徳となるのです。わたしたちが正しい生活を送るために努力して前進するとき、間違いなく主からの助けを受け、主の御言葉に慰めを見いだすでしょう。」³

勇気をもって耐える

「堪え忍ぶとはどういう意味でしょうか。『勇気をもって耐える』というのがわたしの好きな定義です。信じるために勇気が必要です。従うために、それがなくてはならないことが時折あります。勇気はこの世を去る日まで堪え忍ぶためにどうしても必要なのです。」⁴

真理を守る勇気を持つ

「真理と義を固く守る勇気を〔持てますように〕。今日の社会は主から与えられた価値観と原則から離れる傾向にあるため、皆さんはほぼ間違いなく、自分の信じていることを擁護するように求められることでしょう。皆さんの証の根^{あかし}をしっかりと張っておかなければ、皆さんの信仰に挑む人々の嘲りに耐えるのが難しくなります。しっかりと根を張っていると、福音と救い主と天の御父についての皆さんの証は、生涯にわたって皆さんが行う全てのことに影響を及ぼすことでしょう。」⁵

霊的、また道徳的勇気が必要である

「〔今日〕テレビや映画、その他のメディアが流す情報の大半は、わたしたちが子供の心に植え付けたいと願っている価値観とは正反対のものです。健全な精神を宿し、正しい教義に堅くつくように子供を教える責任はわたしたちにあります。しかし、それ以上に、子供が外からの強い影響に対抗して、正しい道にとどまれるように助ける責任が、わたしたちにはあるのです。時間と努力が必要です。そして自分以外の人を助けるには、まず自分自身が、氾濫する悪に立ち向かうための、霊的、道徳的勇気を持たなくてはなりません。」⁶

常に勇敢であるように

「日々の生活で信仰の試しを逃れることはまずできません。何が良くて何が悪いのかといったことに関して、時に多くの人の中でほんの少数のグループに入ることもあれば、たった一人になることすらあります。……

わたしたちが勇敢であり、信じることを擁護する備えができますように。独りで立たなければならないときは、天の御父とともに立つならば決して独りではないという真実に励まされ、勇気をもってそうすることができますように。」⁷ ■

このメッセージから教える

訪 問先の人たちに、家庭や職場、学校、教会における、勇気をもって行動する必要があるこれからの1週間の状況について考えてもらってください。それは恐れに立ち向かう、何か困難なことに耐える、自分の信じていることを擁護する、あるいは福音の原則にもっと完全に従う決心をするということかもしれません。彼らの考えていることを紹介してもらおうか、書きだしてもらいましょう。

注

1. トーマス・S・モンソン「選びについての3つのR」『リアホナ』2010年11月号、68
2. トーマス・S・モンソン「勇気が求められる」『リアホナ』2004年5月号、54
3. トーマス・S・モンソン「強く、また雄々しくあれ」『リアホナ』2014年5月号、69
4. トーマス・S・モンソン「信じ、従い、堪え忍ぶ」『リアホナ』2012年5月号、129
5. トーマス・S・モンソン、「May You Have Courage,」*Liahona*, 2009年5月号、126
6. トーマス・S・モンソン「あなたを導く3つの目標」『リアホナ』2007年11月号、118
7. トーマス・S・モンソン「一人でも気高く立ち」『リアホナ』2011年11月号、60、67

誰かにとってのサラ

マッケンジー・ミラー

わたしは、「なぜコーヒーを飲まないの?」というような簡単な質問に答えるのに、自分の信仰を持ち出しにくいといつも思っていました。かつては、「とても苦いので」とか「味が好きじゃない」などと言い訳していました。

なぜわたしは恥ずかしがっていたのでしょうか。自分が信じていることを擁護するのを、なぜそんなに恐れたのでしょうか。今振り返ってみると、自分が何を恐れていたのかまったく分かりません。でも、言い訳をして隠そうとするのをやめたときのことは、はっきりと覚えています。

ある日、高校の英語のクラスで、先生が一つのテレビ番組を見ることにすると言いました。それは、わたしが見るべきではないと知っていた番組でした。他の生徒たちが興奮して歓声を上げていたときに、クラスメートのサラが手を挙げて、席を外してよいかと尋ねました。

先生が理由を聞くと、サラは、「わたしはモルモンです。だから、冒瀆の言葉を使う番組は見ないんです」と事もなげに答えました。

クラスの生徒たちを前にして堂々と立つ彼女の勇気には驚かされました。サラのおかげで、わたしも立ち上がり、その番組が終わるまで澄んだ良心をもって教室の外で待つことができました。

それ以来永遠に、わたしは変わりました。話をそらすことなく、自分が信じていることを説明するようになったのです。その結果、わたしは自信を得て、教会と学校の活動に一層参加するようになりました。

サラの模範がわたしにとってどれほど重要であったか、サラに一度も言いませんでしたが、わたしは、自信についての彼女の模範に倣おうと努めています。わたしは今、神のすばらしい神聖な教会の会員であることは少しも恥じることではないと実感しています。自分の模範によって、わたしも誰かにとってのサラになれたならと願っています。

筆者はアメリカ合衆国ユタ州在住です。

こ ども

せいぶんの 中の ゆうきの もはん

モ^{だいかんちょう}ンソン大管長は、わたしたちに ゆうきを もって、自分が しんじることに ちゅうじつであるように 教えています。せいぶんの 中には、ゆうきを しめした 人が たくさん とうじょうします。下の 名前の となりに 書かれた せいくを 読んでください。かれらは、どのよう^{じぶん}に ゆうきを しめし、自分が しんじつだと 知っていることに ちゅうじつで あったでしょう^あか。空いているところに、自分の 答えを ことば^{じぶん}や 絵で かいて ください。

ジョセフ・スミス (ジョセフ・スミス—^{れきし}歴史 1: 11–17)

ダニエル (ダニエル 6: 7, 10–23)

レーマン人サムエル (ヒラマン 13: 2–4; 16: 1–7)

エステル (エステル 4: 5–14; 5: 1–8; 7: 1–6)

祈りをもってこの資料を学び、何を伝えるべきか分かるよう祈り求めてください。
救い主の生涯と役割が理解できるようになると、救い主を信じるあなたの信仰はどれほど増し、
家庭訪問を通してあなたが見守っている姉妹にどれほど祝福が注がれるでしょうか。
詳しくは www.lds.org/callings/relief-society?lang=jpn をご覧ください。

イエス・ キリストの特質—— 偽りも偽善もない

本記事は、救い主の特質に焦点を当てた
家庭訪問メッセージシリーズの一環です。

イエス・キリストは偽りも偽善も
ない御方であると理解する
ことは、主の模範に従おうと忠実に
努力するうえで助けになります。
十二使徒定員会のジョセフ・B・
ワースリン長老（1917－2008年）
はこう言いました。「偽るとは、……
人を欺いたり、迷わせたりすること
です。偽りのない人は、汚れがなく、
正直で、清い目的を持ち、その生活
には、日々誠実に行動するという
簡潔な習慣が表れています。……
教会員が偽りのない者となることが
が、他のいかなる時代にも増して、
今必要とされていると思います。
なぜなら、世の多くの人は明らかに、
この徳の重要性を理解していない
……からです。」¹

偽善について大管長会第二顧問
のディーター・F・ウークトドルフ
管長はこう述べています。「わたし
たちが本来あるべき姿と考えている
キリストのような人物になり得ている



人はいません。けれども、わたし
たちは欠点や罪を犯してしまう性癖を
克服し、イエス・キリストの贖いの
助けによってより善い人物になること
を心から願っています。」²

わたしたちは、次のことを知ってい
ます。「わたしたちは、自分の行いと
心の望み、また自分がどのような人
物となったかによって裁かれる。」³
しかし、わたしたちが悔い改めよう
と努めている限り、さらに聖くなる
ことができるでしょう。「心の清い
人たちは、さいわいである、彼らは
神を見るであろう。」（マタイ5：8）

その他の聖句

詩篇32：2；ヤコブの手紙3：17；
1ペテロ2：1－2，22

注

1. ジョセフ・B・ワースリン「偽りのない者」『聖徒の道』1988年6月号、84、86
2. ディーター・F・ウークトドルフ「ともに集いましょう」『リアホナ』2013年11月号、23
3. 『手引き 第2部——教会の管理運営』（2010年）、1.2.1



信仰・家族・扶助

聖文から

幼な子には偽りがありません。
イエス・キリストはこう言われま
した。「幼な子らをわたしの所に来
るままにしておきなさい。止めては
ならない。神の国はこのような者の
国である。……そして〔子供たち〕
を抱き、手をその上において祝福
された。」（マルコ10：14、16）

キリストは、十字架上で亡くなら
れた後、アメリカ大陸の子供たち
も教え導かれました。主は人々に、
彼らの子供たちを御自分のもとに
連れて来るように命じられました。
「そこで、彼らは幼い子供たちを
連れて来て、イエスの傍らに降ろ
した。イエスはその真ん中に立っ
ておられた。……

そして、イエスはこれらの御言葉
を語ると、涙を流された。群衆は
そのことを証した。また、イエスは
幼い子供たちを一人一人抱いて祝福
し、彼らのために御父に祈られた。
……

そこで彼らは、見ようとして天に
目を向けたとき、……天使がまるで
火の中にいるかのような有様で天
から降^{くだ}って来るのを見た。天使は
降^{くだ}って来ると、幼い子供たちを取り
囲み、……そして、天使は幼い子供
たちに恵みを施した。」（3ニーファ
イ17：12、21、24）

考えてみましょう

偽りのない者となるうえで、わたし
たちは幼い子供たちから何を学べ
るでしょうか。（『聖句ガイド』『偽
り』の項参照）

信仰の力

アンバー・バーロー・ダール

わたしたちが求めたからという理由だけで天の御父がわたしたちを苦難から解放してくださるとしたら、御父は、救いに必要な経験そのものをわたしたちから奪ってしまわれることになります。

大学生の頃のことです。ある年、試験を受けている最中に首が痛み始めました。試験の緊張がほぐれてからも、痛みは引きません。医師や療法士に相談してさまざまな治療を試みたのですが、痛みは取れませんでした。その後1年間というもの、わたしはこの痛みと格闘し、同時に信仰を強くすることについても悩みました。多くの時間を祈りに費やし、聖文を研究し、神権の祝福を求めました。十分な信仰があれば癒やされると思ったのです。

イエス・キリストは病人や目の見えない人、足の不自由な人や重い皮膚病にかかった人を癒やされました。しかし、全ては「〔彼らの〕信仰どおり」に行われたのです（マタイ9：29）。キリストはこの世にいたときにあんなにも多くの人たちを癒やされたのですから、わたしを癒やす力をお持ちでした。それが分かっていたため、わたしは自分に信仰がないから癒やしていただけないのだという結論を下し、今まで以上に努力しました。理学療法を続けながら、祈り、断食し、聖文を研究し、信じたのです。それでも痛みは取れませんでした。

聖文には、信仰があれば奇跡を起こすことができると書いてあるのに（マタイ17：20 参照）、この痛み一つからも解放されることがなかったのです。わたしの信仰の、どこに力があるのでしょうか。ついにわたしは、今の状況を受け入れて不快な状況と付き合う方法を見つけました。そして、後でいつか信仰について全て理解できるよう

になればいいと思い、癒やされるのもそのときでいいと考えて納得するようになったのです。

それから何年かたって、友人話していたときのことです。その友人は最初の妊娠のときにつわりがひどくて一度ならず入院しました。エリンというその友人はもう一人赤ちゃんを望んでいたのですが、最初の妊娠のときと同じ苦しみをもた味わうのかと思うと、足がすくんでしまうとのことでした。断食と祈りを繰り返してきたそうですし、「天の御父は二度とその苦しみを自分にお求めにはならないことを本当に信じている」とも言いました。

話しているうちにわたしは、「静まって、わたしこそ神であることを知れ」という聖句を思い出しました（詩篇46：

10）。わたしは苦しみの真ただ中においても冷静であることを学んだことがあったので、そのときのことについて考え、エリンには、続けて信仰を持つよう勧めました。でも、次に妊娠したときにつわりがあるかどうかにかかわらず、その信仰を持ち続けてほしい、とわたしは言ったのです。

その後も引き続き信仰の原則について調べていると、信仰についてアルマが説教をしているところに来ました。「もし信仰があれば、あなたがたはまだ見ていない真実のことを待ち望むのである」とアルマが教えている部分です（アルマ32：21）。

この聖句について深く考えているうちに、信仰とはわたしが考えていたようなものではないことに気がつきました。



試練の克服

「主は、わたしたちが克服できるように試練を与えられます。わたしたちが達成できるように責任を課されます。また、わたしたちの力を強めるために仕事を与えられ、精神を試すうえで悲しみを与えられます。それらは全て〔天の御父の〕知恵によるものなのです。わたしたちが誘惑に遭うのは強さを試されるためであり、病気になるのは忍耐を学ぶためであり、死を経験するのは不死不滅と栄光を受けるためではないでしょうか。」

わたしたちが祈る病人が皆癒やされ、義人が皆守られ、悪人が皆滅びるなら、御父の計画は無に帰し、福音の基本的な原則である選択の自由は終焉することになります。信仰によって生きる人は誰もいなくなるでしょう。」

スペンサー・W・キンボール大管長（1895－1985年）
『歴代大管長の教え——スペンサー・W・キンボール』15



アルマが教えているのは、信仰とは真実の原則に希望を抱くことなのです。信仰を持つとは、天の御父に何かを求めれば必ずそれが頂けると信じることではありません。キリストはわたしの首を癒やしてくださるとか、エリンが次の妊娠でつわりがないようにしてくださるなどと信じるのは、真実の原則に信仰を持つことではありません。でも、キリストは癒やす力をお持ちで、わたしたちのことを心にかけておられ、わたしたちを力づけてくださり、わたしたちがよく堪え忍べば永遠の命を与えてくださるという信仰を持つことはできます。

「あなたがたは必ず与えられると信じて信仰をもってキリストの名によって求めれば、何でも与えられる」と主は約束しておられます(エノス1:15)。この約束の力は「キリストの名によって」信じなさいという勧告にあると、わたし

は信じています。『聖書辞典』(The Bible Dictionary)の「祈り」の項には、次のように説かれています。「キリストのような思いとキリストのような願いを持つとき、つまり、キリストの言葉がわたしたちのうちにとどまっているとき(ヨハネ15:7)、わたしたちはキリストの御名によって祈っているのである。」このようになって初めて、わたしたちは神から頂くことのできるものを求めるようになります。こたえられない祈りがたくさんあるのは、まったくキリストの御名によって祈っていないからなのです。そのような祈りはいかなる点においてもキリストの思いを表しておらず、自分勝手な人間の思いから出ています。

神の御心みこころに添って祈るなら、神はわたしたちの望みに応じて与えてくださいます。天の御父はわたしたちを知っておられ、愛しておられ、わたしたちが御

前まえに帰るために必要なことは何でもしてあげたいと望んでおられます。「必要なこと」には、試練や悩みや問題が含まれることもあるのです(1ペテロ1:7参照)。わたしたちが求めたからという理由だけで天の御父がわたしたちを苦難から解放してくださるとしたら、御父は、救いに必要な経験そのものをわたしたちから奪ってしまわれることになります。わたしたちのために神が用意してくださった計画に頼り、わたしたちの思いを神の御心に従わせることを学ばなければなりません。神の望んでおられることと同じようなことを望み、神に頼らなければ自分には何もできないことを認めるとき、わたしたちは「信仰の結果なるたましいの救すくい」を受けるにふさわしい者となるのです(1ペテロ1:9)。■

筆者はアメリカ合衆国オレゴン州在住です。

家庭の夕べ—— あなたにもできます！

家庭の夕べを開けば、どんな家族でも祝福と力を得ることができます。

父親が長い時間働き、疲れた体で職場から家に帰ってみると、家族も自分と同じようにいらいらして、険悪なムードです。月曜日だというのに、家庭の夕べはできそうにありません。父親と母親は助けを求めて祈り、簡単な会にすることに決めます。家族を集め、一緒に賛美歌を歌って祈ります。家族の一人一人に小さなろうそくを持たせ、ろうそくに火をともした人には、最近靈感を受けたことについて話してもらいます。暗くした部屋の中でろうそくは靈感を象徴し、子供たちの注意を引く役割も果たします。証を分かち合うと、心地よい平安と愛が家庭に訪れます。家庭の夕べを開いてよかったと感謝しながら、その家族は夕べのひとときを終えるのです。

家庭の夕べが教会のプログラムになってから100年になります。御存じでしたか。1915年4月、大管長会は、週に1度、夜家族で祈りと音楽、福音の学習、話、活動を行うようと会員たちに勧めました。（80ページにある大管長会の手紙の抜粋を参照）それ以後も引き続き、預言者は家庭の夕べの大切さをわたしたちに説いています。トーマス・S・モンソン大

管長はこう言っています。「家庭の夕べは天の靈感を受けたものです。決して軽視してはなりません。家庭の夕べから、家族一人一人が霊的に成長し、至る所にある誘惑に立ち向かう力を得ることができます。」¹

家庭の夕べを忘れずに毎週行うための心構えを挙げましょう。

わたしのことだ。「家庭の夕べは……全ての人のためにあります」と、十二使徒定員会のL・トム・ペリー長老は言っています。² 既婚であろうと独身であろうと、子供がいようといなかろうと、わたしたちは皆、家族を強めて福音を学ぶために、時間をささげることができるのです。

時間は見つかる。教会は月曜日の夜に教会の活動を入れないことで、模範を示しています。あなたは一番大切なことのために喜んで時間を取っているのだということを、主と家族に示すことができます。

我が家流は見つかる。家族が地理的に離れて暮らしている場合は、「オンライン家庭の夕べ」に挑戦してみましょう。インターネットや電話で家族と話すのです。遅くまで仕事のある人はどうしたらよいでしょうか。休憩時間に職場の近くで「公園での家庭の

夕べ」を開きましょう。離婚した父親で、毎週月曜日に「手紙での家庭の夕べ」を行った人がいます。遠くに住む子供たちに手紙を書いたのです。³ 障害をきっかけにして、大いに独創性を発揮しましょう。

今週から始められる。家庭の夕べは、各家庭の必要と状況に応じて計画することができます。一般的な勧めを挙げましょう。

- 祈りで始め、祈りで終える。
- 賛美歌や初等協会の歌など、音楽を取り入れる。
- 聖文や現代の預言者の言葉から学ぶ。
- 体を動かす活動や奉仕活動、福音を中心とした活動など、毎週違った活動を入れる。
- 楽しむ！ ゲームをしたり、お菓子を作ったりする。
- 確実に開く。月曜日が無理なら、他にできる日を見つける。

わたしは祝福が欲しいのです。家庭の夕べを開くならば素晴らしい祝福があると、預言者は約束しています。家庭における愛と従順が増し、若者たちの心に信仰が育ち、家族は自分たちを取り巻く「悪の影響や誘惑と闘う力



を得るでしょう。」⁴

家庭の夕べがいつも完璧にできるわけではないにしても、努力することによって皆さんの家族は強くなり、祝福されます。「一回一回の家庭の夕べが、心のキャンバスに描かれた1本の線なのです」と、十二使徒定員会のデビッド・A・ベドナー長老は教えています。「心を打ち記憶に残る出来事などないように思えるかもしれませんが、……絵の具で描いた一本一本が補い合って印象的な傑作を生み出すように、一見取るに足りないことを

一貫して行うことで、意義深い霊的な実が得られるのです。」⁵ ■

注

1. トーマス・S・モンソン「変化の時代にあって変わらぬ真理」『リアホナ』2005年5月号, 19
2. L・トム・ペリー「善い父母から……教えを受けた」『リアホナ』1994年5月号, 41
3. "Family Home Evening: Any Size, Any Situation," *Ensign*, 2001年12月号, 42
4. 大管長会、ジェームズ・R・クラーク編, *Messages of the First Presidency of The Church of Jesus Christ of Latter-day Saints*, 全6巻(1965-1975年), 第4巻, 339
5. デビッド・A・ベドナー「家庭でもっと勤勉に家庭のことに携わる」『リアホナ』2009年11月号, 19

最優先する

「わたしたちは親の皆さんと子供たちに、家族の祈り、家庭の夕べ、福音の研究と指導、そして健全な家族活動を最優先するようお勧めします。必要とされるその他の事柄や活動がどれほど価値のある適切なものであったとしても、それらは、親と家族だけが全うできる天与の義務に取って代えられるものでは決してありません。」

大管長会からの手紙, 1999年2月11日付

主はよみがえられた

現代の世で最も重要で必要なものは、
キリストを信じる揺るぎない信仰です。



教会の第9代大管長
デビッド・O・
マッケイ大管長
(1873 - 1970 年)

デビッド・O・マッケイは、
1873 年 9 月 8 日に生まれ
ました。1906 年 4 月 9 日、
32 歳で使徒に聖任され、

1951 年 4 月 9 日に教会の第 9 代大管長として
支持されました。以下は、マッケイ大管長が
1966 年 4 月の総大会で行った説教から抜粋
したものです。全文を読むには、Conference
Report, 1966 年 4 月号, 55 - 59 を参照して
ください。

もし奇跡が、人の限りある知恵を
超えた力によって引き起こされる
超自然的な出来事だとすれば、イエス・
キリストの復活は、いまだかつて例の
ないほど偉大な奇跡です。この出来
事は、神が全能であられ、人が不死不
滅であることを明らかにしています。

しかしながら、復活は人の知識と理
解を超えているという意味において奇
跡であるにすぎません。それを事実
として受け入れる人にとっては、生命
の不変の律法を明示するものにすぎ
ません。……

生けるキリスト

『リ
アホナ』2000 年 4 月号, 2 - 3 で、
現代の使徒や預言者が述べたイエス・
キリストについての証をお読みください。

キリストは確かに御自分の体を取っ
て、栄光あふれる復活した御方として
現れられたことを事実としてはっきり
と理解するなら、歴史を通じて問われ
てきた、「人がもし死ねば、また生きる
でしょうか」という質問への答えを得
たことになります(ヨブ 14:14)。

復活の証人たち

墓からの文字どおりの復活がキリスト
を間近に知る弟子たちにとって現実の
出来事であったことは疑う余地のない
ことです。彼らに疑念はまったくあり
ませんでした。彼らはその事実の目撃
者だったからです。復活された^{あがな}贖い主
の御姿を目で見、その声を耳で聞き、
その身体に手で触れたので、その事実
を知ったのです。

イスカリオテのユダの代わりとなる
人を選ぶため、11 人の使徒が集まっ
たとき、前任使徒だったペテロはこの
ように言いました。「そういうわけ
で、……[この]人たちのうち、だれか
ひとりが、わたしたちに加わって主の
復活の証人にならねばならない。」
(使徒 1:21 - 22) ……

別の折に、ペテロは敵対する人々、
すなわちイエスを十字架にかけて
殺した人々の前で、次のように断言し

ました。「イスラエルの人たちよ、
今わたしの語ることを聞きな
さい。……このイエスを、
神はよみがえらせた。
そして、わたしたち

は皆その証人なのである。」(使徒 2:
22, 32) ……

その他の証人たち

末日聖徒イエス・キリスト教会は、
ペテロ、パウロ、ヤコブ、その他の初期
の全ての使徒と同じように、復活が文
字どおり真実の出来事であるだけで
なく、地上におけるキリストの神聖な
使命を完結する出来事であったと証
します。

イエスが十字架の上で亡くなってから
1800 年後、預言者ジョセフ・スミス
は、復活された主が御姿を現されたこ
とを宣言し、このように述べています。
「わたしは筆紙に尽くし難い輝きと栄
光を持つ二人の御方がわたしの上の空
中に立っておられるのを見た。する
と、そのうちの御一方がわたしに語り
かけ、わたしの名を呼び、別の御方を
指して、『これはわたしの愛する子であ
る。彼に聞きなさい』と言われた。」
(ジョセフ・スミス—歴史 1:17) ……

キリストが御自身について証された
ときと同じように、ジョセフ・スミス
一人の証言しかなければ、それはあま
り効力を持たないことでしょう。しか
し、イエスには神の証、そして使徒た
ちの証がありました。そして、ジョセ
フ・スミスにも、彼の証を裏付ける他
の証人がいます。彼らに天使モロナイ
が訪れ、ジョセフの証が真実であるこ
とが明らかにされました。……

末日聖徒イエス・キリスト教会も、



末日聖徒イエス・キリスト教会は、キリストが神の御子、すなわち世の贖い主であられることを全世界に宣言します。真の弟子は皆、キリストを単なる改革者、理想の教師、あるいは唯一の完全な人として受け入れるだけでは満足しません。ガリラヤで生きておられたその御方は、象徴的にではなく、文字どおり生ける神の御子なのです。……

真に新しく生まれ変わる

人は皆、ナザレのイエスの教えを日々の生活に取り入れようと真剣に決意するならば、自分の性質が変化することに気づくでしょう。「新しく生まれ変わる」という言葉には、多くの人々が考えているよりも深い意味があります。……このように救い主に近づき、生けるキリストとのつながりを深めることから得られる、霊性を鼓舞し、人を変える力を本当に知っている人ほど幸福な人はいません。わたしはキリストがわたしの贖い主であられると知っていることを感謝しています。……

復活のメッセージは人類にとって最大の慰めと栄光をもたらすものです。なぜなら、死が愛する人を奪うときに、次の言葉に表されている希望と聖なる確信が悲しむ心を慰めてくれるからです。『もうここにはおられない。……よみがえられたのである。』〔マタイ 28:6；マルコ 16:6 参照〕

わたしは、死がイエス・キリストによって克服され、贖い主が生きておられるので、わたしたちも生きることを心から知っています。■

見出しを部分的に変更し、句読点を標準化しました。

預言者ジョセフ・スミスの栄光あふれる示現が真実であると次のように宣言します。

「そして今、小羊についてなされてきた多くの証の後、わたしたちが最後に小羊についてなす証はこれである。すなわち、『小羊は生きておられる。』」（教義と聖約 76:22）……

実際の出来事から数年後のものも含めて古代の使徒たちが述べた疑う余地のない証、そして現代に与えられた、生けるキリストについての最も驚くべき啓示を考えると、いまだに主を拒み、人の不死不滅を疑う人がいることは、

実に理解し難いことのように思えます。

今日わたしたちに必要なもの

現代の世で必要な最も重要なものは、キリストを信じる揺るぎない信仰です。これは単なる思い以上のものです。行動に駆り立てる力であり、人の生活において最も基本的な原動力となるべき力です。……

人は暗く陰鬱な墓を絶望的に眺めるのではなく、「主のみこころ」を行いさえすれば、目を天に向けて、キリストがよみがえられたことが分かるでしょう。……

女性

「教会の女性の皆さん、歩みをそろえて義を擁護してください。……これは……世界にあって、一つの明るく輝く希望であるとわたしは思っています。」
——ゴードン・B・ヒンクレー大管長（1910 - 2008 年）



の 霊 的 な 影 響 力



わたしたちは女性の霊的な強さが及ぼす力を
知っているでしょうか。

スターラ・アワーカンブ・バトラー

教

会では多くの謙遜なすばらしい女性たちが献身的な奉仕をしています。自分たちの生活が及ぼす広範囲にわたる影響について気づいていません。物質的な奉仕の模範を示しているだけでなく、霊的な強さを代々子孫に伝えているのです。そのような女性の一人がわたしの祖母、シェリー・ピーターセンです。祖母は生涯、あまり人目につかない召しを忠実に果たしました。人から問われるなら、世の人に与えられるような才能はあまりないと言い張るでしょう。でも、わたしは祖母の生涯について学び始めると、祖母の霊的な強さがわたしの人生にどれほど大きな影響を及ぼしてきたかが分かってきました。

シェリーの両親は教会へ行くのをやめ、シェリーがまだ幼い頃に離婚しました。それでシェリーは母親のフローレンスに育てられましたが、母親はいつも働いていました。フローレンス自身の子供のときの環境はさらに厳しく、親に顧みてもらえずに育ちました。フローレンスの母親のジョージアはフローレンスを全寮制の学校に入れ、自分は世俗的な生活を送ったのです。シェリーは苦難に満ちた子供時代を過ごしたにもかかわらず、福音に従って生活し、曾祖母のエリザベスの家族や友人と一緒に忠実に教会に集いました。曾祖母の家族の中に、自分の家族がこうあってほしいと思うものを見いだしたのです。家族がどうあるべきか、はっきりとは分かりませんでした。どうあるべきではないかは分かっていました。そこで、自分が将来築く家族は違うものにしようと強く心に決めていました。

シェリーの夫、すなわちわたしの祖父デルは、かつてわたしにこう言いました。「証^{あかし}を持つためには、証を欲しいと思わなくてはならない。シェリーはいつも証を欲しいと思っていたよ。」結婚当初、二人の生活は苦しいものでしたが、家族のきずなを強く保とうと決心していました。デルの仕事の日程のため、結婚して最初の1年間はあまり活発に教会へ行けませんでした。シェリーは初等協会の

「神の愛」キャスリーン・ピーターソン画。複写は禁じられています。

責任に召されてから活発になり、間もなくデルも執事定員会アドバイザーとして奉仕するようになりました。それ以来、二人とも活発で強力な教会員となりました。シェリーの進んで奉仕する精神と堅固な家族を築く決意により、わたしの母は現在のような強い女性になることができました。そして、わたしは母の模範のおかげで、特に自分の家族を持つようとしている今、どのような生活をしたらよいか分かるのです。

わたしたち女性は、周囲の人々の生活に対して強い影響力を及ぼすことができます。実際、ジョセフ・スミスは、女性の役割は「貧しい人を助けるだけでなく、人を救う」ことであると教えました。¹ イエス・キリ

ストは、御自分の弟子となり、霊的に強くなるように、御自分の教会の女性たちを召しておられます。わたしたちの霊的な強さと影響力は、救いの業が前進するためにきわめて重要であり、わたしたちは周囲の人を霊的に強める機会を探し求める必要があります。そうするときに、わたしたちの信仰と義の影響力は、わたしたちの見えないはるか遠い世代まで及ぶのです。

弟子として召される

十二使徒定員会のジェームズ・E・タルメージ長老（1862－1933年）はこのように書いています。「女性と女性の地位を守る世界最大の擁護者は、イエス・キリストである。」² その例として、新約聖書の中で主が二人の女性の弟子、すなわちマリヤとマルタの姉妹にお教えになったことについて考えてみましょう。『わたしの王国の娘』ではこう説明されています。「ルカによる福音書第10章にはマルタがイエスに家を提供したことが記されています。マルタは物質的な必要を満たすことによって主に仕え、マリヤは主の足もとに座って教えに聞き入っていました。

女性には物質面の奉仕のみが求められていた時代に、救い主は、女性が霊的面でも主の業に携われることをマルタ



4つの世代——エリザベス（左）、抱いているのは孫娘のフローレンス。アニー（中央）は両親とともにユタに移り住み、エリザベスの母親となる。ジョージア（右）はエリザベスの娘。ジョージアとその娘のフローレンスは教会を離れた。ひ孫のシェリーとその子孫が福音の道へ戻るのを助けたのは忠実なエリザベスだった。

とマリヤにお教えになりました。主は二人に弟子となって、救い、すなわち二人から取り去られることのない『良い方』を受けるようお勧めになったのでした。」³

マルタのように、ときどきわたしたちは次のように考えます。女性のおもな役割は他の人のために食事や裁縫、掃除などの物質的な奉仕をすることだ、と。でも、このような考えは誤りです。そうした奉仕は貴重で大切な自己犠牲の一つです。しかし、主がさらに必要とされているのは、裁縫や料理をする女性よりも、生活を通して信仰と正義、慈愛の心を輝かせ、霊的な影響力を持った女性です。わたしたち一人一人にはささげら

れるものが非常にたくさんあることを、主は御存じです。イエス・キリストはわたしたち全ての者を召しておられます。その目的は主の業を前進させるための啓示を受け、それに従って行動する霊的な強さと能力を伸ばすためです。中央扶助協会会長のリンダ・K・バートン姉妹は、姉妹たちにこう語っています。「皆さんはこの神権時代に地上に送られてきました。その理由は皆さんが何者であり、何をするために備えてきたかを考えれば分かります。自分が何者であると思うかについて、サタンがわたしたちをどのように説き伏せようとしても、わたしたちの真の姿はイエス・キリストの弟子なのです。」⁴

主はわたしたちを、またわたしたちが置かれた状況を御存じであり、この地上でなすべき務めを一人一人に与えておられます。姉妹たちは誰でも善へと導く霊的な力となり、人々をキリストのもとへ連れて行くための知識や才能を十分に持っているのです。このような潜在能力を神から与えられているわたしたちには、家庭と社会で霊的な指導者になる責任があります。十二使徒定員会のM・ラッセル・バラード長老はこのように宣言しています。「主と聖約を交わした教会の全ての姉妹は、人々の救いの手助けをなし、世の女性を導き、シオンの家庭を強め、神の王国を築くようにとの神聖



な命令を神から受けています。」⁵

周囲の人がイエス・キリストに近づける選択をするように助けることは、わたしたちの最も重要な務めですが、その務めを果たすには、高い地位に就いたり、並外れたことをする必要はありません。一人か二人の生活において、あるいは自分自身の家族の中で行うことは、その行為の大小を問わず、大きな影響を及ぼすことがあるのです。

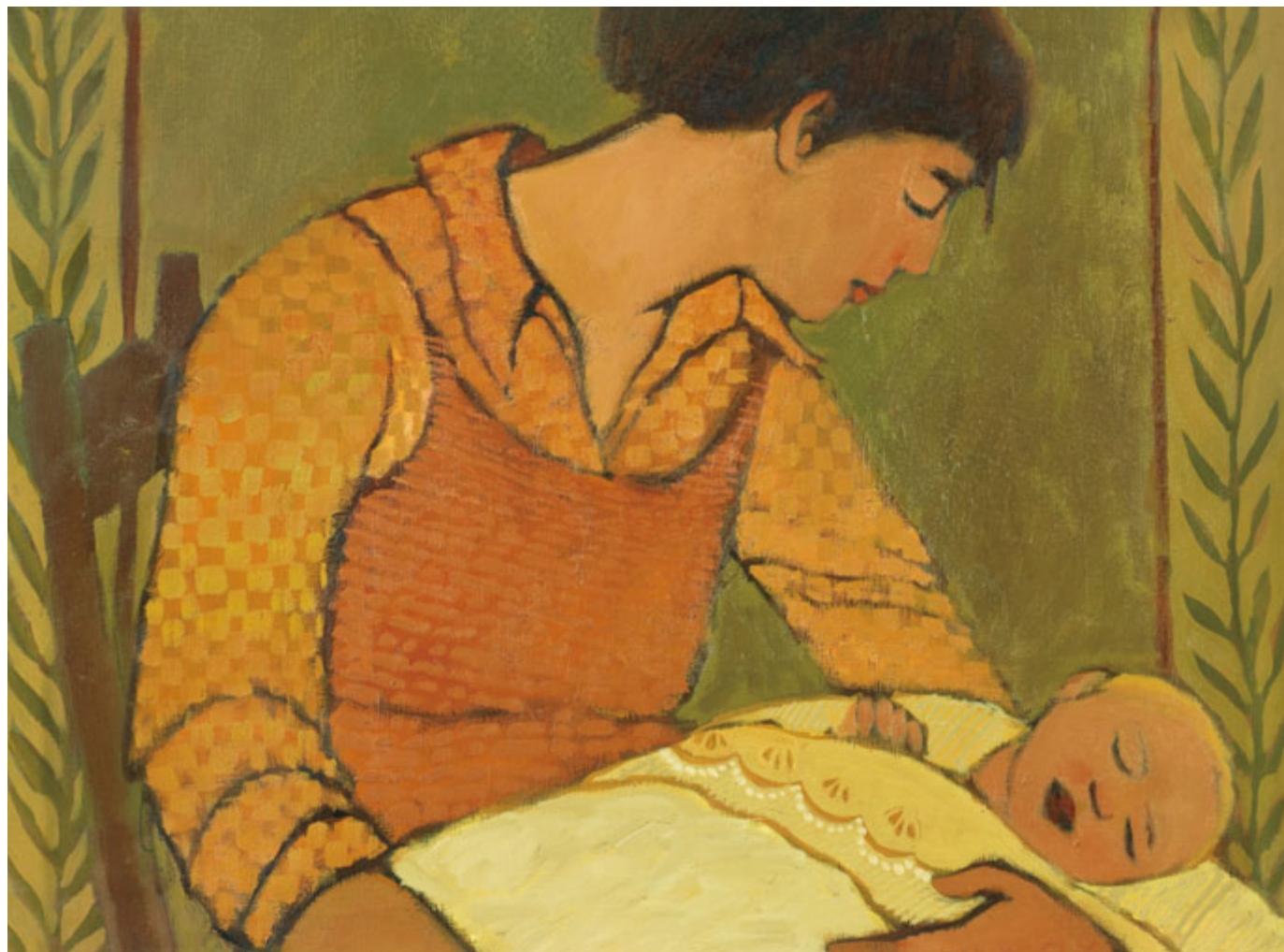
救いの業における女性たち

愛唱されている賛美歌にこのような歌詞があります。「天使の務め、いそしまん 神よりたもう召しあり」⁶ わたしたちには愛する人々の生活のためにささげられるものがたくさんあります。十二使徒定員会のリチャード・G・スコット長老は、二人の女性の霊的な強さがいかに自分の人生に影響を及ぼしたかという話を語っています。

「救い主は、女性が
霊的面でも主の業に
携われることを
マルタとマリヤに
お教えになりました。
主は二人に
弟子となって、
救い……に
あずかるように
お勧めに
なったのです。」

「わたしが子供の頃、父は教会員ではなく、母はあまり活発に教会に集う会員ではありませんでした。……わたしが8歳の誕生日を迎えた数か月後、祖母のホイットルが大陸を横断してわたしたちを訪ねて来ました。わたしも兄もバプテスマを受けていないことを気にかけていたのです。そのことについて両親に何と言ったのかは分かりませんが、はっきりと覚えていることがあります。祖母はある朝、兄とわたしを公園に連れて行き、バプテスマを受けることと教会の集会に定期的に出席することの大切さについて、自分の思いを話してくれたのです。細かい内容は覚えていませんが、祖母の言葉はわたしの心を揺り動かしました。それから間もなく兄とわたしはバプテスマを受けました。……

祖母は適度な勇気と敬意を示しながら父に働きかけ、わたしたちが教会の集会に出られるように車に乗せて行くことが重要だと、父が気づくように助けてくれました。わたしたちが生



「母」 キャスリン・ピターソン画 複写は禁じられています

活の中で福音が必要だと感じるように、いつもふさわしい方法で助けてくれたのです。」⁷

霊的な強さの模範を示した第二の例はスコット長老の妻ジニーです。二人がデートをしていた頃、将来について話し合うようになりました。伝道に対する熱意にあふれた家庭に育ったジニーは、帰還宣教師と神殿で結婚したいと言いました。それまで伝道についてあまり考えたことがなかったスコット長老は大きな影響を受けました。「家へ帰ると、他のことは何も考えられず、一晩中眠れませんでした。……何度も祈った後、ビショップに会って伝道の申請を始める決心をしました。」⁸ スコット長老はジニーから必要な導きと促しを受けましたが、こう語っています。「ジニーは自分のために伝道へ出るよう頼むことは決してありませんでした。わたしを深く愛していたので、信念を分かち合い、わたしが自分の人生の道を選ぶ機会を与えてくれたのです。わたしたちは二人とも伝道へ

愛唱されている
賛美歌に
このような歌詞が
あります。
「天使の務め、
いそしまん
神よりたもう召しあり」
わたしたちには
愛する人々の
生活のために
ささげられるものが
たくさんあります。

出て、後に神殿で結び固められました。ジニーの勇気と、信念に従って生活しようとする強い姿勢により、二人の生活は大きく変わりました。第1に主に仕えるという原則を信じる妻の強い信仰がなかったら、わたしたちは今味わっているような幸福を見いだすことはなかったと確信しています。妻は義にかなったすばらしい模範です。」⁹

一人の若者、すなわちスコット長老がバプテスマ、伝道、神殿結婚という人生で最も重要な決断をするのを助けたのは、まさにこのような女性たちが彼の人生に与えた霊的な影響力だったのです。

わたしたちは模範、行動、言葉、身をもって示す義によって、他の人が良い選択をしたいと望むように助けることができます。中央扶助協会会長第一顧問のキャロル・M・スティーブンス姉妹はこう宣言しています。「わたしたちは主の王国にあって聖約を守る娘です。主

の御手^{みて}に使われる者になるための機会が与えられています。……互いに見守り、強め、教え合うなど、日々ささやかで簡単な方法で救いの業に加わ〔って〕」います。¹⁰ わたしたちが御霊^{みたま}に頼り、周囲の人がキリストに近づくのを助けるために、誠実で謙虚な努力を続けて前進するとき、何をしたらよいかわ導かれ、それを行う強さが与えられます。そして、主の子供たちをみもとへ連れて行く喜びを味わうようになるのです。

霊的な影響力を発揮する

自分の責任を知っているわたしたちは、古代の弟子たちと同じように尋ねることでしょう。霊的な影響力を発揮するには、「わたしたちは、どうしたらよいのでしょうか。」(使徒 2:37) 最近の総大会で、バートン姉妹は姉妹たちに「救いの業に関する霊的な『求人』広告として考えられるもの」を想像するように勧めました。下記のようなものです。

- 「● 求む —— 子供を光と真理の中で育てる親
- 求む —— 助言者として奉仕し、聖約の道にあって助けの手を差し伸べる娘、……おば、……いとこ、祖母、真の友
- 求む —— 聖霊の促しに耳を傾け、受けた印象に基づいて行動する人
- 求む —— 小さくて簡単な方法で毎日福音を実践する人
- 求む —— 家庭を永遠につなぐために家族歴史と神殿の業に携わる人
- 求む —— 『良い知らせ』すなわちイエス・キリストの福音を広める宣教師と会員
- 求む —— 道に迷った人を見つけ出す救助者
- 求む —— 真理と正義のために堅く立つ聖約の守り手
- 求む —— 主イエス・キリストの真の弟子」¹¹

これらは目新しい事柄ではありません。しかし、わたしたちが救いの業に携わる機会を求めるとき、周囲の人を助ける能力が向上することでしょう。バラード長老はこう述べています。「この世には、義にかなった女性の影響力ほど個人的で、人を養い、人生を変えるものはないのです。」¹² 個人の祈りと聖文の研究、堅固な従順、また聖約を忠実に守ることによって霊的な力を伸ばすにつれて、わたしたちはそのような影響力を発揮するようになるでしょう。

目に見えない遠くにまで

ブリガム・ヤング大管長(1801 - 1877 年)はこう述べて

います。「イスラエルの母親と娘たちが行うことのできる善がどれほどたくさんあるか分かりますか。とうてい分かりません。しかも、彼女たちが行う善は永遠にわたって影響を及ぼすのです。」¹³

わたしの祖母の義にかなった決断は、まだ若かった女性の目に見えない遠い世代にまで影響を及ぼしました。ところが実は我が一族の女性たちが与えた霊的な影響力は、さらに前の世代から受け継がれています。シェリーの霊的な強さの大部分は、彼女の曾祖母(わたしからさらに3代前の曾祖母)エリザベスの模範から受け継がれたものです。エリザベスの信仰と証の模範は、活発でなかった2世代を越えてひ孫のシェリーに影響を及ぼしました。その結果、シェリーが壊れた家庭のきずなを結びなおし、家族が教会へ戻るのを助けたのです。

わたしたちが周囲の人に霊的な強さを発揮するとき、わたしたちの影響力は目に見えない遠くにまで及ぶのです。ゴードン・B・ヒンクレー大管長(1910 - 2008 年)はこう述べています。「教会の女性の皆さん、歩みをそろえて義を擁護してください。まず、自分の家庭から始める必要があります。クラスの中で義について教えましょう。社会の中で義を守るために発言しましょう。……

これは自己破壊へと向かいつつある世界にあって、一つの明るく輝く希望であるとわたしは思っています。」¹⁴

わたしたちがこの指示に従うとき、主の業は世の中で、そして何よりも重要なことに、わたしたちの家族と愛する者たちの生活の中で推し進められることでしょう。■

筆者はアメリカ合衆国ユタ州在住です。

注

- 1.『歴代大管長の教え——ジョセフ・スミス』452
2. ジェームズ・E・タルメージ、『キリスト・イエス』463
- 3.『わたしの王国の娘——扶助協会の歴史と業』3-4
4. リンダ・K・バートン「求む——御業を速める手と心」『リアホナ』2014年5月号, 122-123 参照
5. M・ラッセル・バラード「義にかなった女性たち」『リアホナ』2002年12月号, 39
6. 「シオンの娘」『賛美歌』195 番
7. リチャート・G・スコット「わたしは手本を示したのだ」『リアホナ』2014年5月号, 32
8. リチャート・G・スコット「わたしは手本を示したのだ」33
9. リチャート・G・スコット「わたしは手本を示したのだ」33
10. キャロル・M・スティープンズ「わたしたちが喜ぶべきもっともな理由があります」『リアホナ』2013年11月号, 117
11. リンダ・K・バートン「求む——御業を速める手と心」『リアホナ』2014年5月号, 124
12. M・ラッセル・バラード「母と娘」『リアホナ』2010年5月号, 18
13. Discourses of Brigham Young, ジョン・A・ウイットナー選(1954年), 216
14. ゴードン・B・ヒンクレー「力強く確固として立つ」『世界指導者訓練集会』2004年1月10日, 20-21 参照

弱さは罪 ではない

ウェンディー・ウルリヒ

「わたしは本当に、主の宮に入るにふさわしいだろうか。不完全なわたしが、ふさわしいなどということがあるだろうか。」

「神は本当にわたしの弱さを強さに変えることがおできになるのだろうか。この問題を取り除いてくださるよう何日も断食して祈ったが、何の変化も感じられない。」

「わたしは専任宣教師だった頃、人生で一番福音に従って生活していたが、これほど自分の欠点を思い知らされた時期も他にない。なぜ、あんなに正しい生活をしているときに、あれほどつらい思いを味わわなければならなかったのだろうか。」

このような疑問について考える際にどうしても理解しておかなければならないことがあります。それは、罪は必ずわたしたちを神から遠ざけますが、皮肉なことに弱さは、わたしたちを神に近づけるということです。

罪と弱さを見分ける

わたしたちは普通、罪と弱さは人の心についた染みのようなもので、ただ大きさが違うだけ、つまり、背きの程度が異なるとしか認識していないのです。しかし、聖典を読むと、罪と弱さは本質的に異なり、対処のしかたも違えば、生じる結果も違ってくるのが分かります。

たいていの人は、好き好んで認めるまでもなく罪についてよく知っていますが、おさらいしてみましょう。罪とは、神の戒めに故意に従わないことや、自分の内にあるキリストの光に故意に背くことです。罪とは、神よりもサタンに頼ることを選び、自分を神の敵とすることなのです。

限界や力不足は罪ではなく、
清くなって御霊^{みたま}を受けるための
妨げにはなりません。





罪は必ず
わたしたちを神から遠ざけますが、
皮肉なことに弱さは、
わたしたちを神に近づけるのです。



イエス・キリストはわたしたちとは違って罪のない御方だったため、わたしたちの罪を贖^{あがな}うことがおできになりました。人は心から悔い改めるならば、イエス・キリストの贖罪^{しよくざい}の恩恵^{ゆる}にあずかることができ、神から赦しを受けて再び清くなることができます。心から悔い改めるとは、思いと心、行いを改め、適切な謝罪または告白を行い、可能であれば償いをし、その後同じ罪を繰り返さないことです。

清くない者は神の前に住むことはできませんから、何としても清くならなければなりません。しかし、神の前を離れたときのような純真無垢^{じゆんしん むく}な状態であることが唯一の目的だとしたら、わたしたちは皆、残りの生涯をゆりかごの中でぬくぬくと過ごせばよいことになります。ところが、わたしたちが地上に來たのは善と悪を見分けることを経験から学び、知恵を深めて技術を磨き、自らの価値観に従って生き、神の特質を身につけるためです。ゆりかごの中でこのような成長を遂げることは、不可能です。

現世に不可欠なこれらの目的を達成するうえで、人間的な弱さは大切な役割を果たします。モロナイは、自分は書く力が弱いので異邦人は神聖な



贖罪の約束

「人が元に戻せないことを元に戻すこと、人が癒やすことのできない傷を癒やすこと、自分が壊して修復できないものを修復すること、それこそ、キリストの贖罪の目的〔です。〕……」

繰り返します。滅びの道を選んだごく少数の人は別として、悪習、薬物の乱用、反抗、背き、違反などのために、完全な赦しという約束から除外される人は一人もいないのです。これは、キリストの贖罪がもたらす約束です。」

十二使徒定員会 ボイド・K・バックー会長
「輝かしい赦しの朝」
『聖徒の道』1996年1月号, 21

記録を^{あざけ}嘲るのではないかと心配しました。これに対して主は、次の言葉でモロナイの不安を鎮めておられます。

「もし人がわたしのもとに来るならば、わたしは彼らに各々の弱さを示そう。わたしは人を謙遜にするために、人に弱さを与える。わたしの前にへりくだるすべての者に対して、わたしの恵みは十分である。もし彼らがわたしの前にへりくだり、わたしを信じるならば、そのとき、わたしは彼らの弱さを強さに変えよう。」(エテル 12:27。1コリント 15:42-44; 2コリント 12:7-10; 2ニーファイ 3:21; モルモン書ヤコブ 4:7も参照)

このよく知られている聖句は深い意味を持ち、罪(サタンにそそのかされて犯す)と弱さ(この聖句では神が

人に「与えた」ものとされている)を区別するようわたしたちに勧めています。

弱さとは、人間であるがゆえに知恵や力、清さに限りがあることと定義してもよいかもしれません。死すべき人間であるわたしたちは、さまざまな肉体的欠点や性癖のある無力な存在として生まれ、人に養われます。わたしたちは他の弱い人間に育てられ、囲まれています。弱い人間に教わり、手本を示され、扱われますが、それは不完全であり、有害な場合もあります。弱く死すべき状態にあるわたしたちは、心身の病や飢え、疲れに苦しみます。怒りや悲しみ、恐れなど、人間的な感情が湧き上がるのを経験します。知恵や技術、持久力、力に欠けています。それに、さまざまな誘惑に遭います。

イエス・キリストは罪のない御方でしたが、わたしたちと同じように死すべき人間の弱さを完全に経験されました



罪と弱さを見分ける

	罪	弱 さ
定 義	故意に神に逆らうこと	人間の限界, 欠陥
原 因	サタンにそそのかされる	人間の特質の一部
例	故意に神の戒めを破り、 神よりもサタンを信じる。	誘惑や感情に流される。疲れたり、 肉体的情緒的な病気にかかったりする。 無知や、持って生まれた性癖、トラウマに 苦しむ。いつかは死ななければならない。
イエスは経験されたか	経験されなかった	経験された
取るべき対応	悔い改め	謙遜, キリストを信じる信仰、 克服する努力
それに対する神の計らい	赦 し	恵み —— 人に能力を授ける力
結 果	罪から清められる	清さと力を得る

(2 コリント 13:4 参照)。死すべき肉体を持つ無力な赤ん坊としてお生まれになり、不完全な養育者に育てられたのです。歩き方や話し方、働き方、人とうまくやっていく方法を学ばなければなりません。空腹も疲れも経験されました。人間的な感情を抱くこともおできになり、病気になり、苦しみ、血を流し、亡くなられました。「罪は犯されなかったが、すべてのことについて、わたしたちと同じように試練に会われた」のであり、「わたしたちの弱さを思いやる」ことができて、**弱い状態にある**わたしたちを救えるようになるために、死すべき状態に身を委ねられたのです(ヘブル 4:15。アルマ 7:11-12 も参照)。

わたしたちは弱さを悔い改めることなどできませんし、弱さがあること自体が人を汚すものではありません。わたしたちは**罪を拒まない限り**霊的に成長することができませんが、それだけでなく自分の**人間的な弱さを受け入れて**、謙虚な態度と信仰をもってそれに対応し、弱さを通して神に頼ることを学ばない限り、霊的な成長はないのです。モロナイは書く力が弱いことで思い悩んでいましたが、神は悔い改めよと命じるのではなく、謙遜になってキリストを信じなさいと教えられました。わたしたちが柔和で忠実であれば、弱さに対処するために、神は赦しではなく、恵みを与えてくださいます。『聖句ガイド』は「恵み」を、神から与えられる、人に能力を授ける力であって、この力によって、人は自分自身の力ではできないことを行うことができるようになる、と定義しています(『聖句ガイド』「恵み」の項参照)。恵みは弱さに対処する適切な神の方法であり、これによって神は「弱さを強さに変え[る]」ことがおできになるのです。

謙遜になって信仰を働かせる

わたしたちは教会に入ると間もなく、悔い改めに不可欠な要素を教えられますが、実際のところ、謙遜さと信仰はどのようにして育めばよいのでしょうか。以下の項目について考えてください。

- 深く考えて祈る。**わたしたちは弱いので、自分が**罪**と格闘しているのか(思いと心、行いを直ちに徹底的に改める必要がある)、それとも**弱さ**に対処しているのか(謙遜で着実な努力と学習、改善が必要)分かっていないことがあります。罪と弱さをどう見るかは、育った環境や成熟度によって異なります。また、一つの行動に罪の要素と弱さの要素の両方がある場合もあります。罪を犯しているのにこれは実は弱さなのだと言っていると、悔い改める代わりに正当化するようになります。弱さを罪だと言っている場合は、恥ずかしさや罪悪感、絶望感を抱くようになって、神の約束はかなえられないと諦めてしまうことになりかねません。深く考えて祈ることによって、この二つを正しく区別することができるようになります。
- 優先順位をつける。**わたしたちは弱いので、改めるべき点があっても、一度に全部改めることはできません。謙遜になり、信仰を持って、人間的な弱さを一度に二つか三つずつ克服するよう努力するならば、分からないことを減らし、善い行動を習慣にし、肉体的、情緒的な健康を増進し、持久力をつけて、主に対する信頼をさらに強くすることが、少しずつできるようになります。どこから手をつければよいかわかるよう、神が助けてくださいます。

- **計画を立てる。**わたしたちは弱いので、義にかなった望みとたゆまぬ自己鍛錬だけで弱さを克服することはできません。計画を立て、過ちから学び、さらに効果的な対策を立て、計画を練り直し、再びチャレンジする必要があります。聖文や関連書籍、他の人の助けが必要です。小さなことから始めて、進歩があれば喜び、(無理だと感じてやる気がなくなるかもしれませんが)危険を恐れずに行動します。疲れていたり落胆していたりしても良いことが選べるような助けと、協道にそれたときに戻るための計画が、わたしたちには必要です。
- **忍耐する。**わたしたちは弱いので、変わるには時間が掛かります。弱さを克服する方法は、罪を捨てる方法とは、異なります。謙遜な弟子は進んで必要なことを行い、困難をはねのけることを学び、努力し続け、諦めません。謙遜になると、自分自身に、そして同じように弱い他の人に忍耐することができるようになります。忍耐とは主を信じる信仰と、主から信頼されていることに対する感謝と、主の約束への信頼の表れです。

わたしたちはたとえ自分の罪を心から悔い改めて赦しを得、再び清くなったとしても、弱いことに変わりはありません。依然として病気にかかり、感情に左右され、無知や持って生まれた性癖、疲れ、誘惑に悩まされます。しかし、**限界や力不足は罪ではなく、清くなって御霊を受けるための妨げにはなりません。**

弱さから強さへ

サタンはわたしたちの弱さに付け込んでわたしたちに罪を犯させようと躍起になりますが、神は人の弱さをうまく利用してわたしたちを教え、力づけ、祝福してくださいます。しかし



建設的な罪悪感（神の御心に添った悲しみ）やへりくだる心と
無益な偽物の自責の念との違い

建設的な罪悪感 —— 罪に対する神の御心に添った悲しみ	信仰とへりくだる心 —— 弱さを認めてキリストのように柔和になる	自分をだめにする自責の念 —— 無益な偽物
わたしたちの傾向 • 道徳的な規範を破ることに良心のとがめを感じる。 • 悔い改めて思いと心と行いを改める。 • 自分の過ちを認めて告白し、償う。 • 成長し学ぶ。 • 自分はずっと善良で価値ある存在だと考える。 • 自分を肯定的に捉え、それに見合った行動をする。 • キリストの贖罪が持つ贖いの力に全面的に頼る。	わたしたちの傾向 • 自分の欠点を全て認めたうえで穏やかな自信を感じ、自分を受け入れる。 • 多少の危険があっても、成長して人の役に立つために行動する。 • 過ちがあれば責任を取り、成長しようと望む。 • 過ちから学んでもう一度挑戦する。 • ユーモアのセンスを育み、人生その他を楽しむ。 • 自分の弱さを認め、他の人の弱さを思いやる。 • 他の人に弱さや欠点があっても忍耐する。 • 神が自分を愛し助けてくださるという確信が強くなる。	わたしたちの傾向 • 自分には価値がないと感じ、絶望的になる。 • 自分の弱さを隠して人に知られないようにする。 • 自分の弱さがあらわになることを恐れる。 • 問題が起こると他の人のせいにする。 • 危険を冒すことを避け、失敗を屈辱と考える。 • 自分を人と比べて競う。 • 身構えたり頑固になったり優柔不断になったりする。 • 皮肉っぽくなったり過度に深刻になったりする。 • 自分が失敗するかどうか、人より優位に立てるかどうかばかり気にする。 • 神から拒まれたり神を怒らせたりすることを恐れる。

ながら神は、わたしたちの期待や望みのとおりにいつでもわたしたちの弱さを取り除いて「強さに変え」てくださるわけではありません。サタンが付け込んで自分を苦しめるので「肉体のとげ」を取り除いてくださるよう使徒パウロが繰り返し祈ると、主はパウロにこう言われました。「わたしの恵みはあなたに対して十分である。わたしの力は弱いところに完全にあらわれる。」（2 コリント 12：7，9）

主が「弱さを強さに変え」てくださる方法はさまざまです。わたしたちの望みどおり劇的な方法で弱さを取り除いてくださることもあるかもしれませんが、わたし自身の経験によると、それはかなりまれなことです。例えば、エテル書第 12 章に出てくる有名な言葉の後には、モロナイの書く力の弱さを神が取り除かれたということを示す記述はありません。神はまた、弱さに対処できるよう助けたり、弱さを笑顔で見ることができる適切なユーモアのセンスや物の見方を身につけられるよう助けたりして、時間をかけて少しずつ変えてくださるかもしれないのです。それに、強さと弱さは互いに関係し合っていることが多いので（粘り強さという長所は裏返せば頑固という欠点であるなど）、良い面を大切にして、それに付随する悪い面は抑えるようにするとよいかもしれません。

弱さを強さに変える神の方法はもう一つあります。エテル書第 12 章 37 節で、主はモロナイにこう言っておられます。「あなたは自分の弱さを認めたので、強くされて、わたしが父の住まいに用意した場所に座せるようになるであろう。」

ここで主は、モロナイの弱さを変えるのではなく、モロナイを変えんと言っておられます。人間としての弱さという試練に取り組むことによってモロナイは、慈愛と思いやり、柔和、忍耐、勇気、寛容、知恵、持久力、赦し、困難をはねのける力、感謝、創造性をはじめ、人を天の御父に似た者にするその他多くの徳を身につけることができました。同じことは、わたしたちにもできます。わたしたちがこの地上に来たのは、まさにこれらの特質を磨くためでした。これはキリストの特質であり、これを身につけることは、天の家に住むための備えとなります。

神は、わたしたちが自分の人間的な弱さと格闘するとき、それを計り知れない神の徳や強さに変え、わたしたちをさらに神に似た者にしてくださいます。神の力の中で、神の愛と知恵と贖いの力がこれほど明らかに表れているものは、他にありません。■

筆者はアメリカ合衆国ユタ州在住です。





七十人
W・クリストファー・
ワデル長老

清い 信心

無私の奉仕、すなわち自分自身を忘れ、人々の必要に応え、
わたしたちの人生を奉仕にささげることが、
いつのときもイエス・キリストの弟子が持つ特質なのです。

マタイ 11 章で救い主は、バプテスマのヨハネの弟子が尋ねた質問に答えられたときに言われなかったことを通して、非常に大切な教訓を教えられました。

「さて、ヨハネは獄中でキリストのみわざについて伝え聞き、自分の弟子たちをつかわして、

イエスに言わせた、『きたるべきかた』はあなたなのですか。それとも、ほかにだれかを待つべきでしょうか。』

イエスは答えて言われた、『行って、あなたがたが見聞きしていることをヨハネに報告しなさい。』

盲人は見え、足なえは歩き、重い皮膚病にかかった人はきよまり、耳しいは聞え、死人は生きかえり、貧しい人々は福音を聞かされている。」(マタイ 11:2-5)

救い主は、「きたるべきかた」が本当に御自分であることを示す短い教義的な説明をされるのではなく、主が行われたこと、すなわち主御自身の奉仕の模範を通してお答えになりました。

2014 年 4 月の総大会で、十二使徒定員会のリチャード・G・スコット長老は次のように教えています。「わたしたちが天の御父に仕える最善の方法は、他の人に義にかなった影響を与え、奉仕することです。これまで地上に存在した最も偉大な模範は、わたしたちの救い主イエス・キリストです。」¹

無私の奉仕、すなわち自分自身を忘れ、人々の必要に応え、わたしたちの人生を奉仕にささげることが、いつのときもイエス・キリストの弟子が持つ特質なのです。救い主の誕生

の 100 年以上も前にベニヤミン王が語ったように、「あなたがたが同胞のために務めるのは、とりもなおさず、あなたがたの神のために務める」ことなのです(モーサヤ 2:17)。

「清い信心」に欠くことのできない行いとは、「困っている孤児や、やもめを見舞」って人々に奉仕することであるとヤコブは気づかせてくれます(ヤコブの手紙 1:27)。「清い信心」とは、わたしたちの信条を口に出して言う以上のことで、その信条を行いによって示すことです。

旅をともにしている同胞を愛する

カリフォルニア州ロサンゼルス神殿で妻のキャロルと結婚して数週間が過ぎた 1984 年 7 月の中旬に、わたしたちはユタ州に向けて車を走らせていました。わたしはそこで仕事に就き、キャロルは単科大学の教育を修了する予定でした。わたしたちは別々の車に乗って運転していました。わたしたちが所有する全ての物を 2 台の車に分けて運んでいたのです。

目的地まであと約半分のところで、キャロルはわたしの車と並んで走り、わたしに身ぶりで合図を送り始めました。そのときは、メールやツイッターが使える携帯電話やスマートフォンがない時代でした。車の窓越しに彼女の顔色を見ると、気分が良くないようでした。彼女は運転を続けることができると伝えてきましたが、わたしは新妻のことが心配でした。

ユタ州のビーバーという小さな町に近づくと、彼女がまた

わたしの車と並んで走り始めたので、停止する必要があると思いました。彼女は気分が悪く、運転を続けることができなかったのです。2台の車に衣服と結婚の贈り物をいっぱい積んでいましたが、あいにく、お金はほとんど持ち合わせていませんでした。ホテルに泊まる費用は予算外だったのです。わたしはどうしたらいいか分かりませんでした。

わたしたちは二人とも、以前にビーバーに來たことはありませんでした。まったく途方に暮れてしまい、数分間当てもなく運転していると公園が目に入りました。わたしたちは駐車場に車を止め、1本の木を見つけてその木陰に毛布を敷き、キャロルが休めるようにしました。

その数分後、もう1台の車がほとんど車が停まっていない駐車場に入ってきて、わたしたちの2台の車の隣に止まりました。わたしたちの母親とほぼ同じ年齢の女性が車から降りてきて、どうかしましたか、わたしに何かできることがありますか、と尋ねました。この女性は、運転中にわたしたちに気がつき、止まるように感じたということでした。状況を説明すると、直ちに彼女の家までわたしたちを先導し、そこで必要なだけ休息を取れるようにしてくれたのです。

わたしたちは、程なく彼女の家の涼しい地下の寝室で、心地よいベッドに横になりました。ちょうどわたしたちが落ち着いた頃、このすばらしい姉妹は、やらなければならない用事が幾つかあるので、この家は数時間わたしたちだけになると言いました。もしおなががすいたら、台所にあるものは何でも自由に食べていいし、彼女が家に戻る前に出発することになったら、表玄関のドアを閉めて行ってくださいとわたしたちに言いました。

どうしても必要だった睡眠をしばらく取ると、キャロルは気分が良くなったので、わたしたちは台所に立ち寄ることなく旅を続けました。出発したとき、あの親切な女性はまだ家に戻っていませんでした。残念なことに住所を書き留めなかったため、わたしたちの良いサマリヤ人にきちんと感謝を伝えることが一度もできませんでした。このサマリヤ人は途中で立ち止り、困っていた見ず知らずの者に自宅を提供してくれたのです。

この経験について考えると、トーマス・S・モンソン大管長の次の言葉が心に浮かんできます。「この現世の旅を共にしている同胞を愛さないならば、本当に神を愛することはできません。」² モンソン大管長は、「行って同じようにしなさい」(ルカ10:37参照)という救い主の戒めを誰よりも多く具体的に実行しています。

わたしたちが「旅を共にしている同胞」に出会うときがいつ

であっても、そしてそれが路上、家庭、遊び場、学校、職場、あるいは教会であっても、そこでわたしたちは、願い求め、よく見て、行動を起こすことで、さらに救い主に似た者となり、旅路の途中で人を祝福し、奉仕することができるのです。

願い求める

十二使徒定員会のニール・A・マックスウェル長老(1926 - 2004年)は次のように教えています。

「わたしたちは尊い救い主とは異なるので、確かにわたしたちが人類の罪を贖うことはできません。さらにわたしたちは、この世の全ての病、弱点、悲しみを負うこともとうていできません(アルマ7:11 - 12参照)。

しかし、人の小さな器であっても、イエスが招かれたように、本当に『主のように』なる努力をすることができるのです(3ニーファイ27:27)。」³

「旅を共にしている同胞」を祝福するという誠実な望みを持って、主のようになろうと願い求めるとき、わたしたちは自分自身を忘れて人を高める機会に恵まれるでしょう。そのような機会は時として都合が良くないときに訪れることがあるので、主のようになるという望みが本物であるか試されることがあります。しかし、主が行われた最も偉大な奉仕である無限の贖罪は、都合とは全く無縁なのです。主はこう言っておられます。「しかしながら、父に栄光があるように。わたしは杯を飲み、人の子らのためにわたしの備えを終えたのである。」(教義と聖約19:19)

さらに救い主のようになろうと誠実に願い求めることで、そうしなければ見えないことが見えるようになります。御霊に近い生活をしていた良いサマリヤ人は、その促しに敏感に反応し、困っていた見知らぬわたしたちに手を差し伸べたのです。

よく見る

霊の目でよく見るということは、物事をありのままに見て、霊の目で見なければ知ることができない人の必要に気づくということです。羊とやぎのたとえの中で、「祝福された」者も「のろわれた」者も、主が、空腹な者、渇いた者、裸である者、獄にいる者の中におられることを認識することができませんでした。彼らは受けた報いに対してこう尋ねました。「いつ、わたしたちは、あなたを見ましたか。」(マタイ25:34 - 39, 40 - 44参照)

霊の目でよく見た人だけが、人の必要を認識し、苦しんでいる人に対して働きかけて祝福することができるのです。わたしたちの良いサマリヤ人は霊の目でよく見たので、わたしたちの必要に気づいたのです。

行動を起こす

周りの人に必要なことがあるのを見ても、わたしたちが提供できることは十分ではないと思い、自分は応えるのにふさわしくないと感じるかもしれません。主のようになろうと願い求め、霊の目を通して旅を共にする同胞の必要をよく見るとき、主がわたしたちを通して働くことがおできになることを信じて行動を起こさなければなりません。

ペテロとヨハネは宮に入ろうとしていたとき、施しを請う「生れながら足のきかない男」に出会いました（使徒 3：1－3 参照）。ペテロが取った行動は、わたしたち一人一人に対する模範であり、勧めでもあるのです。

「『金銀はわたしには無い。しかし、わたしにあるものをあげよう。ナザレ人イエス・キリストの名によって歩きなさい。』

こう言って彼の右手を取って起し」ました（使徒 3：6－7）。

わたしたちは、自分の時間と才能を使い、優しい言葉をかけ、または体を使って仕事をするなどの行動を起こすことができるでしょう。わたしたちは、願い求め、よく見ることによって、行動を起こして人を祝福する環境や状態に置かれるのです。わたしたちの良いサマリヤ人は行動を起こしました。わたしたちを家に連れて行き、持っているものを提供してくれました。つまり、こう言ったのです。「わたしにあるものをあげよう。」それはまさにわたしたちが必要としているものでした。

モンソン大管長は、これらの原則について次のように教えてください。

「わたしたちは皆、死すべき世の旅路で自分の『エリコへの道』を旅します。あなたはどのような経験をするでしょうか。わたしはどのような経験をするでしょうか。強盗に襲われてわたしの助けを求めている人に、わたしは気づかないのでしょうか。あなたはどうでしょうか。」

わたしは、傷を負っている人を見て、助けを求める声が聞こえても、それでも向こう側を通って行くのでしょうか。あなたはどうでしょうか。

あるいはわたしは、よく見て、聞いて、立ち止まり、そして助ける人なのでしょうか。あなたはどうでしょうか。

イエスは次のスローガンをわたしたちに与えられました。『あなたも行って、同じようにしなさい。』このスローガンに従うとき、わたしたちの永遠の視野にこの上ない喜びの展望が開けるのです。」⁴

願い求め、よく見て、行動を起こすことによってさらに主のようになるとき、ベニヤミン王の次の言葉が真実であることを知るでしょう。「あなたがたが同胞のために務めるのは、とりもなおさず、あなたがたの神のために務めるのである。」（モーサヤ 2：17）■

注

1. リチャード・G・スコット「わたしは手本を示したのだ」『リアホナ』2014年5月号, 35
2. トーマス・S・モンソン「愛——福音の真髄」『リアホナ』2014年5月号, 91
3. ニール・A・マックスウェル「キリストの贖いの血の効力を及ぼす」『聖徒の道』1998年1月号, 25 参照
4. トーマス・S・モンソン「あなたが歩むエリコへの道」『聖徒の道』1977年10月号, 505 参照

誠実に願い求める



霊の目によく見る



行動を起こして祝福する





함께 합소서
Need This Every Hour

신소프신
우쿠슬하

없기되소

「絶えず頼り 主求む」

わたしたちが次に何を教えたらよいか
分からなかったとき、
同僚はこの賛美歌を歌うように勧めました。

ジョナサン・H・ウェストバー

パルサン
韓国の鉢山で宣教師として働いていたある日曜日の心地よい午後、集会后に会員に別れを告げ、同僚と伝道に行こうとすると、ワードの伝道主任がコン・スングンという12歳の少年をわたしたちに紹介しました。彼はその日教会に出席し、福音についてもっと学びたいと思っていたのです。

もちろん、喜んで教えたいと思ったのですが、そんなに年若い少年に福音を教えることに不安を感じました。わたしたちは彼の両親の許可を得ようと決め、コン・スングンの家に電話をし、母親のパク・ミジュンと短く話をしました。驚いたことに、彼女は自分の息子が教会に行こうとしているのを喜んでいて、彼を教えるために家に来てくれるとうれしいと言ったのです。

予期せぬ求道者

次の日の夕方、わたしたちはその少年の家に着いて教えようとしていました。わたしたちは驚きました。パク・ミジュンは娘のコン・スジンにも教えてほしいと思っていたのです。それで、わたしたちがどういう者か分からなかったので、パク・ミジュンは教えるところを観察したいと思っていました。もちろん、聞きたいと望むたくさんの人に教えるのはうれしいことでした。

軽い飲食物が出された後、わたしたちは一緒に座って話を

し始めました。すぐに福音を聞くのではなく、パク・ミジュンは、わたしたちについてもっとよく知り、家族の状況を伝えたいと思っていました。息子がこれまでがんと闘ってきたことなど、家族が最近遭遇している試練や苦難について話してくれました。息子は放射線治療が功を奏し、その当時はがんは回復段階にあったものの、いつ再発するか分からないと医者から通告されていました。そのことが家族に暗い影を落としていました。家族が雨風をしのげる家に住み、食卓に食べ物があるように、父親は懸命に働かなければなりませんでしたが、家族の収入は限られていました。

わたしは、彼らが人生で受けている試練に衝撃を受け、悲しくなりました。彼らにとって人生は楽ではありませんでした。しかし、韓国のような家族中心の社会で、家族が強調される中であって、わたしが韓国で出会ったどのような家族よりも、この家族のきずなの強さは群を抜いていました。その夜、この特別な家族に対する理解を深め、福音のメッセージを分かち合う機会を得て、彼らの家を後にしました。

わたしと同僚は、その週に数回訪問して教えました。毎回、最初の訪問と同じ温かさを感じ、もてなしを受けました。バプテスマの話題になったとき、子供たちは二人とも教会に入ることを強く望んでいましたが、母親からは、同じような反応は得られませんでした。母親はわたしたちの教えに共感し、福音が真実であってほしいと願っていたのですが、

教会に入るときに求められる決意をしてそれを守ることができとは思っていませんでした。さらに、夫を差し置いて自分がバプテスマを受けるのは適切ではないとも感じていました。わたしたちはまだ彼女の夫には会っていませんでした。そのような状態であっても、彼女はわたしたちと会い続けることをとても喜んでいて、子供たちと一緒に教会に行くことを望んでいました。

2週目の終わり頃、彼女の家で教え続けていると、彼女の夫コン・クックウオンに会いました。謙虚で、親切で、寛大な男性でした。彼は最後に何度か一緒に学び、わたしたちが教えた全てのことをすぐに信じました。教えたことの中には、^{じょうぶん} 什分の一や知恵の言葉など、人によってはときどき難しいと感じる教義が含まれていました。彼らは、衣食に事欠くほどの家計の状態にあっても、什分の一を納め始めました。父親のたった一つの障害は、日曜日に働かなければならないことでした。彼はソウル国際空港で毎週日曜日に働いていたので、家族と一緒に教会に出席することができなかったのです。そのような仕事の予定にもかかわらず、彼とその妻は、次の日曜日に子供たちのバプテスマ会に出席する手はずを整えました。

子供たちのバプテスマの後、わたしたちは頻繁にその家族の家で会い続けました。家庭の夕べを開き、聖文を分かち合い、心が鼓舞される経験をし、ワードの会員に彼らを紹介しました。しかし、福音を味わう経験が続いているにもかかわらず、この両親はバプテスマから程遠いところにいました。

そうするうちに、同僚は転任し、宣教師訓練センターから来たばかりの長老が新しい同僚になりました。彼は信仰とエネルギーと熱意に満ちあふれていて、正直に言って、歩調を合わせるのには難しいことでした。コン・クックウオンとパク・ミジュンと数回会った後、同僚がわたしに話し掛けてきて、わたしと前の同僚が彼らと一緒に断食をしたことがあるか尋ねました。ありませんでした。事実、そのようなことは考えつきもしませんでした。そこで、わたしたちは家族に会って断食を提案しました。この家族は、息子の健康が回復し、コン・クックウオンが仕事の予定が変わって教会に出席できるように、定期的に自分たちで断食していたのです。わたしはそのことを知り衝撃を受けました。わたしと



わたしたちが5番を歌い終わると、
御霊が部屋に強く降り注ぎました。
彼女はわたしの目をまっすぐ見てこう言いました。
「わたしにはバプテスマが必要です。」

同僚が家族とともに断食した後に、祈りがこたえられて、コン・クックウオンの仕事の予定が変わりました。しかしパク・ミジュンは、自分にはバプテスマを受ける準備ができたとは感じられませんでした。

靈感されたアイデア

その後わたしの同僚は、すばらしいアイデアをもう一つ思いつきました。ポケットサイズの賛美歌を取り出して、彼らと一緒に歌ってよいか尋ねたのです。わたしたちは以前に

何回か一緒に歌いましたが、パク・ミジュンが歌うのをまったく見たことはありませんでした。歌うのが好きではないのか、それともなじみのない曲なので違和感があるのだろうかと思っていました。同僚は、好きな賛美歌がないか彼女に聞きました。とても驚いたことに、彼女は涙をこらえながら、子供の頃から好きだった賛美歌は「絶えず頼り主求む」ですと答えたのです（『賛美歌』53番）。わたしたちは4部合唱で歌い始めました。父親が旋律を歌い、母親がアルトを歌い、同僚がテナーを歌い、わたしがベースを歌いました。

御霊が部屋に強く降り注ぎました。3番を歌っていると、母親が感極まって、歌い続けるうちに彼女の声が聞こえなくなりました。

絶えず頼り
幸受け
苦しみを
受けなん
われは頼りて
常に求む
わが主よ
恵みたまえや

4番と5番を歌い終わると、彼女はむせび泣いていました。夫が彼女を慰めようとしたので、ようやく彼女は気を落ち着けることができました。彼女はわたしの目をまっすぐ見てこう言いました。「わたしにはバプテスマが必要です。」

あの日曜日の午後にかかれたコン・クックウオンとパク・ミジュンのバプテスマ会は、伝道中最も霊的な出来事でした。子供たちはバプテスマ会に参加し、たくさんの地元の会員たちが出席してワードで新しく改宗した家族を歓迎しました。わたしと同僚は特別な賛美歌である「絶えず頼り主求む」を歌いました。

程なくして、わたしは伝道を終えて本国に帰りました。単科大学の1年が過ぎた後、わたしは夏のインターン制度のために韓国に戻り、毎週末には、伝道中に会った多くの友人や家族を訪問するようにしました。数週間後、わたしは鉢山に行き、あの特別な家族に会いました。家族の家に着くやいなや、誰かがいないことに気がつきました。それはその家族の息子でした。パク・ミジュンは目に涙を浮かべ、悲しい知らせを伝えました。息子のがんが再発し、14歳でこの世を去ったのでした。

わたしはお悔やみの言葉を伝え、心に感じた痛みを抑えようとしたとき、コン・クックウオンは、全ては善しですよ、とわたしに言いました。彼らは福音を愛し、教会に忠実に集い、家族が韓国ソウル神殿でこの世においても永遠にわたっても結び固められる日を待ち望んでいました。深く悲しんだにもかかわらず、再びコン・スングンと会い、また一つに結ばれることをあの家族は知っていました。パク・ミジュンは、賛美歌を毎日歌うことで悲しみに対処する強さを見いだし、御霊がもたらす平安を感じる助けになっていたとも話してくれました。

その夜、彼らの家を後にしたとき、パク・ミジュンの好きな賛美歌の歌詞がわたしの心に再び響いていました。コン・スングンが亡くなった後、あの家族に平安を与えて祝福してくださった天の御父に感謝しています。そして特に、パク・ミジュンの改宗に御霊の導きがあったことに感謝しています。彼女の改宗によって、あの家族は神殿で得られる永遠の祝福にふさわしくなることができたのです。■

筆者はアメリカ合衆国ユタ州在住です。

賛美歌は 深い悲しみを慰める

「賛美歌を歌うことが、すばらしい説教となることもあります。賛美歌は、人を悔い改めと良き行いへと駆り立て、証と信仰を強めてくれます。また、疲れた者を元気づけ、悲しむ者を慰め、そして最後まで堪え忍ぶように励ましを与えてくれます。」

「大管長会はしがき」
『賛美歌』9



十二使徒定員会会長
ボイド・K・
バックナー会長

救い主の 私心のない神聖な 犠 牲

主はいつもそばにおられます。
皆さんが喜んで主を自分の^{あがな}贖い主として受け入れるならば、
主は既に苦しみを受け、
代価を払ってくださっています。

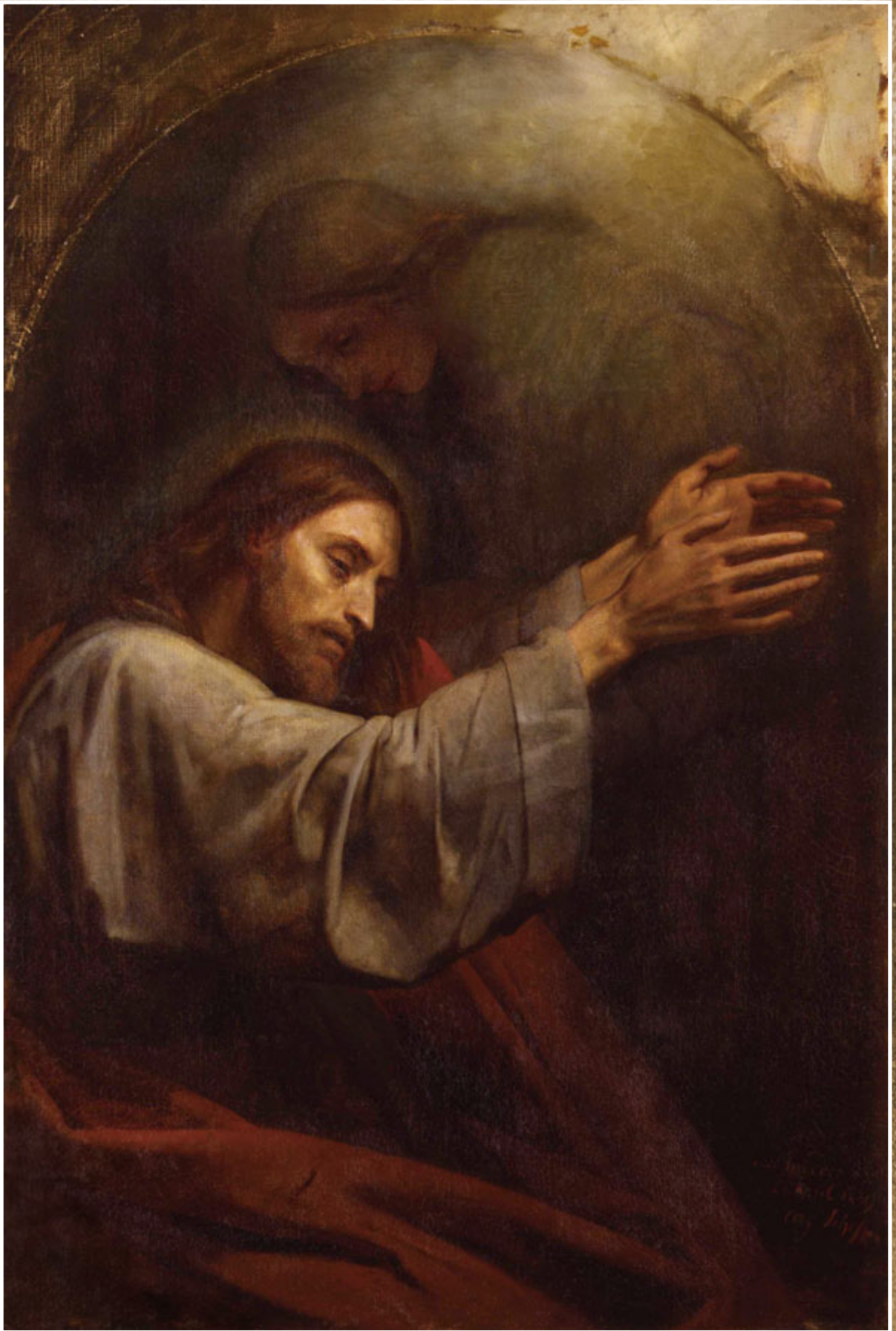
わ たしたちは皆、霊的な負債を負って生きています。いろいろな点で、勘定書の金額がどんどん増えてきます。その都度清算していれば、心配する必要はほとんどありません。やがて皆さんは規律や自制を学び、自分の行いを清算する日が来ることを知ります。霊的な負債を定期的に清算するようにしてください。金利や違約金を徴収されることがあってはなりません。

皆さんは試しを受けていますので、幾つか過ちを犯すこともあるでしょう。これまでの人生で後悔するようなこと、謝罪することすらできないようなこと、正しいとはとうてい言え



ないようなことも行ってきたのではないのでしょうか。そうすると、重荷を負うことになります。ここで**罪悪感**という言葉を使います。それは消せないインクのような染みを残し、簡単には洗い落とせません。罪悪感に伴うのが落胆、祝福と機会を失ったことに対する後悔の念です。

罪悪感に苦しんでいるとすれば、皆さんは預言者が次のように語ったモルモン書の人々と大して変わらないことになります。「彼らの罪悪のために、教会は衰え始めていた。そして彼らは、預言の霊と啓示の霊を信じなくなり、神の裁きは彼らの目前に迫っていた。」(ヒラマン4:23)



わたしたちは、それは大したことではないと互いに語り合い、自分に言い聞かせて、罪悪感の問題を解決しようとするのがよくあります。しかし、どういうわけか、心の奥底ではそう考えていないのです。たとえ口でそう言っても、そう思っていないのです。わたしたちはそのことをよく知っています。それは大きなことです！

預言者たちはいつも悔い改めについて教えてくださいました。アルマはこう言っています。「見よ、神の御子は、御子の御名を信じて悔い改めのためのバプテスマを受ける人々を贖うために来られる。」(アルマ 9:27)

アルマは道をそれた息子に率直にこう語っています。「さて、罰がなければ、人は悔い改めをすることができなかった。この罰も霊の命と同じように永遠のものであり、霊の命と同じように永遠である幸福の計画に相對して定められたのである。」(アルマ 42:16)

死すべき生涯には二つの基本的な目的があります。第1は肉体を得ることです。この肉体はやがて清められ、昇栄を受けて永遠に生きることができるのです。第2の目的は試しを受けることです。試しを受けるとき、わたしたちは必ず過ちを犯します。しかし、そうであっても、過ちから学ぶことができます。「もし、罪を犯したことがないと言うなら、それは神を偽り者とするのであって、神の言^{ことば}はわたしたちのうちにない。」(1ヨハネ 1:10)

皆さんは、「支払期限超過」という印が押された霊的な勘定書の重荷のために心身ともに弱り、悩み、あるいは苦しんでいるかもしれません。(わたしたちの多くが避けようとしては)静かに考え、自分自身と向き合うときに、気になる未解決の事柄が何かあるでしょうか。良心に引っかかることが何かあるでしょうか。大小にかかわらず、今でも何らかの罪悪感があるでしょうか。

わたしたち教会の指導者は、大きな過ちを犯して苦しんでいる人たちから手紙を受け取ることがしばしばあります。彼らはこう尋ねます。「わたしは赦^{ゆる}されるでしょうか。変われるでしょうか。」その答えは、「はい」です。

パウロはコリント人にこう教えています。「あなたがたの会った試練で、世の常でないものはない。神は真実である。あなたがたを耐えられないような試練に合わせることはないばかりか、試練と同時に、それに耐えられるように、のがれる道も備えて下さるのである。」(1コリント 10:13)

悔い改めれば苦しみや罪悪感から解放されると福音は教えています。完全な福音を知った後で滅びに落ちた少数の人、ごく少数の人は別として、大小を問わず、完全に赦されるという約束の対象とならない悪習や依存症、背き、罪科はありません。皆さんの人生^{みたま}でこれまで何があったとしても、聖なる御霊の促しを心に留めさえすれば引き返すことができるように、主は皆さんのために方法を用意しておられます。

抑えがたい衝動、心の中に繰り返し起こる誘惑に駆られる人もいます。時にそれは悪習となり、やがて依存症となるものです。わたしたちはある種の背きや罪に陥りやすく、またそのように生まれたのだから仕方がないと正当化することもあります。わたしたちはわなにはまって苦しみ、もがきます。それを癒やすことがおできになるのは救い主だけです。皆さんには、思いとどまり、贖いを受ける力があります。

サタンは家族を攻撃する

マリオン・G・ロムニー管長(1897-1988年)は、かつてわたしにこう語りました。「単に彼らが理解できるように話すのでは不十分です。彼らが誤解することのないように話してください。」

ニーファイはこう言っています。「わたしは、分かりやすいことを喜びとする。主なる神は分かりやすい方法で、人の子らの中で業を行われるからである。主なる神は理解力に光をお与えになる。」（2 ニーファイ 31：3）

ですから、よく聞いてください！ わたしは召された者として、語る義務を負っているのです、分かりやすく話します。

皆さんはサタンがいることを知っています。聖典では、サタンは「悪魔であり、あらゆる偽りの父である、あの年を経た蛇」と述べられています（2 ニーファイ 2：18）。彼は時の初めに追い出され（教義と聖約 29：36－38 参照）、死すべき体を与えられませんでした。彼は今、「偉大な幸福の計画」（アルマ 42：8）を妨害すると誓って、あらゆる義の敵となっています。家族に攻撃的を絞っています。

皆さんは、ポルノグラフィーという災いが全世界に広がっている時代に生きています。それから逃れるのは容易ではありません。ポルノグラフィーは皆さんの体の働きの、命を生み出す力がある部分を標的にしています。

ポルノグラフィーにふけると、厄介な問題が起こり、離婚や病気、さまざまな困難が生じます。清いままでいることはできません。ポルノグラフィーを集めたり、見たり、どんな形であれ持ち歩いたりすることは、リュックサックの中にガラガラヘビを入れているようなものです。霊的な意味で、猛毒を持つヘビにかまれることは決して避けられないでしょう。容易に分かることですが、現在のような世界では、恐ろしい結果が待っていることに気づかないまま、ほとんど悪気もなくポルノグラフィーに接し、それを読み、見ることができるのです。もし皆さんがそのような状況にあるとしたら、やめるようにと、わたしは警告します。今、やめてください！

全ての「人は善悪をわかまえることを十分に教えられている」と、モルモン書は教えています



まったく罪がなく、
全人類の
罪と背きについて
責任を
引き受けることの
できる御方は、
人類の歴史の中で
たった一人しか
おられません。

（2 ニーファイ 2：5）。それに皆さんも含まれています。皆さんは何が正しく何が正しくないかを知っています。その境界線を越えないようにくれぐれも気をつけてください。

ほとんどの過ちは個人的に主に告白すればよいのですが、それだけでは赦されない背きもあります。あなたの過ちが重大なものであれば、ビショップのもとへ行ってください。そうでない場合は、静かに個人的に普通の告白を行います。しかし、赦しの大なる朝はすぐに来ないこともあるということを覚えておいてください。最初につまずいたとしても、諦めてはいけません。落胆を克服することは試しの一部です。諦めないでください。また、以前にも言いましたが、一旦罪を告白して捨てたら、振り返らないでください。

救い主はわたしたちの罪のために苦しまれた

主はいつもそばにおられます。皆さんが喜んで主を自分の贖い主として受け入れるならば、主は既に苦しみを受け、代価を払ってくださっています。

死すべき者であるわたしたちは、救い主がどのようにして贖いの犠牲を果たされたのか十分には理解できないかもしれませんが、実際に理解できません。しかし現時点では、救い主がどのように苦しまれたかということよりも、なぜ苦しまれたかということの方が大切です。救い主が皆さんのために、わたしのために、また全人類のために苦しまれたのは、なぜでしょうか。父なる神と全人類を愛しておられたために苦しまれたのです。「人がその友のために自分の命を捨てること、これよりも大きな愛はない。」（ヨハネ 15：13）

ゲツセマネで、キリストは使徒たちから離れて祈られました。そこで起こったことは、わたしたちの理解力を超えています。しかし、わたしたちは、キリストが贖罪（しよくざい）を成し遂げられたということを知っています。キリストは、全世界の人々の過ち、罪と罪悪感、疑いと恐れを進んで引き受けられ

たのです。わたしたちが苦しまずに済むように、わたしたちに代わって苦しまれたのです。これまで多くの人がひどい苦しみを受け、つらい悲惨な死を迎えました。しかし、キリストの苦しみはその全てを超えていました。

わたしは年を取って、肉体の苦痛がどのようなものかを知るようになりました。それは決して楽しいものではありません。人は誰もがこの世で多少は苦しみについて学ぶものです。しかし、わたしにとって耐えられない苦痛は、自分が他の人を苦しませる原因を作ったと知ったときの苦痛です。そのようなときに、わたしは、救い主がゲツセマネの園で経験された苦しみ的一端を知るのです。

救い主の苦しみは、後にも先にも他の全ての苦しみとは違っていました。全人類に課せられた罰を全て引き受けられたからです。それを想像してみてください！ 救い主には、支払うべき負債はまったくありませんでした。何一つ間違いを犯されませんでした。にもかかわらず、人に知られている罪悪感、嘆きと悲しみ、苦痛、また屈辱の全て、さらに知的、情緒的、肉体的苦痛の全てを合わせて、救い主はその全てを経験されたのです。まったく罪がなく、全人類の罪と背きに対する責任を引き受け、代価を払う際に伴う苦しみを受けて生き延びることのできる御方は、人類の歴史の中でたった一人しかおられません。

救い主は御自分の命を差し出して、実にこう言われたのです。「世の罪を負うのはわたしである。」(モーサヤ 26:23) 救い主は十字架につけられ、亡くなられました。しかし、人々は救い主の命を奪うことはできませんでした。救い主が死ぬことに同意されたのです。

完全な赦しは可能である

たとえつまずいたとしても、あるいは一時的に道を見失ったとしても、たとえ今サタンに

捕らえられていると感じても、皆さんは、もはやこの世であちらこちらをさまよい歩くことなく、信仰をもって前進することができるのです。皆さんを平安と安全へ引き戻す備えをしている人たちがいます。聖文の中で約束されているように、「わたしたちが自分の行えることをすべて行った後に」、実に神の恵みが与えられます(2 ニーファイ 25:23)。これが可能であるということは、わたしにとって、最も知る価値のある真理です。

わたしは赦しの輝かしい朝が訪れることを約束します。その時が来れば、「人知ではどうてい測り知ることのできない神の平安」(ピリピ 4:7) が再び朝日のように人生に注がれ、皆さんも主も、「もはや〔皆さんの〕罪を思わない」ようになることでしょう(エレミヤ 31:34)。どうすればそれが分かるでしょうか。皆さんには分かります！(モーサヤ 4:1-3 参照)

これが、悩んでいる皆さんにわたしが伝えたいことです。救い主はそばに来て、皆さんが解決できない問題を解決してくださいます。しかし、皆さんはその代価を払わなければなりません。そうしなければ問題は解決されません。必要な代価を払ってくださったという意味で、救い主は思いやりの深い統治者であられます。しかし、皆さんには、たとえつらくてもなすべきことを行うよう望んでおられるのです。

わたしは主を愛しています。主を送ってくださった御父を愛しています。落胆、罪、罪悪感というわたしたちの重荷は、主の前に置くことができます。そして、主の寛大な条件の下で、勘定書に記された各項目に「全額支払い済み」の印が押されるのです。

「主は言われる、さあ、われわれは互に論じよう。たとえあなたがたの罪は緋のようであっても、雪のように白くなるのだ。紅のように赤くても、羊の毛のようになるのだ。」そして、

イザヤはこう続けています。「もし、あなたがたが快く従うなら」と（イザヤ 1: 18 - 19）。

主に来たれ

「若いうちに知恵を得なさい。まことに、神の戒めを守ることを若いうちに習慣としなさい」（アルマ 37: 35）という聖句は、平安が与えられ、サタンから守られるという約束を伴う勧告です。「あなたは、年が若いために人に軽んじられてはならない。むしろ、言葉にも、行状にも、愛にも、信仰にも、純潔にも、信者の模範になりなさい。」（1 テモテ 4: 12）

全てのことが生涯順調に進むと期待しないでください。忠実に生活している人々でさえ、その逆であるということが時折あります。それぞれの人生のチャレンジに楽観的に、確信をもって立ち向かってください。そうすれば、平安と信仰があり、今も将来も皆さんの支えとなることでしょう。

自分が欲して必要であると感じる全ての祝福をまだ受けていない人々について、わたしが固く信じていることがあります。それは、忠実に生活している皆さんに、贖いと救いに不可欠の経験や機会が与えられないことは決してないということです。いつもふさわしくあってください。希望を持ち、忍耐強くあり、よく祈ってください。聖霊の賜物が皆さんを導き、皆さんのなすべきことを教えてくれるでしょう。

皆さんが過ちを犯したために、あるいはまだ祝福を受けていないために、その結果として罪悪感、落胆、あるいは絶望と闘っているとしたら、賛美歌「主に来たれ」に見られる、心に慰めを得る教えを読んでください。

主に来たれ 重荷負い
罪に負けし者よ
主を頼る者を皆



落胆、罪、
罪悪感という
わたしたちの重荷は、
主の前に置くことが
できます。
そして、主の寛大な
条件の下で、
勘定書に記された
各項目に
「全額支払い済み」
の印が
押されるのです。

天へと導きまさん

主に来たれ 闇の中
迷うとも 主、守らん
主の愛は汝を見つめ
闇より導かん

主に来たれ 主の愛に
祈れば 聞きたまわん
おお、知らずや 天使くだり
汝がそばに在ますを¹

わたしは使徒の兄弟たちとともに、自分が主イエス・キリストの特別な証人であると断言します。わたしは自分自身の中に、あるいは他の人々の中に主の神聖な犠牲の清めの影響を感じるたびに、その証を再確認しています。わたしの証と、兄弟たちの証は真実です。わたしたちは主を知っています。主は主の預言者たち、聖見者たち、啓示者たちにとって見知らぬ御方ではありません。

皆さんは完全ではありませんが、その道を進んでいることを、わたしは理解しています。勇気を持ってください。肉体を持つ者は誰でも、肉体を持たない者を支配する力があるということを知っておいてください。² サタンは肉体を与えられていません。ですから、皆さんは誘惑を受けたとしても、園でアダムとエバに授けられ、まさにこの世代にまで受け継がれてきた選択の自由を働かせるならば、それら全ての誘惑を跳ね返すことができるということを知ってください。

皆さんが希望と望みを持ち、主の望まれることを喜んで行うこと、それこそが皆さんに期待されていることなのです。■

2011年11月6日にブリガム・ヤング大学で行われたディボーションでの説教「最も知る価値のある真理」から。全文は、<https://www.lds.org/broadcasts/ces-devotionals?lang=jpn> からご覧いただけます。

注

1. 「主に来たれ」賛美歌 67 番参照
2. 『歴代大管長の教え——ジョセフ・スミス』211 参照

大好きな賛美歌を歌う

わたしはちょうど娘レベッカを産んだばかりでした。陣痛がひどかったため、疲れ切っていました。

レベッカがわたしの腕に置かれたとき、大好きな歌、「神の子です」(『賛美歌』189番)を歌うべきだという抑えがたい気持ちが込み上げてきました。「だめだわ、疲れすぎているから。あとで歌ってあげよう。」最初はそう思いました。しかしもう一度同じ気持ちが湧いてきました。そこで、疲れ果ててはいましたが、1番の歌詞を歌い始めました。夫と母も一緒に歌ってくれました。

歌い終わったときに、部屋の中は特別な雰囲気満ちていました。その瞬間までは動じることなく、どちらかと言えば普段と変わらない様子だった担当の女医ですら、頬を涙でぬらしていました。すてきな歌を歌ってくれてありがとうございますと彼女に言われました。もう何年にもわたって赤ちゃんの出産に携わってきたけれども、こんな気持ちを

感じたのは初めてだと言われました。

わたしはその経験について深く考え、同じ賛美歌を録音したものを見つけて、彼女にあげた方がいいのでは、と思いました。残念なことに、わたしは生活に追われて、そのことを忘れてしまいました。

やがて産後検診の日がやって来ました。部屋に入ると、女医は顔をパツと明るくし、わたしを抱き締めました。あの歌が頭から離れず、自分の家族に歌ってあげられるようインターネット上でその曲を探してみたと言いました。そのとき、聖霊が思い出させてくれました。あの歌を彼女のために用意するはずだった、と。わたしは、その週のうちに歌を用意して持ってくる約束しました。

その夜、わたしは彼女に最適なアレンジの歌を見つけることができるよう助けを祈り求めました。

翌日の午後、わたしはその歌が収

録されているCDを注文しました。CDが数日後郵便受けに入っていたとき、わたしは一刻も早く彼女に渡したいと思いました。

彼女はCDを受け取るととても喜んでくれ、その贈り物に感謝しました。なぜかは分からないけれども、この歌は自分にとってとても大切に、家族に紹介したいと言いました。話し続けるうちに、わたしは彼女に、この歌に対するわたしの愛だけでなく、この歌が教える簡潔な真理についてのわたしの^{あかし}証も伝えました。

その日、車で帰宅する途中、わたしは天の御父が御自分の娘、すなわちわたしの担当医に対して抱いておられる愛を感じました。天の御父は彼女を知り、愛しておられます。また彼女が自分ももう一度御父のもとへ戻って一緒に住むことができると理解することを望んでおられるのです。■

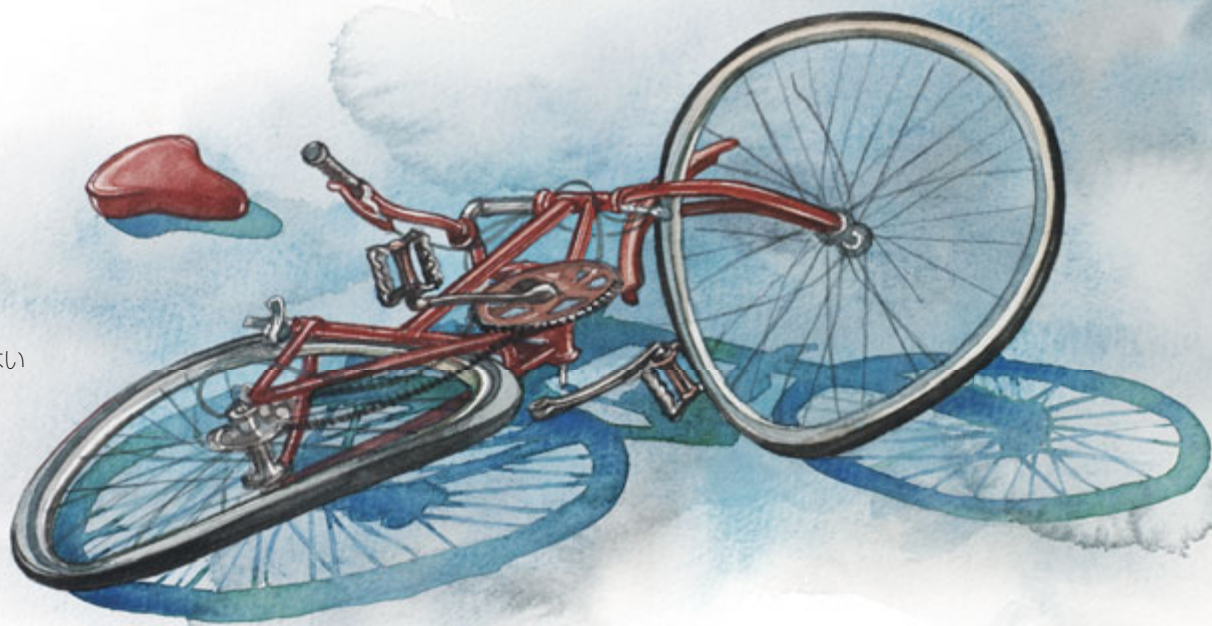
アンジェラ・オルセン・センター
(アメリカ合衆国、オハイオ州)

歌い終わったときに、
その瞬間までは

動じることなく、
どちらかと言えば
普段と変わらない様子だった
担当の女医ですら、
頬を涙で
ぬらしていました。



天の御父は、
なぜ「いつも」
わたしたちを見守り、
警告を与えてくださらない
のでしょうか。



「いつも」という主の約束

聖餐会で座って、パンの祝福の祈りについて思い巡らしていたとき、「いつも御子の御霊を受けられるように」という言葉がわたしの心の中で何度も繰り返されました（モロナイ 4:3；教義と聖約 20:77）。

ある時期、ある時間帯だけではなく、「いつも」という言葉でした。では、数か月前、11歳になる息子が自転車と自動車の事故で死ぬ前に、夫とわたしはどうして息子を守る方法について促しを受けなかったのでしょうか。天の御父は、なぜ「いつも」わたしたちを見守り、警告を与えてくださらないのでしょうか。

わたしは初等協会で、聖霊はわたしたちを守ってくださると教わり、それを信じていました。天の御父は、細くて小さな声を使ってわたしたちを見守り、導き、また警告を与えて危険から守ってくださるとわたしは信じていたのです。ベンが亡くなってからというもの、そのようなことばかり考えていました。息子がいなくなって寂しさが募るばかりで、わたしの心は理解と平安を求めて苦しみました。

わたしへの警告の声はどこにあったのだろう。聖霊はどこにおられたのだろう。自分たちとしては、義になかった生活を送ろうと精いっぱい努力をしてきたつもりでした。什分の一を納め、集会に出席し、頼まれたらいつも奉仕していました。完全からはほど遠いわたしたちでしたが、家庭の夕べを開き、聖典も読んでいました。努力はしていたのです。

そのような折に、わたしは扶助協会のクラスで着席し、教師が近い親戚の話をしているのを聞いていました。赤信号で停車しているとき、その親戚は青に変わってもそのまま動かないようにというはっきりとした印象を強く感じたそうです。彼女はその促しに耳を傾けました。それからほとんど間髪を入れずに、大きなトラックがものすごい勢いで、赤信号の交差点を走り抜けました。もしそのような印象を感じることもなく交差点に進入していたら、彼女も子供たちも大けがをし、最悪の場合、命を失っていたかもしれません。

この話にわたしは衝撃を受け、椅子

に座ったまま泣きました。そして、立ち上がって部屋を出ようとしたその瞬間、大きな慰めを感じました。そして、聖霊はずっとわたしとともにおられたことに気づきました。わたしの場合、聖霊は警告の声ではなく、慰め主としてともにおられたのです。

ベンの事故以来、わたしは自分の力を超えた力を感じ、天の御父の愛によって慰めを受けていたのです。ある種のことが起こる理由を理解する力に欠けることは時としてありましたが、御父の愛を疑ったことは一度もありませんでした。

わたしには、主が全てのことを理解しておられ、決してわたしたちを慰めのないままに放っておくことはなさらないという信仰があります。わたしたちの生活において、聖霊はさまざまな役割を果たしておられるのです。わたしたちを守ることもおできになれば、導き、慰め、教えることも、また理解する心や他の祝福を与えることもおできになるのです。

わたしは天の御父が御自分の約束を確かに守られるということを知りました。御父は「いつも」わたしとともにおられたのです。■

ロビン・キャスパー（アメリカ合衆国、ユタ州）



み た ま 御霊がわたしにささやきました

「おーい！ 戻って来なさい！」 すさまじい叫び声が聞こえました。

車の方に向き直ったとき、御霊がささやきました。「あなたは力になることができる。」 そのささやきが静かながらも実にはっきりとしていたので、次の瞬間、わたしは男の子たちを見つけようと、駐車場の中を走り始めました。

茶色のミニバンの横に、年上の子供が立っているのを見つけました。わたしは彼に近づいて傍らにひざまずき、こう言いました。

「こんにちは。わたし、クリスチナ。大丈夫？」

そう声をかけると、彼はもっと激しく泣き、手で顔を覆いました。店員ともう一人の子供がやって来ました。

「二人はフランス語しか話せないみたいですよ。」 店員はわたしにそう言いました。「迷子になったようで、ついさっきまで、両親を見つけようと店内を走り回っていたんです。」

わたしは子供たちにフランス語で自己

紹介をしてみました。フランス語はわたしの母語でしたが、小さい頃に英語を話す家族の養子となったため、話す機会がありませんでした。普段、フランス語はうまく話せませんでした。しかし、そのときは、すらすらと自然に口をついて出てきました。子供たちを慰めるとき、何を言うべきかちゃんと分かり、上手に話すことができたのです。

すすり泣きながら、年上の子供はせきを切ったように、フランス語で話し始めました。店中探しても両親が見つからなかったのも、外に出て探したということでした。話を聞きながら、ふと気がつくと、驚いたことに、わたしは自分がフランス語で自由に会話をしているだけでなく、何の抵抗もなく、二人のおびえ切った子供たちを理解し、慰めていました。

「両親を見失ったので、自分たちの車の中で待ちたいと思ったようです。」 わたしはそう店員に言いました。年下の子供が両親の名前を覚えてくれたので、わたしは店員に伝えました。呼び出してもら

5 歳と7歳ぐらいの男の子が二人、店の駐車場を走り回っているのが見えました。その頬には涙が流れ落ちていました。

うためです。数分後、店から出てこちらに走って来る父親の姿が少年たちの目に留まりました。

わたしは、父親のところまで彼らについていきましたが、フランス語で簡単な別れの言葉すら言えなくなっている自分に気づきました。子供たちが理解できるようなことを何か言おうとしましたが、幾つかの関連性のない言葉以外何も出てきませんでした。しかたがないので、わたしは英語でこう言いました。「さようなら。会えてよかったわ。」

両親と再会できた子供たちと別れるとき、わたしは感謝の思いでいっぱいになりました。天の御父は、御自分の小さな二人の子供を慰めるために、わたしを通じて働きかけてくださったのです。御自分の目的を果たすために、主はわたしの限られた能力を最大限に発揮させることがおできになったのです。わたしはそのことを知り謙遜になりました。神から求められたときに、無理だと思われる状況であっても自らを差し出すときに何が起り得るのか、わたしはそれを目の当たりにできたことに感謝しています。■

クリスチナ・アルブレヒト・イヤーハート
(アメリカ合衆国、ワシントン州)

今、神殿に行かなければならない！

ある日曜日の朝、最近バプテスマを受けた会員がワードに迎え入れられました。リディアという名前でした。彼女はすぐにわたしたちの心を捉えました。

リディアは年配の女性で、長年にわたって糖尿病を患ってきた結果、目が不自由になりました。彼女は、会員たち一人一人の声と足音をすぐに聞き分けられるようになりました。よくわたしたち一人一人の名前を言って、握手をしたものです。彼女は目が不自由だという事実を、わたしたちは一度も口にすることがありませんでした。

所定の期間を経てから、リディアはビショップとステーク会長の面接を受けました。神殿推薦状を発行してもらうためです。日曜日の扶助協会で、彼女はわたしを引き寄せて、大きな声で言いました。「ステーク会長から、できるだけ早く神殿に行くように言われたの。連れて行ってくれる？」

それは12月の第1週でした。誰もが忙しい時期です。わたしはよくある言い訳

をしました。「1月まで待てないかしら？」
「だめよ、今すぐ行かなくちゃ！」

ワードの姉妹たちがグループで、毎月神殿に参入していました。そこで、リディアと神殿に参入することを、彼らに持ちかけました。とても忙しいのは彼女たちも同じでした。しかし、リディアは目に涙を浮かべながらも一度、ステーク会長からできるだけ早く神殿に行くように言われた、と言いました。

とうとうわたしたちは全員、翌週、241キロに及ぶ神殿への旅に出かけることに同意しました。旅の途中、バンの中は8人の女性のおしゃべり、そして親睦の場となりました。リディアは、神殿での経験と自身のエンダウメントを受ける祝福に大喜びしました。

1月の第1週、リディアは容態が悪化し、集中治療を受けるために入院しました。それから1週間後に、彼女は亡くなりました。しかし、リディアは、

つい数週間前に神殿で受けた永遠の祝福を携えて旅立ったのです。

その後、わたしはステーク会長にわたしたちの旅について話し、ステーク会長が促しを受けて、リディアに直ちに神殿に入らなければならないと言ったことに自分がどれほど深い感動を覚えたか伝えました。

「実は、今すぐに行かなければならないというつもりで言ったのではないのですよ」と彼は答えました。「新しい推薦状保持者には、いつも、近いうちに神殿に行くように言います。今すぐ行くようリディアに語りかけたのは、御霊^{みたま}であって、わたしではありませんよ。」

リディアは、御霊に耳を傾け、御霊に従って行動するよう、わたしたちに教えてくれたのです。わたしは、静かな細い声に耳を傾けるということを思い起こさせてくれた彼女に感謝しています。



メアリー・ホームズ・ユアン
(アメリカ合衆国、
カリフォルニア州)

「**ス**テーク会長から、
できるだけ早く神殿に
行くように言われたの。連れて行ってくれる？」
リディアはそう言いました。





七十人
アンソニー・D・
パーキンス長老

信 仰

を込めて
前進する

ヤングアダルトの皆さんは、今、「決意の10年間」と呼ばれてきた時代に生きています。皆さんは、現在、自分の生涯で最も重要な選択の多くを行っています。例えば、「神殿に入る、伝道に出る、教育を受ける、職業を選択する、伴侶を選ぶ、聖なる神殿でこの世においても永遠にわたっても結び固められる」といった選択がそうです。¹

わたしは、特に、こうした重要な決定のうち、一つまたは複数の決定で苦しんでいる人々にお話しします。そのような人々の中には、誤った決定を下すかもしれないという恐怖感でほとんど身がすくんでしまっている人や、以前に下した決定に自信を持ち続けるための後押しが必要な人もいることでしょう。

ニーファイは靈感あふれる決定を下しました。その決定に関する4つの教訓は、皆さんの恐れを和らげ、前進するための自信を増してくれます。

1. 戒めに従う

ニーファイの神聖な記録の最後の節

は、ニーファイの生涯を要約しています。「主がわたしにこのように命じられたので、わたしは従わなければならない。」(2 ニーファイ 33:15)

救い主へのニーファイの信仰と愛を裏付けているのは、神の戒めに対するニーファイの従順です。ニーファイは祈っています(1 ニーファイ 2:16 参照)。聖文を読んでいます(1 ニーファイ 22:1 参照)。生ける預言者から与えられる指示を求め、それに従っています(1 ニーファイ 16:23-24 参照)。そのように従順だったことで、聖霊はニーファイの生涯を通じてニーファイとともにおられ、ニーファイは絶えず個人的な啓示を与えられたのです。

皆さんも主から離れることのないよう、神の戒め^{あかし}を守らなければなりません。わたしは証します。聖文を読む、日々祈る、教会の集会に出席する、生ける預言者の勧告に耳を傾ける、人に仕える、こうした小さなこと^{みたま}にたゆまず従うことで、御霊、すなわち御霊がもたらす啓示を受ける資格が与えられます。

完全は、個人に啓示が与えられるた

ニーファイは
靈感あふれる
決定を下しました。
その決定に関する
4つの教訓は、
皆さんの恐れを和らげ、
前進するための自信を
増してくれます。

めの必要条件ではありません。必要条件是日々の悔い改めです(ローマ 3:23 参照)。誠実かつ完全に悔い改めるならば(教義と聖約 58:42-43 参照)、贖罪の持つ清め^{しよくざい}の力が御霊をもたらし、人生で重大な決定を下すときに、その御霊が皆さんを導いてくださることでしょう。



救い主への
ニーファイの信仰と愛を
裏付けているのは、
神の戒めに対する
ニーファイの従順です。

恐れを和らげ、自信を増す方法

1. 戒めに従う。
2. 信仰によって前進する。
3. 今を生きる。
4. 人の力を活用する。

2. 信仰によって前進する

ニーファイの立場になる皆さんのお父さんが、主がお命じになったので、わたしたち家族は富を捨てて荒れ野に出発します、と言ったとします。この旅について、またその目的地について知りたいとは思いませんか。

主がニーファイの将来について明らかに示されたとしたら、ニーファイは感激したことでしょう。しかし神はニーファイにそのような働きかけはされませんでした。皆さんにも、そのような働きかけはされません。

家族が荒れ野を旅しているとき、ニーファイへの指示は、「時々」または「度々」しか与えられませんでした（1ニーファイ 16：29；18：1）。自分がたどる人生の旅を前もってはっきり見たとしたら、ニーファイは、さらにキリストのような人物になるのに役立つ霊性を伸ばし、信仰を形成する経験をするのはなかったでしょう。

自分が大学で何を専攻するか、誰と結婚するか、どんな仕事に就くか、どこに住むか、大学院に進むか、また子供を何人産むかといったことを神が啓示されるのを待っているとしたら、皆さん

はいつまでたっても自分のアパートを出られないでしょう。個人への啓示は、「時々」しか与えられないとわたしは証します。

天の御父は、わたしたちに成長してほしいと望んでおられます。その成長には、事実を比較検討し、判断し、決定する能力を伸ばすことも含まれています。ただ、御父はその決定を御自分のもとへ持ってくるよう勧めておられます（教義と聖約 9：7－9 参照）。十二使徒定員会のリチャード・G・スコット長老は、祈りへの答えは「三つの方法のうちから一つの方法で」与えられると教えています。²

確認を与える確信

スコット長老は次のように述べています。「一つ目の方法として、自分の決断が正しいという確認を与える平安と慰め、確信を感じることができます。」³ 妻のクリスティーとわたしは、人生に影響を及ぼす重要な決定に関する確信は、聖文を通して、しばしば神殿における礼拝後に与えられるということを知りました。

その経験をお話ししましょう。わたしたちは深く考え、よく祈った結果、念願かなってテキサス州に建てた新しい家をあきらめて転勤を受け入れ、6人の幼い子供たちを連れて中国の北京^{ベキン}に引っ越しました。そのような重大な決断をするに当たって、わたしたちは霊的な確認を切望していました。神からの確認は確かに、神殿で、教義と聖約にある次の聖文を読んでいるときに与えられました。「わたしの思いは、あなたが……この地に長い間とどま〔ることではない。〕……あなたの財産のことを考えてはならない。東の地方へ行き……なさい。」（教義と聖約 66：5－7）





主がニーファイの将来について
明らかに示されたとしたら、
ニーファイは感激したことでしょう。
しかし神はニーファイに
そのような働きかけは
されませんでした。
皆さんにも、そのような働きかけは
されません。

このような瞬間は、もうこれ以上引き延ばしができず、行動するしかないという、皆さんが決意すべきタイミングでやって来ます。わたしはそのことを、十二使徒定員会のダリン・H・オックス長老が次のように教えたときに学びました。「わたしたちは自分にできる全てを行ったとき、つまり、木陰に座ってまず何から手をつけたらよいかを祈り求めるのではなく、灼熱^{しやくねつ}の太陽の下で働いているときに、御霊の促しを受けるのです。」⁶

ニーファイ同様、いずれ時が来れば、御霊は皆さんの選んだ道について確認または警告を与えてくださるのです。

3. 今を生きる

約束の地を目指す旅でニーファイが示した献身は、兄であるレーマン、レムエルのそれとはまったく対照的です。二人の兄は旅に出ようと決心はしたものの、その心はエルサレムから離れませんでした。ニーファイが食糧を得るために折れた弓を修理しているときも、船を造るためにあらがねを採掘しているときも、この兄弟たちは天幕の中でのんびりしていたようです。

今日、レーマンやレムエルのような人がたくさんいます。しかし、主はニーファイのように献身的な男性や女性を必要としておられます。将来に目を見開きながら、自分が決めたことに全力で取り組み、自分の置かれた環境で最高の力を発揮しようと努力するときに、皆さんは人生でさらに大きな成長を経験できます。

ニーファイはトーマス・S・モンソン大管長の次の賢明な勧告を体現しています。「過去の思い出に浸ったり、将来を待ち焦がれたりするのは心地よいことかもしれませんが、もっと大

聖霊からもたらされる力強い印象を伴って、この聖文に記されたイエス・キリストの声が、中国に移り住むという自分たちの決断は正しいことを確認してくれました。

思いが鈍くな〔る〕

天の御父が祈りにこたえられる二つ目の方法は、「気持ちが落ち着かず、思いが鈍くなれば、自分の選択が間違っていることが分かる」というものです。⁴

台湾での伝道後、国際法を仕事にすることは良い選択ではないかと思いました。クリスティーとわたしはその選択の可能性について考えたとき、あと5年にわたって高い学費の教育を受けなければならないことに気づきました。

合衆国の経済は深刻な不況下にあり、わたしたちの資金は限られていました。そこで、空軍のROTC（予備役将校訓練団）に入隊するのが、授業料を払うための賢明な選択だろうという結論に達しました。しかし、必要なテストを受け、事務処理を済ませても、そのような決断を下したことに心が休まりませんでした。思いが鈍くなることも、暗い気持ちを感じることもありませんでした。ただ心に平安が

なかったのです。

財政的なことを考えると非論理的な決断に聞こえるかもしれませんが、それはある意味で靈感でした。あのまま空軍に行っていたら、わたしは最悪の法律家になっていたことでしょう。

神の信頼

神は三つ目の方法でもこたえられます。答えがないという方法です。スコット長老はこう述べています。「ふさわしい生活を送っており、その選択が救い主の教えと一致していて、そして行動を起こさなければならないのであれば、信頼を胸に前進してください。」⁵

ニーファイが最後に真鑑^{しんかん}の版を手に入れようとしたときの記録は、神の信頼を胸にわたしたちがどのように前進すべきかを教えてくれます。次のように記録しています。

「わたしは、前もって自分のなすべきことを知らないまま、御霊に導かれて行った。

にもかかわらず、そのようにして進ん[だ]。』（1ニーファイ4：6－7）

切なのは、今を生きることです。今日という日は、二度とない機会であり、逃してはならないのです。」⁷

4. 人の力を活用する

御霊を求め、決断を下して前進し、その決断に全力で取り組んでいても、さまざまな疑いが生じ、自分の下した決断に疑問を抱くことがあります。そのような状況にあるときには、最後までやり遂げるために、信頼のおける家族の一員や友人から勧告や励ましを受けることができます。旅の途中、ニーファイの妻はニーファイにとって心のよりどころとなったのではないかと思います。

最後までやり遂げるために、
信頼のおける家族の一員や友人から
勧告や励ましを受けることができます。



教会歴史博物館を訪れたとき、ニーファイの妻に対する感謝の念が湧いてきました。わたしは、ニーファイが船のマストに縛りつけられ、猛烈な嵐の中でびしょぬれになっている絵の前でくぎ付けになりました。⁸

ニーファイのそばには、彼の妻と、子供の一人がいました。この妻は、ニーファイと同じ嵐、試練を経験していましたが、その目は何かに挑んでいるようで、その力強い腕はかばうような形でニーファイの肩の回りに置かれていました。その瞬間、わたしは自分にも、恵まれて、試練のときに励ましを与えてくれる忠実な伴侶がいることに気づいたのです。わたしは、自分も彼女にとって、同じような励みになれたらと思いました。

兄弟の皆さん、皆さんが宣教師として、あるいは他の義にかなった奉仕を通して伸ばした（あるいはこれから伸ばす）霊的な力を守り、強めてください。それは皆さんにとって望ましい夫や父親となる際の最高の強みとなります。

姉妹の皆さん、イエス・キリストに従うための霊的な感受性、信仰、勇気は、皆さんが妻として、また母親として、持っている最高の特質の一つです。

皆さんが、賢明な勧告や励ましを現在のまたは将来の伴侶から求められるような人物となるようお勧めします。神殿で、この世においても永遠にわたっても結び固められる徳高い男性やふさわしい女性は、同等のパートナーとして、難しい事柄を成し遂げることができます。

決定を下すことについて、ニーファイや現代の預言者から学んだ教訓を応用してください。そうすれば、個人の啓示によって「時々」または「度々」導かれるとわたしは約束します。皆さんが、ニーファイのように、その決定の期間を通して成長するときに、次のように言う信仰が持てますように。

「わたしは、前もって自分のなすべきことを知らないまま、御霊に導かれて行った。

にもかかわらず、そのようにして進ん[だ]。』（1 ニーファイ 4：6－7）■

2014年2月4日、ブリガム・ヤング大学で行われたディボーションにおける説教、「Nevertheless I Went Forth」からの抜粋説教の全文（英語）は、speeches.byu.edu にアクセスすれば閲覧できます。

注

1. ロバート・D・ヘイルズ「アロン神権者へ——決意の10年間に備える」『リアホナ』2007年5月号、48－51
2. リチャード・G・スコット「祈りという天与の賜物を用いる」『リアホナ』2007年5月号、10
3. リチャード・G・スコット「祈りという天与の賜物を用いる」、10
4. リチャード・G・スコット「祈りという天与の賜物を用いる」、10
5. リチャード・G・スコット「祈りという天与の賜物を用いる」、10
6. ダリン・H・オークス「主御自身の時に、主御自身の方法に従って」『リアホナ』2013年8月号、2
7. トーマス・S・モンソン「宝を探して」『リアホナ』2003年5月号、20
8. 「妻」、K・ショーン・サリバン「世界が見たモルモン書」『リアホナ』2000年12月号、37 参照

主をたずね 求めましょう

「あなたがたは、なぜ生きた方を死人の中にたずねているのか。
そのかたは、ここにはおられない。
よみがえられたのだ。」

(ルカ 24 : 5-6)



ジョセフ のおかげで

預言者ジョセフ・スミスのおかげで皆さんの生活が変わった
(または変わり得る) 6つの点を見つけてください。

神権部

テッド・バーンズ

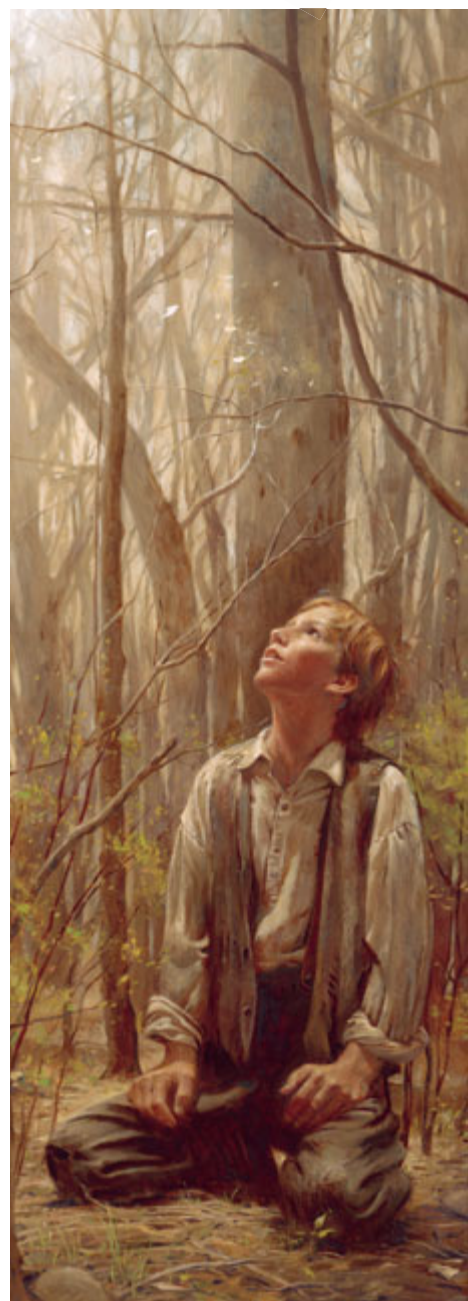
ジョセフ・スミスは170年以上前に亡くなりました。38年の短い生涯でしたが、その大半を彼は、最も詳しい地図でしか見つからないような辺りな場所
で過ごしました。彼が生涯で行った多くのことについて、皆さんはよく知って
いることでしょう。しかし、彼の行いからあなた個人がどんな影響を受けているかについて、考えたことがあるでしょうか。数え上げればきりがありませんが、まず以下の6つの点を挙げる事ができるでしょう。

ジョセフ・スミスのおかげで ——

1. 神とイエス・キリストが実際にはどのような方々なのか理解しています。

たとえジョセフ・スミスがいなくても、皆さんは父なる神とイエス・キリストを信じる信仰を失うことはないでしょう。聖書に対する証も持ち続けられるでしょう。しかし、考えてみてください。ジョセフ・スミスが回復したもの、すなわちモルモン書、教義と聖約、高価な真珠という力強く確かな証の書があるおかげで、皆さんの理解がどれほど深く豊かになったことでしょう。例えば、皆さんは世の中のほとんどの人が知らない事柄を知っています。それは復活された救い主がアメリカ大陸を訪れたことです。その結果、主の言葉を借りれば、主は単に「イスラエルの神〔であられるだけでなく〕、全地の神であられ」ることが証明されたのです(3 ニーファイ 11:14)。

考えてみてください。ニーファイ、アルマ、モロナイのような預言者たちの力強い証言のおかげで、天の御父とイエス・キリストに対する皆さんの証がどれほど強められたことでしょう。言うまでもなく、ジョセフ・スミス自身も同じで、こう宣言しました。「小羊は生きておられる。わたしたちはまことに神の右に小羊を見たからである。」(教義と聖約 76:22-23) 神とイエス・キリストを信じることに疑問が投げかけられ、しばしば信仰が捨てられてしまうこの時代にあって、このように光が増し加えられたのは何と大きな祝福でしょう。





3.

家族は永遠に続くことができます。

結婚と家族の大切さについて、これほど多くの人が混乱しているのはなぜでしょうか。その理由はたぶん、ジョセフ・スミスを通して回復された教義を知らないからでしょう。すなわち、結婚と家族が神によって定められたものであり、永遠に続くように意図されているという教義です（教義と聖約 49：15；132：7 参照）。結婚と家族は、単に人が作った、時代遅れの慣習ではありません。天の永遠の秩序の一環なのです。そして、ジョセフ・スミスを通して回復された神権の鍵と神殿の儀式のおかげで、地上にいるときに永遠の家族を築き始めることができるのです。

2.

自分が神の子であり、他の人も皆そうであることを知っています。

ジョセフ・スミスが回復した最も重要な真理は恐らく、人と神の関係についての真理でしょう。¹ 神は文字どおりわたしたちの御父です。その事実から生じる事柄について、深く考えたことがあるでしょうか。自分自身に対する見方が変わります。世間からどう思われているかに関係なく、皆さんは神から愛されている神の子であり、神の特質を内に秘めているのです。また、他の人に対する見方が変わります。突然、誰もが、つまり全ての人があなたの兄弟または姉妹になるのです。さらに、人生そのものに対する見方が変わります。人生の幸福と試練は全て、あなたが天の御父のようになるために御父が用意された計画の一部なのです。まさに初等協会で歌われているとおりですね。²

4.

神権とその祝福にあずかることができます。

神がジョセフ・スミスを通して神の神権を回復してくださったおかげで、皆さんはバプテスマの儀式と聖霊の賜物を受けることができます。癒やしと慰め、導きなどの神権の祝福を求めることができます。神と結ばれるための神聖な聖約を交わすことができます。そして、毎週聖餐を受けるときに、この聖約を新たにすることができます。神権の儀式を通して、神の力が皆さんの生活に注がれます（教義と聖約 84：20－21 参照）。これらは全て、ジョセフ・スミスを通して成し遂げられた業がなければ不可能なのです。



5.

有害な物質への依存
という束縛から
自由な状態にあります。

ジョセフが1833年に受けた啓示に従っていれば少なくとも自由でいられる可能性があります。この啓示が与えられたのは、たばこが肺がんの原因となり、アルコールが肝臓病と関連があることが臨床的に証明されるよりもずっと前のことです。神の英知を明らかにする預言者がいるのに、世の知恵が追いつくのを待つ必要があるでしょうか。「知恵の言葉」から分かるのは、神がわたしたちの霊だけでなく肉体についても心にかけておられるということです(教義と聖約89章参照)。ジョセフ・スミスに与えられた啓示が示すように、結局のところ、肉体を持つことによって、わたしたちは天の御父から遠くののではなく、御父に近づくことができるのです。そして御父も骨肉の肉体を持っておられるのです(教義と聖約130:22参照)。

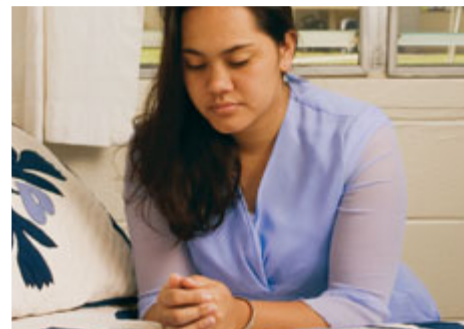
話し合いに参加する

日曜日に備えて、深く考える事柄

- 預言者ジョセフ・スミスに対する証を強めるにはどうしたらよいでしょうか。
- 言葉と行動を通して、生ける預言者への感謝を一層よく示すにはどうしたらよいでしょうか。

実践してみる事柄

- 預言者ジョセフ・スミスが自分の生活に与えた影響について、教会で家族や友達に伝えたり、あるいはソーシャルメディアで伝えたりする。
- ジョセフ・スミスと同じように、自分が疑問に思っていることを天の御父に尋ねる。時間を取ってひざまずいて祈り、天の御父に導きを求める。その後しばらくの間待つ、心に浮かぶ考えや思いに注意する。思ったことを日記に書く。
- 2014年10月の総大会におけるニール・L・アンダーセン長老の説教「ジョセフ・スミス」を読む。ジョセフ・スミスに対する証を強め、分かち合うことについて長老が挙げた二つのアイデアを応用する計画を立てる。



6.

聖霊を通して自分自身で真理を知ることができます。

若きジョセフが聖なる森に入ったのは1820年でした。当時多くの教会では、啓示は過去のものと広く信じられていました。ジョセフの最初の示現はそれが誤りであることを証明しました。天が開かれました。しかも、預言者だけに開かれたものではありません。疑問を持つ人はだれでも、謙虚に熱心に求め

るなら、答えを受けることができるのです(教義と聖約42:61;88:63参照)。例えば、ジョセフ・スミスが神の預言者であったことを自分自身で見いだすことができます。その方法は、ジョセフが見いだしたのと同じように、神御自身に尋ねることです。

ここに挙げた事柄はほんの一例です。皆さんなら何を付け加えるでしょうか。ジョセフ・スミスのおかげで皆さんの生活はどのように変わったでしょうか。■

注

- 1.『歴代大管長の教え——ジョセフ・スミス』37-44参照
- 2.『神の子です』『賛美歌』189番参照

「わたしたちにとって **生ける預言者は、**
過去の預言者よりも **大切です。**

……神からアダムに与えられた啓示は、ノアに箱舟の作り方を教えるものではありませんでした。ノアは自分自身のための啓示が必要でした。したがって、皆さんやわたしにとって最も大切な預言者は、現代に生きている預言者、すなわち主がわたしたちに対する^{みこころ}御心を明らかにされている預言者です。ですから、わたしたちが読むことのできる最も大切な言葉は、毎月教会の機関誌に掲載されている……預言者の言葉です。また、半年ごとに総大会の説教を通して教えや導きが与えられ、それらは機関誌〔『リアホナ』〕に掲載されます。……

過去の預言者の言葉を使って生ける預言者に対抗しようとする人には注意してください。 **常に生ける預言者が優先します。■**

エズラ・タフト・ベンソン大管長 (1899 - 1994 年)
“Fourteen Fundamentals in Following the Prophet”
(ブリガム・ヤング大学ディボーションアル, 1980 年 2 月 26 日),
2, speeches.byu.edu

あなたの意見を聞かせてください

生ける預言者を支持することは、あなたにとってどのような意味がありますか。
あなたの考えを家族や友人に話したり、ソーシャルメディアで伝えたりしましょう。



救い主が 示された 従順の模範

主の模範は、
わたしたちが皆従うべき規範です。

「わたしたちが救い主の生涯から学ぶ全ての教訓の中で、従順の教訓以上に明確で力強いものではありません」と十二使徒定員会のロバート・D・ヘイルズ長老は2014年4月の総大会で教えています。救い主の模範は、わたしたちになぜ天の御父に従うことが大切だけでなくどのように従順になれるかを教えます。救い主の教導の業における以下の模範について復習しながら、それらの模範が人生においてあなたの進むべき道をどのように示しているか考えてください。

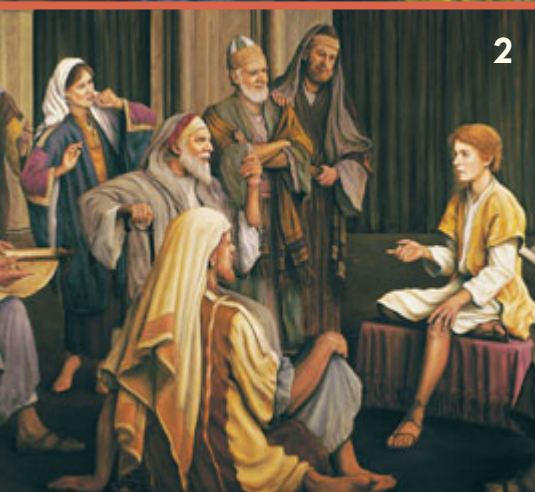
「わたし自身の
考えですのではなく、
わたしを
つかわされたかたの、
み旨を求めている
からである。」

(ヨハネ 5:30。ヨハネ 6:38；
8:28-29；14:31も参照)



あなたは何をしたら よいでしょうか。

ヘイルズ長老は次のように言っています。「イエスは、理解しやすい簡潔な言葉で、従うようわたしたちに教えておられます。『もしあなたがたがわたしを愛するならば、わたしのいましめを守るべきである。』〔ヨハネ 14:15〕そして『わたしに従ってきなさい。』〔ルカ 18:22〕」さらに従順になるために、今日何をしますか。



2

1. イエスは罪がなかったにもかかわらず、「すべての正しいことを成就するため」にバプテスマを受けられた（マタイ 3:13-17。2ニーファイ 31:4-7; ヨハネ 3:5 も参照）。

2. 12 歳のとき、ヨセフとマリヤはイエスが神殿で教えているのを見つけたとき、イエスは「両親にお仕えになっ〔て〕」両親と一緒に従順に家に帰られた（ルカ 2:42-51 参照）。

3. イエスは、もしできることなら杯を取りのけてくださいと願われたが、ゲツセマネの園において甘んじて苦しみを受けられた（マタイ 26:36-44; ルカ 22:39-54 参照）。

4. イエスは安息日を守り、会堂での礼拝に出席された（ルカ 4:16-44 参照）。

5. イエスは、御父の業と栄光が成就するよう、人々の裁きを甘んじてお受けになった（イザヤ 53:7; マタイ 26:53; モーセ 1:39 参照）。

6. イエスは邪悪な人々が御自分をはりつけにするのを許し、業を終えられた（マタイ 27:35; ヨハネ 10:17-18; ガラテヤ 1:3-5 参照）。

3



救い主は従順であられたので



「救い主は従順であったため、わたしたちの罪を贖い、わたしたちの復活を可能にし、わたしたちが天の御父のみもとに帰る道を備えられました。御父は、わたしたちが死すべき世で従順を学ぶとき、間違いを犯すということをお許しなさい。わたしたちは従うときに、救い主の犠牲を受け入れます。なぜなら、わたしたちは、イエス・キリストの贖罪により、全人類は救われます。したがって、わたしたちは、イエス・キリストの贖罪により、全人類は救われます。なぜなら、わたしたちは、イエス・キリストの贖罪により、全人類は救われます。」

福音の律法と儀式、また与えられた戒めに従うことによって救われ得ると信じるからです。」
十二使徒定員会 ロバート・D・ヘイルズ長老
「もしあなたがたがわたしを愛するならば、わたしのいましめを守るべきである」
「リアホナ」2014 年 5 月号, 35



1



6



7

青少年

「〔キリスト〕は
その務めの間中、
『数々の誘惑に
遭われたが、
それらを
少しも心に留められ』
ませんでした」

〔教義と聖約 20：22〕。

——ロバート・D・ヘイルズ長老



4



5



8



9

7. 常に御父に従順であるイエスは霊界を訪れ、霊界において伝道の業を組織された（1ペテロ 3：18－20；4：6 参照）。

8. イエスはサタンの誘惑を受けられたが、屈することはなかった（マタイ 4：1－11；教義と聖約 20：22 参照）。

9. イエス・キリストは引き続き御父の御心を行^{みこころ}い、教会を導かれている（ジョセフ・スミス—歴史 1：16－17；教義と聖約 19：2，24 参照）。



消防士と神の武具

消防団でボランティアをしていたある日、何事もない静かな一日だったので、わたしはモルモン書を読むことにしました。わたしの読む姿を見て、一人の同僚が質問しました。現代において神の武具を身に着けるにはどうしたらよいかという質問でした。わたしたちが話していると、警報が鳴りだしました。近くの店で火事が起きたのです。

わたしたちは速やかに消防器具を身に着け、現場に直行しました。炎がかなり燃え広がっており、わたしたちが店に近づくと、こちらへ向かって何かが爆発しました。わたしたちは炎に飲み込まれてしまいました。爆発が起きたことで、同僚とわたしは数秒間混乱しました。しかし、身に着けていた器具と防火服のおかげで、けがはありませんでした。

消火の後、消防署へ戻ると、わたしは神の武具について尋ねたことを覚えているかと同僚に聞きました。同僚は覚えていると答えました。そこで、神の武具は自分たちの消防器具のようなものであると説明しました。サタンの強力な攻撃に耐えられるよう、いつも身に着けていなくてはならないのです。戒めを守ると、わたしたちは神の武具による守りの力で祝福され、聖霊が導いてくださるのです。■

フェルナンド・デ・ラ・ローザ・マロン
(メキシコ)



わたしの好きな聖句

サムエル上 16:7「わたしが見るところは人とは異なる。人は外の顔かたちを見、主は心を見る。」

わたしは教会に入る前、自分人並みの能力しかない、平凡な人間だと考えていました。人に与えることができるような価値のあるものは何もないと感じていました。拒まれ、傷つけられるのが怖くて、自分を見せることを恐れていました。周りの人間は皆、自分より強く、頭が良く、優れていると思っていました。

しかし、末日聖徒イエス・キリスト教会の会員になると、こういった見方が一変しました。わたしたちは皆、神の子供であり、神から特質を受け継いでいることを知ったのです。今は、誰の方が頭がいいとか、金持ちだとか、顔立ちがいいとか、比べ合う必要がないことが分かりました。主から見れば、わたしたちは皆、等しい価値を持つ存在であり、主だけがお裁きになるのです。それも、肉体的な特性ではなく、従順さや、主が示された道を進みたいという望みに基づいてお裁きになるのです。■

ジョアン・アズセナ (フィリピン)

日曜日に働いてくれますか？

15歳のとき、わたしはイエス・キリストの福音に対して強い証^{あかし}を得て、教会に入れたことをとても喜んでいました。当時、わたしは家族を支えるために働いていました。ところが、バプテスマを受けて間もなく、わたしは仕事を失いました。

家族が頼りにしているため、新しい仕事をすぐに見つけなければなりませんでしたが、わたしが応募した仕事はどれも、日曜日に働く必要がありました。日曜日は教会に行く必要があると知っていたので(教義と聖約 59:9-10 参照)、何件もの仕事を断りました。

2か月間探しても、仕事はまだ見つかりません。母親は教会員ではありませんでした。神を信じていましたが、わたしがあまりにたくさんの就職口を断っていたことで、とてもいらだっていました。

ある日、母は目に涙をためながらわたしにこう尋ねました。「あなたがこれほど忠実に正しいことを行っているのに、どうして神様はわたしたちをこのような状況に置かれているのかしら？」

わたしはこう答えました。「母さん、どうしてこういう状態

なのか理由は分からないけど、自分が正しいことをしていることは分かっているし、それだから神様はきっと祝福してくださるよ。」

次の朝、ある人からかなりの報酬を得られる仕事の話を持ちかけられました。重い荷物を1軒の家から別の家へ運ぶ仕事でした。非常に骨の折れる仕事でしたが、わたしはお金をもらおうとまっすぐ家に帰って、感謝の祈りをささげました。その後、日曜日に休める良い仕事を見つけ、それ以来は失業していません。

安息日^{きよ}を聖く保つことを選んでよかったです。人生にはいろいろなチャレンジがありますが、それらのチャレンジにめげずに強くなろうと努めれば、主は祝福して下さいます。■

サヒル・シャルマ (インド)





十二使徒定員会
ニール・L・
アンダーセン長老

賢明になる 方法

膨 大量の情報があふれている今日、何としても必要なのは知恵、すなわち学んでい
ることを応用するうえで**情報をより分けて識別する**ための知恵
です。

次のことを覚えておきましょう。

1. わたしたちは知恵を求めなければならぬ。
2. 知恵にはさまざまな大きさや特徴、特色がある。
3. 若いうちに身につける知恵は非常に大きな祝福をもたらす。
4. ある分野で身につけた知恵は、別の分野には転用できないこともある。
5. 世の知恵は、多くの場合とても貴重ではあるが、神の知恵に謙遜に従うときに最も大きな価値を持つ。

聖文には2種類の知恵について書かれています。世の知恵と神の知恵です。世の知恵には、良い面も悪い面もあります。最も否定的な説明をすれば、それは部分的な真理に、情報操作を加えたもので、自己中心的または

邪悪な目的を達成するためのものと言えるでしょう。

それほど悪くない種類の世の知恵もあります。実際のところ、とても有益なものです。この知恵は**勉強、熟考、観察、努力**によって意識的に習得できます。わたしたちが行う事柄において、とても有益で役に立ちます。善良で礼節ある人は、人生経験を重ねながらこの知恵を身につけていきます。

さらに大切なことは、世で成功するための知恵は、神の知恵より優先させてはならないという姿勢を持つことです。神の知恵の代用にできると考えてはなりません。

全ての知恵が等しく創造されたわけではありません。世の知恵と神の知恵に相いれない点があるとき、**自分の意志を神の知恵に従わせる**ことが必要です。

皆さんが直面している問題を幾つか採り上げてみましょう。紙の中心に縦線を1本引いてください。左側に世の知恵、右側に神の知恵を列挙します。相互に相反する面のある問題を書いてください。

皆さんはどのような選択をしていますか。

教義と聖約第45章は、救い主の再臨に先立つ出来事について書かれています。主はその中で10人のおとめについて再び語り、次のように言っておられます。「賢くて、真理を受け入れ、自分の導き手として聖なる御霊を受け、そして欺かれなかった者、すなわち、まことにわたしはあなたがたに言うが、彼らは切り倒されて火の中に投げ

込まれることなく、その日に堪えるであろう。」(教義と聖約45:57参照)

神の知恵を求めましょう。今、知恵について学べることはたくさんあります。皆さんが知恵、すなわち神の知恵を求めるときに主の祝福があると約束します。神はわたしたちに神の知恵を授けたいと切に願っておられます。そして、わたしたちが従順に、祈りながら求めるなら、必ず与えられるのです。■

2009年4月10日にブリガム・ヤング大学アイダホ校で行われた学位授与式での説教から。

自分にどのように 当てはめましたか

「いつも必ず二つの選択肢があります。自分の好きな方を選べます。しかし、賢明に選ぶようにしてください。主を選ぶことは毎日を過ごす中で助けとなり、聖霊が傍らにいてくださること、一つ一つの状況を切り抜けることができます。間違った方を選ぶと、不幸せな気持ちになります。一時的には幸せな感じがしても、後で結果を目にしたときに自分の選択を後悔するでしょう。いつも主の側に立ちましょう。必ずしも簡単なことではありませんが、そうする価値はあります。」

サミュエル・J (オーストリア)

そこが知りたい



悪いことが行われていると知っている
ダンスパーティー
 などに行っても
良い模範になれるでしょうか。

こう自問してください。「その状況にあってわたしが本当に示したいのはどんな模範だろうか。」薬物やアルコール、慎みを欠いた服装、挑発的な歌詞の音楽、みだらな踊りなどが伴う場所に行こうとしているのなら、それらがなくても楽しめることをどうすれば示せるか考えてみてください。周りの人たちはあなたのことをどう思うでしょうか。「信仰と標準のすばらしい模範だ」と思うでしょうか。それとも、「そもそもなぜここに来たんだ」と思うでしょうか。たいてい、行かない方がはるかに良い模範を示すことができます。それと分かっているがわざわざ誘惑に身をさらさずに済むからです。■

サタンはわたしの**思い**に
 どのような**影響**を
 与えるでしょうか。

天の御父は、わたしたちに道徳的な選択の自由、つまり善悪を選ぶ能力を授けてくださいました。天の御父は善いことを行うようわたしたちを強制することはなさいません。また、悪魔も悪を行うよう強制することはできません（『歴代大管長の教え——ジョセフ・スミス』214 参照）。つまり、あなたの思いについて言うと、悪魔はあなたが許容しない限りあなたに影響を与えることはできないのです。預言者ジョセフ・スミスはこう言いました。「わたしたちが心の中で同意し、

屈しない限り、サタンはわたしたちをそそのかして惑わすことはできません。」（『歴代大管長の教え——ジョセフ・スミス』213）また、こうも言っています。「わたしたちが許さない限り、悪魔はわたしたちを支配する力を持ちません。」（213）

さらに、聖文はこのように教えています。「あなたの心の思いと志を知っている者は神のほかにはだれもない……。」（教義と聖約6:16）

サタンは、本当はあなたが何を考えているか知らないのです。サタンにできるのは、誘惑し、そそのかすことだけです。しかし、あなたがサタンに従うことを選ぶなら、サタンはあなたに大きな影響力を及ぼし、誘惑は強まります。逆に、悪を拒み善を選ぶなら、あなたは強められ、祝福を受けるでしょう。■

一つの群れ、 一人の羊飼い

羊の群れの囲いは、主の民に対する救い主の守りについて
教えてください。



古代の羊の囲い

羊の囲いとは — 簡素な柵、または壁の囲い。

目的 — 特に夜間、肉食動物や強盗から羊の群れを守ること。

素材と建築様式 — 石造り。通常、壁の上をとげの多い枝で覆う。

一時的で簡易な囲いとして、とげの多い枝の分厚い束を使うこともよくあった。

洞窟を羊の囲いにすることもあった。小ぶりの岩や枝の柵を入りに置いた。

聖書からの情報

- 羊は、肉や乳、脂肪、羊毛、羊皮、角が取れる貴重な動物であり、最もよくいけにえとしてささげられました。
- イスラエルでは、オオカミやハイエナ、ヒョウ、ジャッカルなどの肉食動物が羊を狙っていました。古代には、ライオンと熊もこの地域に生息していました（サムエル上 17：33－37 参照）。
- 羊飼いはつえを使って羊を導き、棒と投石器を使って羊を守りました。
- 羊飼いは日中、食料と水のある所へ羊を連れて行き（詩篇 23：1－2 参照）、夜には羊を連れ帰りました。羊飼いは戻って来ると羊の数を数え、足りなければ、迷っている羊を捜しに行きました。その後、囲いの入り口に寝て羊の番をしました。
- イエス・キリストは御自身を「よい羊飼」と呼ばれました（ヨハネ 10：11－15 参照）。主はわたしたちのために命をささげてくださいましたからです。また、御自身を羊の門にたとえられました（ヨハネ 10：1－9 参照）。主を通して、わたしたちは霊的な養いと休息、平安、救い、昇栄を得るからです。
- 使徒パウロは教会を羊の群れにたとえました（使徒 20：28 参照）。



他の羊

救い主は、「この囲い|にいない他の羊」について語られました（ヨハネ 10：16）。これは、イスラエルの家から導き出されたニーファイ人とレーマン人を指しています（3 ニーファイ 15：14－24 参照）。主は、イスラエルの失われた部族を訪れるとも語られました（3 ニーファイ 15：20；16：1－3 参照）。

わたしたちが学べること

囲いとは――

群れが集まる場所。教会員であるわたしたちは、信仰と聖約、また文字どおりともに集うことを通して、一致というきずなで結ばれています。大管長会のヘンリー・B・アイリング管長はこのように教えています。「〔天の〕御父は、一致の喜びを与えることを強く望まれています、それは独りでは得られないのです。他の人と一緒に求め、ふさわしさを示さなくてはなりません。ですから、祝福を与えるという目的をもって、神がわたしたちに集まるようにと勧告されたのは、驚くことではありません。神はわたしたちに、家族として集まるよう望んでおられます。また、クラス、ワード、支部を設立され、しばしば集まるように命じられました。……そのような集まりに、すばらしい機会が待っているのです。わたしたちは祈ることができます。そして喜びをもたらし、奉仕の力を強めてくれる一致に向けて努力することができるのです。」（「一つに結ばれた心」『リアホナ』2008 年 11 月号, 69）

守りと休みを得られる場。イエス・キリストにあってわたしたちの「魂に休みが与えられ」ます（マタイ 11：29）。主の教会は「防御……、避け所」です（教義と聖約 115：6）。十二使徒定員会のボイド・K・パッカー会長はこのように教えています。「わたしたちは自分自身……の安全および防御のために、自分たちが交わした聖約を尊び、日々たゆまず、キリストの弟子に求められる従順な生活を送ります。」（「わたしの知っていること」『リアホナ』2013 年 5 月号, 7）

羊飼いに守られている。イエス・キリストはわたしたちを救う「よい羊飼」でられます。主は、わたしたちが死と罪を克服し、天の御父のもとに帰ることができるよう、苦しみ、亡くなられました。わたしたちがキリストのもとに来て主の戒めを守るならば、主は個人としても聖約の民としても、わたしたちを祝福し、導き、守ってくださいます。■

「どうしたら安心して、 問題や心配事を ビショップに話せるように なるでしょうか。」



自分が悩んでいることについてビショップに話すときに、不安を感じるのは自然なことです。初めて何かをするときや大人と話すときには不安になるものです。

しかし、ビショップは神から召された人です。イエス・キリストの献身的な弟子だから召されたの

です。ビショップは精いっぱい思いやりと理解を示してくれるでしょう。ビショップの目的は、あなたが救い主のもとに行って平安を見いだすことです。初めは自分の疑問や罪についてビショップに話すのに恥じらいを感じるかもしれませんが、そのことでビショップはあなたのことを悪く思ったりはしません。それどころか、あなたが改善したいと望んでいることを喜んでくれるでしょう。ビショップは話し合った内容を内密にしてくれます。

独りで重荷を背負う必要はありません。ビショップは、あなたが疑問の答えを見いだせるよう助けてくれます。また、必要に応じて、悔い改め、罪悪感や絶望、ふさわしくない点を、キリストの贖罪を通して克服できるよう助けてくれます。

ビショップと話すときに、ビショップの愛を感じるでしょう。ビショップはワードや支部全体に対して責任を負っていますが、特に若い男性と若い女性の福利に心を砕いています。助けを求めることによりビショップを困らせることはありません。

ビショップに話すための力と勇気を天の御父に祈り求めるとよいでしょう。天の御父はあなたを助ける権能をビショップにお授けになっているので、ビショップは喜んであなたを助けてくれます。心を開き、改善したいという望みを抱きながらビショップのもとへ行くなれば、ビショップ室を出るときには、前よりも心が軽くなっていることでしょう。

ビショップはあなたのことを 悪く思ったりはしません

あなたのワードのビショップは、悔い改めの段階を通してあなたを導く権能を与えられています。ビショップに頼ることでは、救い主を通して完全に悔い改めることができない場合があります。あるとき、わたしはビショップと話をしなければならなくなりました。ビショップは、わたしが救い主を見だし、経験したことのない深い傷を克服できるよう助けてくれました。あなたのビショップもあなたを助けたいと思っていますはずです。ビショップは、あなたの世話をする召しを受けており、その相談内容のためにあなたのことを悪く思ったりはしません。

マディソン・D, 18歳 (アメリカ合衆国, ユタ州)

ビショップは助けたいと思っています

最初、面接のたびに気まずい思いをしていました。でも、ビショップがいつもわたしが問題を解決できるよう助けようとしてくれていることに次第に気づくようになりました。ビショップを信頼してください。ビショップはワードという群れの羊飼いです。

ジェイミー・R, 19歳 (ボリビア, コチャバンバ)



ビショップはあなたの 信頼を裏切りません

ビショップは、10代の若者が助けを求める相手として、おそらく最も信頼に足る大人だということが分かりました。ビショップは決してあなたの信頼を裏切りません。ビショップと話す内容は全てビショップの胸の中に収められます。自分の問題を打ち明けるのがとても難しいことがあります。直接話す相手が、自分を愛し、気にかけて、自分のことを思ってくれている人であれば、そ

れほど難しいことではなくなるでしょう。
ニコル・S, 18 歳 (アメリカ合衆国, アイダホ州)



ビショップに 頼るべきです

ビショップや支部会長は、主のまことの僕です。聖霊と聖文から靈感を求めるとともに、導きを求めてビショップに頼るべきです。ビショップは神から導かれており、あなたの力になってくれることを理解しなければなりません。
スタニスラフ・R, 19 歳 (ウクライナ, ドネツク)



ビショップから 愛されていることを 思い出しましょう

ビショップと本当に話し合いたいことがあるなら、まず学校や他の一般的な話題から始めると話しやすいでしょう。悔い改めに関わる問題についてビショップに話す必要があるために不安を感じているならば、ビショップがあなたを愛していることを思い出しましょう。ビショップにどう思われるかを心配する必要はありません。キリストに近づきたいと思っているあなたを、ビショップが見下すはずなどないからです。

アシュリー・D, 17 歳 (アメリカ合衆国, アリゾナ州)



分かるように 祈ってください

ビショップと話すのに気が進まない理由を自問してください。あなたは、ビショップにはあなたが問題を解決する助けができないと思っているのでしょうか。ビショップがあなたを愛しており、あなたを助けるために召されていることが分かるよう祈ってください。

アダム・H, 13 歳 (アメリカ合衆国, カリフォルニア州)

過ちを犯しても

ビショップに告白することは難しく、恥ずかしいことかもしれませんが、でも、ビショップ室を出るとき、あなたはきっと心が軽くなっており、天の御父から愛されていると感じているでしょう。ビショップは、たとえあなたが過ちを犯しても、あなたに幸せになってもらいたいのです。

アマンダ・W, 16 歳 (アメリカ合衆国, ユタ州)

ビショップはあなたを助けるために 召されています

ビショップはワードの羊飼いです。神の力を受けており、あなたを助けられるよう最善を尽くしてくれます。そのことを覚えておいてください。恐れを感じたら、ビショップに話すための力を祈り求めることができます。最終的に、あなたはビショップのもとへ行ってもよかったと思うでしょう。そのかいがあったと感じるはずですよ。

サミュエル・H, 14 歳 (アメリカ合衆国, アイダホ州)

このテーマについて詳しくは、C・スコット・グロー「ビショップに告白する必要があるのはなぜでしょうか?」『リアホナ』2013 年 10 月号, 58 を参照してください。



ビショップを 信頼して 打ち明ける

「神権指導者、特にビショップからも助言を得ることができます。ビショップは標準を知っています。何を教えればよいか知っています。ビショップと話し合う機会を見つけてください。ビショップは単刀直入に立ち入った質問をする場合があるかもしれませんが、しかしビショップを信頼して、打ち明けてください。主が皆さんに何を望んでおられるか理解できるよう、ビショップに話してください。そして、道徳に関する教会の標準に従って生活すると決心してください。成人指導者との意義あるつながりは、道徳的な清さを保ち、ふさわしくあるための要となります。」

十二使徒定員会 M・ラッセル・バラード長老
「力に先駆ける清さ」
『リアホナ』1991 年 1 月号, 41

次回の質問

「末日聖徒であることで、
学校でからかわれます。
自分が信じていることを
擁護する必要があることは
分かっていますが、
簡単ではありません。
どうすれば、そのような
中傷をやめるよう彼らに言う
勇気を得られるでしょうか。」

あなたの意見と、高画質の写真(写真の掲載を希望する場合)を、2015 年 5 月 1 日必着で liahona@lds.org まで、電子メール (liahona@lds.org)、または郵送(3 ページの住所を参照)でお送りください。

電子メールまたは手紙には、次の情報と承認の意思を必ず明記してください。(1) 氏名、(2) 生年月日、(3) ワードまたは支部、(4) ステークまたは地方部、(5) 意見と写真の掲載を許可するというあなたの同意文、あなたが 18 歳未満の場合は保護者の同意文も必要です(電子メール可)。

掲載される際、誌面の都合上、あるいは明瞭な表現にするために編集されることがあります。

エリーは、^{じぶん}自分のヒーローが
だれか分かっていましたが、
こわくてそれが言えませんでした。

あなたのヒー

シャーロット・メイ・シェパード

^{ほんとう}本当にあったお話を^{はなし}もとに書かれました。

^{りょうしん}「良心にしたがって、^{しんこう}ほこりと信仰をもって、
ヒーローのように^い生きよう」(『子供の歌集』[英語] 158)

エリーはきんちょうして、^{おやゆび}親指のつめをか
みました。フィッツ先生が、^{みんな}みんなの
^{あいだ}間を回りながら、^{じゅんばん}順番にこう聞いていたの
です。

「あなたのヒーローはだれですか」と。
フィッツ先生がジェレミーに聞くと、
ジェレミーはすぐに「^{とう}お父さんで
す!」と、ほこらしげに答えました。

イラスト／ハシリョ・ファンブルティ

ローはだれですか

フィッツ先生はにっこりしました。「あなたはどうぞ、サラ？」

サラも、すぐに答えました。「アブラハム・リンカーンです。」

フィッツ先生が、次から次へと生徒に聞いていくのを聞きながら、エリーは心臓がどきどきしてくるのを感じました。みんな、一日中ヒーローについて話していました。そして今、クラス全員の前で、自分のヒーローがだれかを発表することになっているのです。

アンバーもジャスティンも、自分のヒーローはお母さんだと言いました。ウォルターは、おじいちゃんがヒーローだと言いました。他の何人かは、王様や大統領がヒーローだと言いました。

エリーの番になるまで、もうあと2、3人しか残っていません。ヒーローがだれかを考えなければなりません。それも、すぐにです。

エリーははずかしくなって、下を向いて自分のくつを見していました。ヒーローがだれかを思いつくのはむずかしくはありませんでした。自分のヒーローがだれかは、もう知っていたからです。それは、イエス・キリストでした。イエスは病人をいやし、死人をよみがえらせ、すべての人のつみの代価をしはらってくださいました。今まで生きた人の中で最も偉大なヒーローでした。エリーはただ、こわくてそれが言えなかったのです。

エリーは、イエス・キリストが自分のヒーローであることをクラス全員に話すことを思いながら、また親指のつめをかみきました。もしジェレミーに笑われたらどうしよう。休み時間サラとアンバーにかげ口を言われたらどうしよう。

もちろん、自分のヒーローはイエス・キリストだと知っていました。でも、だからと言ってそれをみんなに知らせる必要もないはずです。

フィッツ先生は、エリーのつくえの真ん前で立ち止まり、にっこりしました。「あなたのヒーローはだれなの、エリー？」

エリーは自分のとなりの列のみんなを見てから、フィッツ先生を見て答えました。「アブラハム・リンカーンです」と小さな声で言いました。

フィッツ先生の顔がかがやきました。「すばらしいわ」と言って、列の次の生徒の前に歩いて行きました。

先生が自分の前からいなくなったとたん、エリーはほっとしたかたの力がぬけました。ようやく終わりました。自分のヒーローがだれかをクラス全員に知ってもらうなど、二の次でした。

そのとき、「イエス・キリストです」という声がありました。

エリーは目を大きく開いて、ゆっくりとその声がする方を見ました。すると、同じ列の少しはなれた所に、まき毛の髪の子がすわっていました。細くてはずかしがり屋なその子は、いつも教室の後ろの方にすわっていました。エリーはその子の名前も知りませんでした。そのときまで、その子が話すのを聞いたことがありませんでした。

男の子をじろじろ見る生徒もいましたが、その子は気づきもしませんでした。男の子はただフィッツ先生を見上げて、もう一度言いました。「ぼくのヒーローはイエス・キリストです。」

フィッツ先生はえがおをかがやかせて、順番に聞き続けました。でも、エリーは感動のあまりただ男の子を見つめていました。エリーはこわくて、自分のヒーローがだれかを言えなかったのに、その男の子はちがいました。エリーの教会に行ってもいいのにです。でもその子は、むずかしいときでも、イエス・キリストを信じている人として、もはんとすることがどんなに大切かを知っていました。

エリーは男の子にほほえみかけました。もう自分のヒーローがだれかを言うのはこわくなくなりました。結局のところ、エリーのヒーローは二人になりました。■

このお話を書いた人はアメリカ合衆国カリフォルニア州に住んでいます。



いのり^{だ い せ い ど う}と大聖堂

マッケル・ジョージ

ほんとうに
本当にあったお話をもとに書かれました。

「たがいに愛し合うならば……あなたがた〔は〕わたしの弟子である……。」(ヨハネ 13:35)

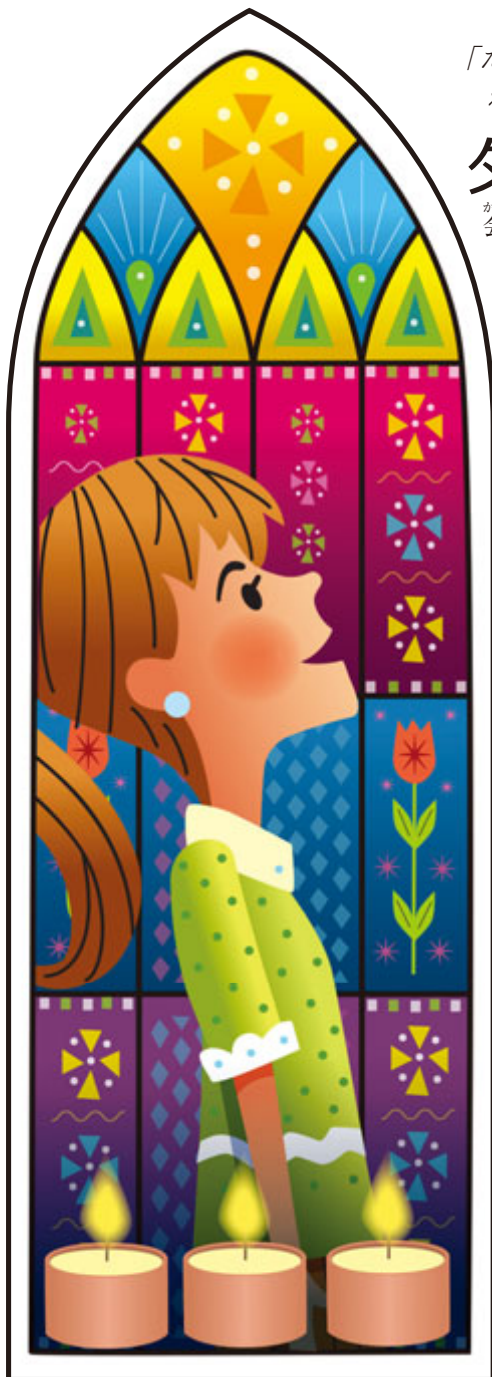
ダニは見上げましたが、美しい大聖堂のてっぺんはまだ見えませんでした。いろいろな教会の会員がそこに来ていました。ダニはなぜ金曜日に家族でこの教会に来ていいのか分かりませんでした。お父さんは「イブンスong」に行くのだと教えてくれました。

「それって何？」ダニが聞きました。「みんなが集まって、一緒に歌ったり、聖文を読んだり、いのりしたりする会のことだよ」とお父さんが教えてくれました。「一日の終わりに、大勢の家族が集まるみたいだね。」

ダニはその言葉のひびきが気に入りました。ダニは家族でイギリスをおとずれていました。先週の日曜日は、ヨークという町のワードに行きました。初等協会では、子供たち全員がダニと同じ聖文や歌を知っていました。ダニは、訪問したイギリスのワードも、いつもアメリカで自分が行っているワードと同じように、イエスの本当の教会だと知っていました。

でも、この大聖堂はダニがなれ親しんだ教会とは大分ちがっていました。ダニは、たくさんのろうそくが置いてある小さなテーブルがあるのに気づきました。ダニは、一人の男の子がろうそくに火をとすのを見ました。

「なぜろうそくに火をつけているの？」ダニがその男の子にたずねると、男の子はにっこりして答えました。「特別なことのためにいのるとき、ろうそくをつけるんだよ。ろうそくの火がもえている間、





「わたしたちは全ての人々を愛し、
良い聞き手となり、相手の誠実な
信念に関心をしめすべきです。」

十二使徒定員会、ダリン・H・オークス長老
「違いがあっても周りの人を愛し、受け入れる」
『リアホナ』2014年11月号、27

神様がそのいのりを聞いてくださるよう願うんだ。」

ダニには、普通のろうそくのように見えました。ダニは少し疑問を持ちましたが、失礼のないようにしたいと思い、男の子にほほえみかけました。

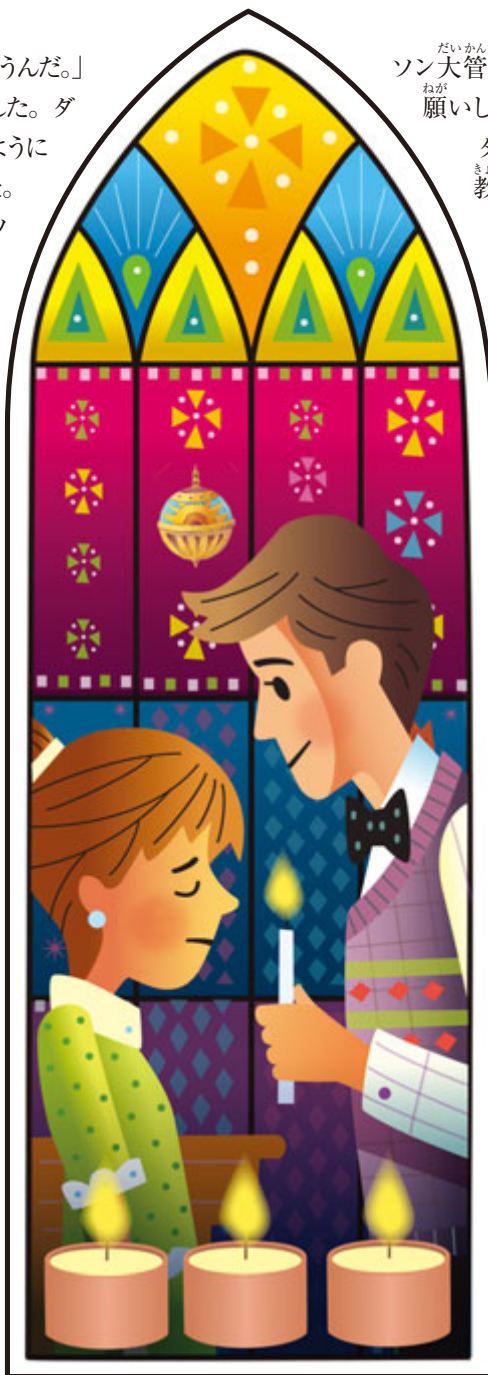
ダニと家族がすわると、やがてイーブンソングが始まりました。さっきの男の子が、数列先にいるのが見えました。そのとき、自分の全然知らない歌ばかりみんなが歌っているのに気づきました。おいりの後、みんなは小さな本を声に出して読みました。ダニがいつもやっていることとは、すべてがちがっているようでした。

でも、聞きなれないけれど、美しい音楽でした。すると、一人の男の人が立ち上がって聖文を読みました。いつもスーツを着ているダニのビショップとはちがい、その男の人はローブを着ていました。でも、その男の人が読み始めたのを聞いて、ダニの知っているお話であることに気づきました。イエスが10人の重い皮膚病にかかった人をいやされたお話でした。

ダニは「お父さん、わたしこのお話大好き」とささやきました。

お父さんはほほえみながら「お父さんもだよ」と言ってくれました。

そのとき、ローブを着た男の人がおいりをしました。病気の人や助けに必要な人を祝福してくださいと神様にお願いしていました。それはダニと同じでした。教会の指導者に特別な祝福があるようにともおいりしていました。ダニは、いつも家族でトーマス・S・モン



ソン大管長と二人の顧問を祝福してくださいとお願いしているのを思い出しました。

ダニの心が温くなりました。たとえちがう教会に行っていて、そこには完全な福音がなくとも、天のお父様はすべての子供たちを愛しておられて、すべてのいのりを聞いてくださると、天のお父様が教えてくださっているのが分かりました。

そこから出ようと立ち上がったとき、お父さんが携帯電話を見ました。メッセージを読んで、悲しそうな顔で言いました。「モンソンしまいがなくなれたよ。」

「そんな!」ダニは急いで、心の中でモンソン大管長が大丈夫であるようにいのりました。

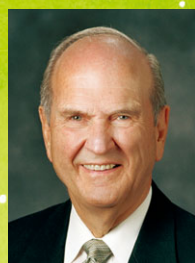
「大丈夫?」そうたずねる声がありました。さっきの男の子でした。ダニの声を聞いて、男の子は心配してくれたのです。

「モンソンしまいがなくなったの」とダニが言いました。「わたしたちの預言者、モンソン大管長のおくさんよ。」

「それは残念だったね。」男の子はやさしくそう言うてくれました。「かれのためにろうそくに火をとますよ。」

ダニは男の子にほほえんで、ありがとうと言いました。モンソン大管長のために特別ないのりをささげられるなんて、とても親切な男の子だと思いました。ダニが心の中でささげたおいりも、男の子のおいりも、天のお父様は同じように聞いてくださると知っていました。■

このお話を書いた人はアメリカ合衆国ユタ州に住んでいます。



十二使徒定員会

ラッセル・M・
ネルソン長老

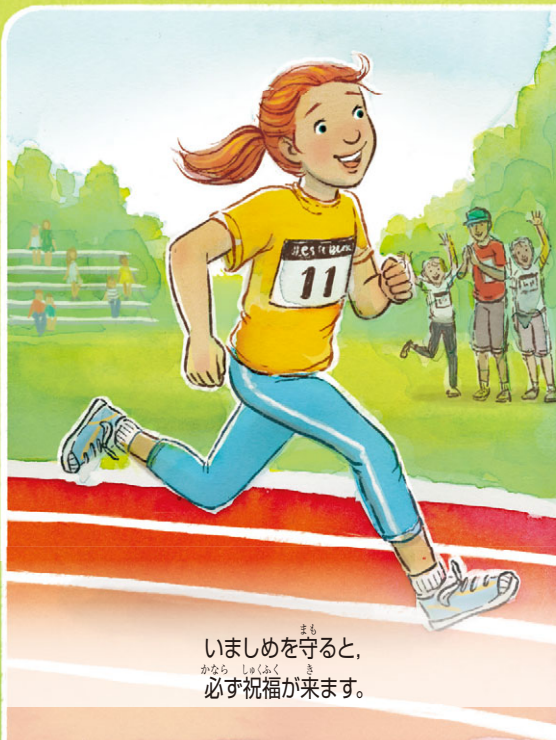
十二使徒定員会の会員は、
イエス・キリストの
特別な証人です。

じゅうじゅん

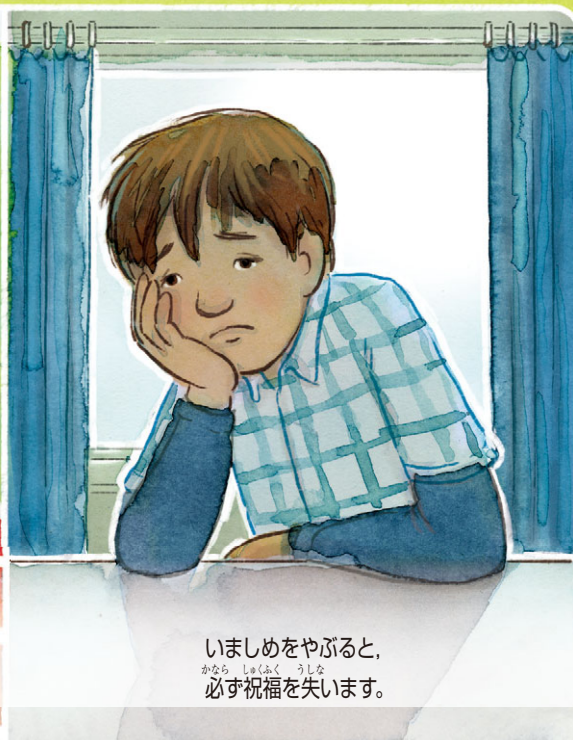
従順が

たいせつ

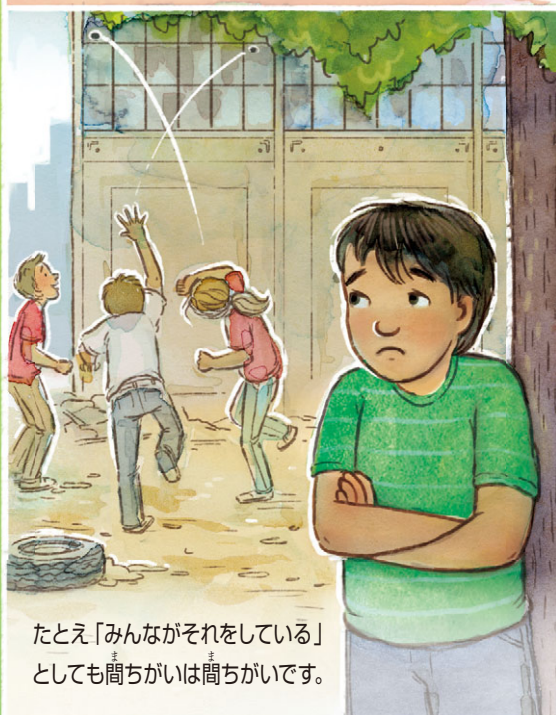
それほど大切なのは なぜですか



いましめを守ると、
かならず祝福が来ます。



いましめをやぶると、
かならず祝福を失います。



たとえ「みんながそれをしている」
としても間ちがいはいちがいです。



あなたが神様に従順であるとき、
信仰を表しているのです。

「これは
主^{しゅ}がもうけられた日^ひ
であって、
われらはこの日^ひに喜び^{よろこ}
楽しむ^{たの}であろう。」

——詩篇^{しへん} 118:24



おもい ひふびょうの 人を いやされる イエス



エリン・サンダーソン

自分が びょうきだったときのことを 考え
白 てください。あなたの ぐあいが よくな
るように、だれか 親切に してくれた 人が
いましたか。

新約聖書の 中には、イエスが びょうきの
人人に 親切に されたことが 書かれています。
ある日、ハンセンびょうという ひどい
ひふの びょうきの 男の 人が、イエスの
もとに やって来ました。その 男の 人は、
イエスが すべての びょうきの 人を いやす
ちから 力をもっておられると 知っていました。そ
して、イエスには 自分を いやすことが お
できになると しんじていました。イエスは
その人に ふれて「きよくなれ」と 言われま
した(マルコ1:41)。イエスが そう 言われ
ると、男の 人は いやされました。

わたしたちは イエスに ならって、びょうきの
人 や さびしい 人を あいし、親切に
することが できます。■

この お話を 書いた 人は アメリカがっしゅうこく
ユタしゅうに すんでいます。

かぞくで 話し合うための アイデア

74ページの、聖文の とうじょうじんぶつを つかって マ
ルコ1:40-42の お話を しましょう。それから、
ユダ1:22を よんで、かぞくとして だれかの 生活が
もっと よくなるように どんなことが できるか 計画して
みましょう。ないしょで だれかのために 何か してもよい
でしょう。

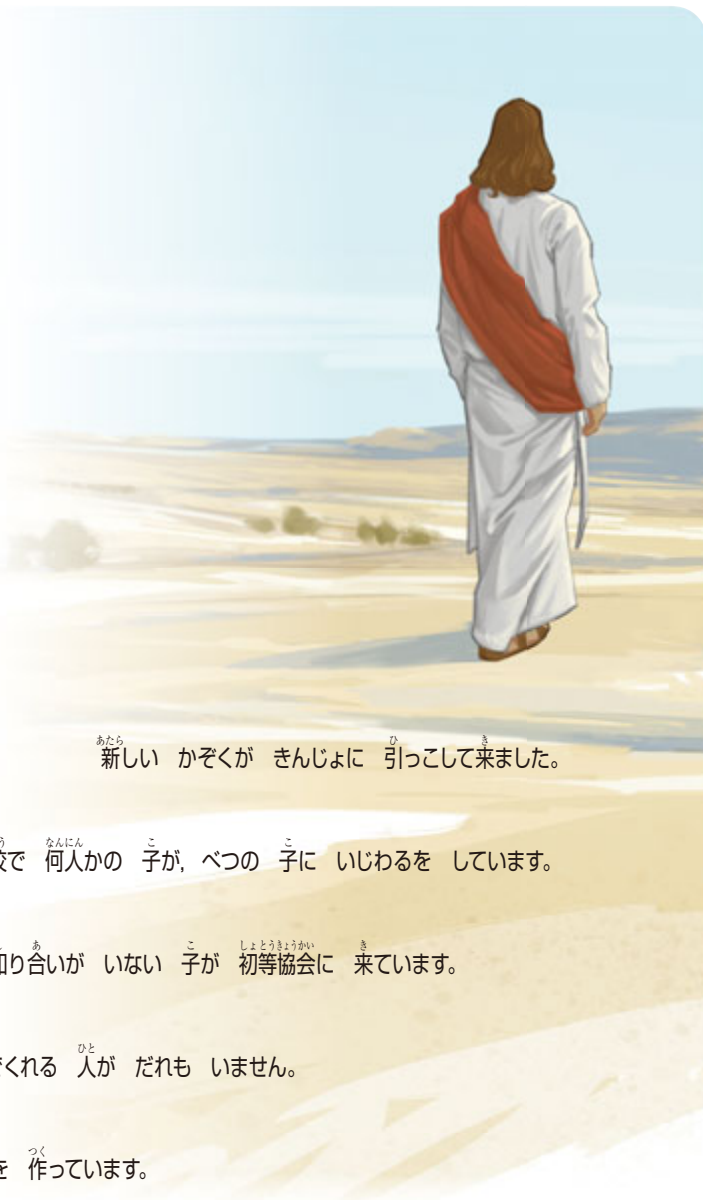
音楽——「イエスの話聞かせて」(『子供の歌集』36)

せいこく——マルコ1:40-42

ビデオ——Biblevideos.orgで、「あんそくに
あし 足が ふじゆうな 人を いやす イエス」(訳注——
に ほん こと 日本語のビデオは<https://www.youtube.com/watch?v=wic9vORZWVU>)と、「イエス 生まれ
つきの もう人を いやす」(訳注——日本語の
ビデオは<https://www.youtube.com/watch?v=4my5kZevlgw&index=36>)を 見てください。



つぎのような じょうきょうで、
ひとびと 人人に どのように あいを しめすことができるか
かぞくと いっしょに、 やくわりを きめて
ロールプレイを してみましょう。
このほかにも 自分で いくつか
じょうきょうを かんがえてみてください。



あたら
新しい かぞくが きんじょに ひっこしてきましました。

がっこう 学校で なんにん 何人かの こ 子が、 べつ の こ 子に いじわるを しています。

きょうかい だれも し あ 知り合いが い ない こ 子が しょうとうきょうかい 初等協会に き 来ています。

おとうと いもうと ひと
弟や 妹と いっしょに あそんでくれる 人が だれも いません。

あか 赤ちゃんが ないていて、 お母さんは ゆうはんを つく 作っています。

あなたの ワード／しづの ^{ひと} 人が、びょうきで ^{いえ} 家から ^で 出られません。

もっと ^{まな}学びましょう——^{ふくいんしょ}福音書

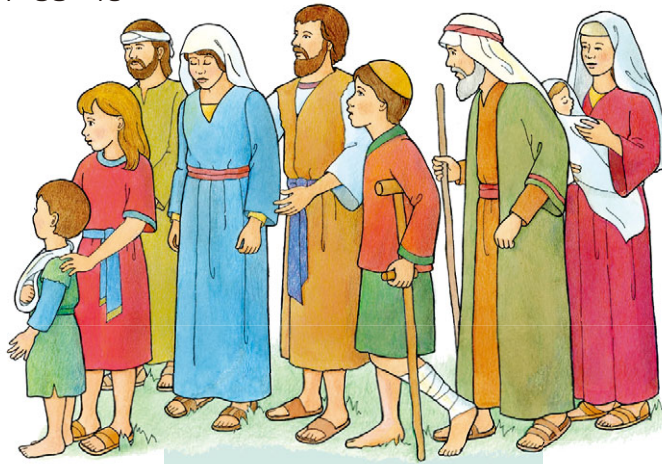
新約聖書には、福音書とよばれる4つのとくべつな書があります。イエスのでしたちによって書かれました。福音書には、イエスがこの地上で生活しておられたときのことか書かれています。おもひひびょうの人がいやされたお話は、3つの福音書に書かれています。マルコ1:40-42、マタイ8:2-4、ルカ5:12-14に書かれています。

せいぶんの ヒント——ことばを さがす

マルコ 1:41 では、あわれみという ことばが ^{せうしよ}つかわれています。聖書の
中 ^{なか}には いみが ^わ分らない むずかしい ことばが ^{ときとき}時々 ^で出て来ます。
知らない ことばが ^で出て来たら、『聖句ガイド』を ^{せいく}つかうと よいでしょう。
たとえば、「あわれみ」ということばを ^ひ引くと、その ことばの いみや、
その ことばを ^ひつかっている ほかの ^{せいく}せいを ^ひしらべることが ^でできます。
イエスが ^{ひと}おもい ひふびょうの ^{はなし}人を ^{なか}いやされた ^でお話の ^く中に ^で出て来る
ことばで、ほかに ^ひしらべられる ことばは ^あありますか？

びょうにんを いやされる イエス

マルコ 1:40-42; ルカ 4:38-40



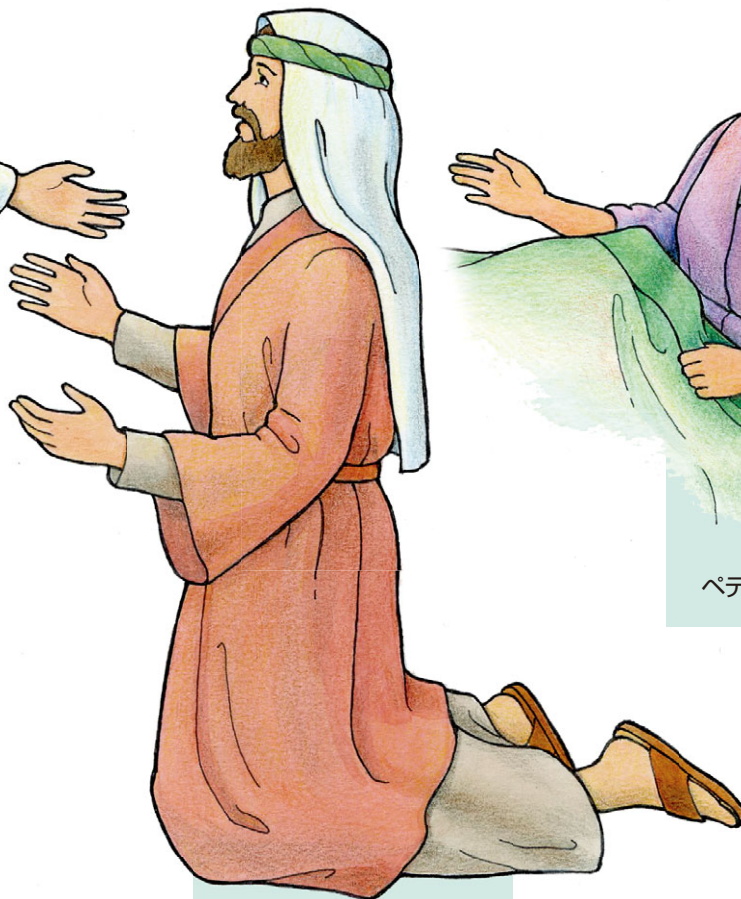
ぐんしゅう

この ページを あつ紙か
ダンボール紙に のりで
はりつけます。絵を 切り
とって、工 作 用 の ほう
か、紙ぶくろに つけます。
新約聖書の ものがたりを
えんじるときに つかいま
しょう。

liahona.lds.org で、たくさん
いんさつ できます。



イエス・キリスト



おもい ひふびょうの ひと



ペテロの ぎりの お母さん



七十人
クラウディオ・D・
シビック長老

正しい道



「あなたがたをつくった神の言葉を聞きなさい」
(教義と聖約 43:23)

何年も前、わたしたち家族は、アメリカ合衆国ユタ州のアーチーズ国立公園に行きました。公園で最も有名なアーチの一つにデリケートアーチがあります。わたしたちは山を登ってそこへ行くことにしました。

最初はりきって歩き始めたわたしたちでしたが、やがて、わたし以外の家族は、休みたいと言いました。早く着きたかったわたしは、一人で先に行くことにしました。どの道を進めばよいかなど気に留めず、わたしは自信まんまんで、前を歩く人の後ろについて行きました。

道は次第にけわしくなり、登るのが大変になっていきました。わたしは、この道を進むのは家族には到底無理だろうと思いました。すると突然、目の前にデリケートアーチが

すがたをあらわしました。でも、おどろいたことに、アーチにはたどり着けませんでした。わたしは、アーチにたどりつけない道に来てしまったのです。

とてもがっかりしたわたしは、もどることにしました。家族に会えるのが待ち遠しくてたまりませんでした。家族は、注意深くがんばって、そこまでの道をしめす標識にしたがったおかげでデリケートアーチに到着できたと説明してくれました。あいにく、わたしはあやまった道を進んでしまいました。何と貴重な教訓を学んだことでしょう。

天のお父様とともに住む永遠の命にいたる道を、見失わないでください。みなさんが学んでいる福音の原則といまじめにしたがってください。そうするなら、正しい道にとどまることができ、やがて天のお父様と永遠に住むようになるのです。■

「誤った道に進むのはやめましょう」『リアホナ』2014年5月号、39-41

イエスが わたしを あいしておられることを 知っています

ジェーン・マクブライド・チョート

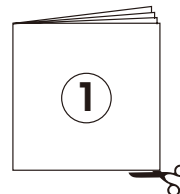
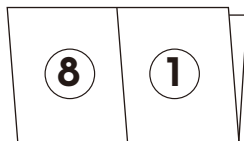
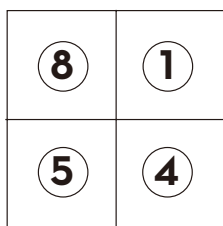
ほんとうに あった お話を もとに 書かれました。

レイニーは、^{きょうかい}教会で けいけんで
いようと とても がんばって
いました。でも、つかれて
しまい、^{あし}足を ぶらぶら
したくなってしまいました。

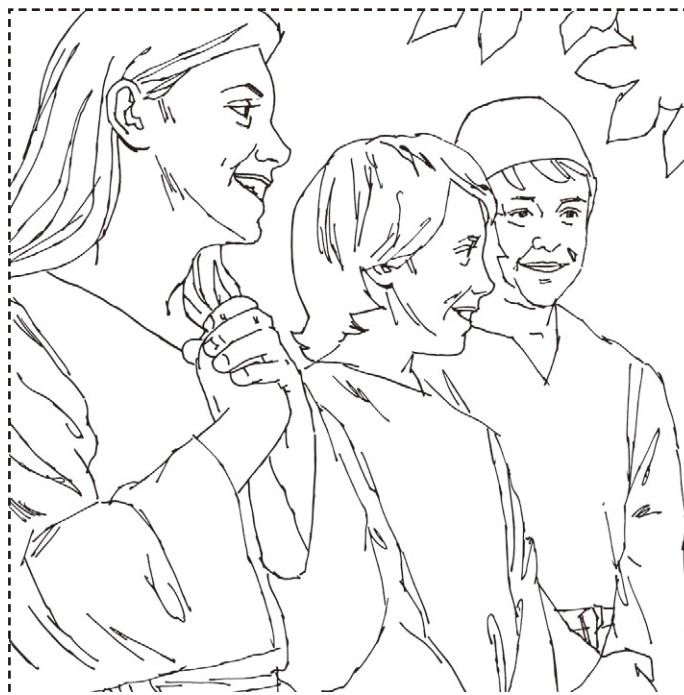


せいさんが おわると、レイニーは イエス
さまについて ^か書かれている ^{ほん}本を ひらき
ました。小さな ^{ちい}子どもたちと いっしょに
おられる イエスさまの ^え絵を ^み見つけました。
その ^え絵を ^み見ていると、^{こころ}心が ほっとして、
しあわせに なりました。

^{はなし}お話は 79 ページに つづきます。



1-切る



8

「すくいぬしは わたしを あいしておられると 知っています」
タミー・ジェップソン・クリーマー、デレナ・ベル



イエスさま

ほん

についての

1

2-おる

5

わたしは イエスさまに ふれたり、イエスさまの ひざに すわったことは
ないけれど、わたしは イエスさまが 本当に いらっしゃると かんじます。

イエスさまが その おさなごたちを あいされたように、イエスさまは
わたしのことも あいしてくださっていると 知っています。

4

4-切る



3-おる

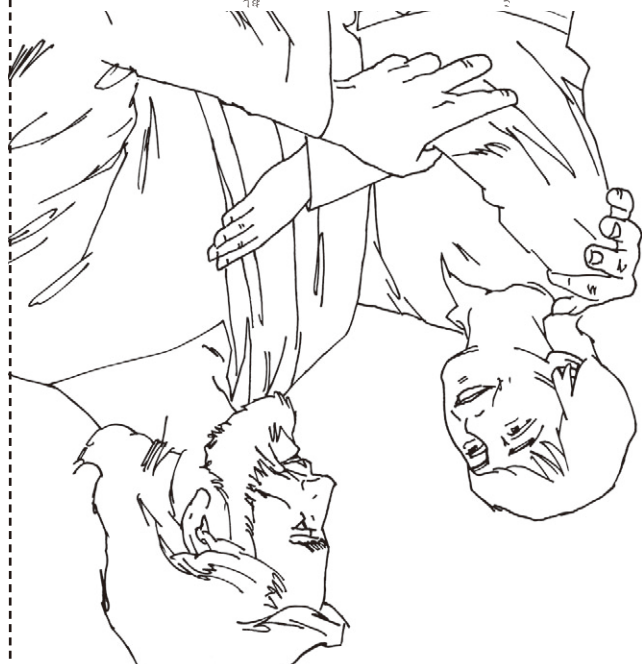


- ② むかしむかし、うつくしい ばしょで、
子どもたちは イエスさまの まわりに あつまりました。



- ⑦ ^{こころ}心を しゅに ささげます。
すくいぬしが わたしを あいしておられることを 知っています。

- ③ 子どもたち せんもんが、イエスさまが なみだを なかされるのを見ました。
子どもたちは イエスさまの あいを かんじました。
イエスさまは 子どもたちに しゅくふくと 教えを おあたえになり、



- ⑥ わたしは イエスさまが 生きておられることを 知っています。
わたしは ちゅうじつに イエスさまに したがいします。



おる



せいさん^{かい}会が おわった^{あと}後、レイニーは
お母^{かあ}さんに 聞^ききました。「イエスさまの
本^{ほん}を 見^みていると、ずっと かんたんに
けいけんに なれるのは どうして
かしら？」

「イエスさまが どん^じなに 自^じ分の
ことを あい^だしてくださっているかを
思^{おも}い出^だせるからだ^{おも}と 思^{おも}うわ」と
お母^{かあ}さんが 言^いいました。

レイニーは、うなずき
ました。「わたしも
イエスさまを あい^だして
いることを、イエス
さまは ごぞんじ
かしら？」と レイ
ニーが 聞^ききました。

すると、おかあさんは
レイニーを だきしめて
言^いいました。「ええ、
きっと ごぞんじよ。」■



この お話^{はなし}を 書^かいた 人^{ひと}は アメリカがっしゅうこく
コロラドしゅうに すんでいます。

大管長会が会員に家庭の夕べを勧めてから、今月で100年になります。以下は、家庭の夕べを紹介した大管長会の手紙の抜粋です。この手紙は1915年4月に出され、『インプループメント・エラ』(Improvement Era) 1915年6月号、733-734に掲載されました。原文(英語)の大文字と句読点は、現代の用法に修正されています。

愛する兄弟姉妹の皆さん、
わたしたちは末日聖徒の皆さんに、教義と聖約第68章で与えられている以下の主の戒めにさらに厳密に従うよう勧告します。

「さらにまた、シオンにおいて、……子供を持つ両親がいて、八歳のときに、悔い改め、生ける神の子キリストを信じる信仰、およびバプテスマと^{あんしゅ}按手による聖霊^{たまもの}の賜物の教義を理解するように彼らを教えなければ、罪はその両親の頭にある。

……また、彼らはその子供たちに祈ることと、主の前をまっすぐに歩むことも教えなければならない。」「[教義と聖約68:25-28 参照]

シオンの子らは、古代のイスラエルに与えられ、末日の聖徒たちにも繰り返し教えられている次の戒めにも、さらによく従わなければなりません。

「あなたの父と母を敬え。これは、あなたの神、主が賜わる地で、あなたが長く生きるためである。」「[出エジプト20:12]

この二つの啓示は末日聖徒に大いに当てはまります。この教会の父親と母親はこれらの戒めについて教え、家庭で実践しなければなりません。

この目的で、わたしたちは全教会が

「家庭の夕べ」を始めるよう勧告します。「家庭の夕べ」の時間には、父親と母親は家庭で息子娘を自分たちのもとに集めて主の言葉を教えるのです。こうすることによって家族に何が必要かがさらによく分かるようになると同時に、親も子供も、イエス・キリストの福音の

ゲームをするとよいでしょう。家庭でよく作っているような軽いお菓子を出しても結構です。

形式張ったことや堅苦しいことは極力避けて、家族全員が会の進行に参加できるようにしてください。

この集会は親が息子娘に警告や勧告、忠告の言葉を与える機会となるだけでなく、親と子供、兄弟姉妹が互いに信頼し合うようになる機会となるでしょう。これは、少年少女が父と母を敬う機会、家庭の祝福への感謝を表す機会となり、主の約束が文字どおり成就して、彼らは長く幸せに生きることができるようになるのです。……

わたしたちは……家庭の夕べを行う日の夜には家にいて、この夕べを有益で役に立つ、興味深いものとするために精力を注ぐよう若い人たちに勧めます。

聖徒たちがこの勧告に従うならば大きな祝福が与えられることを約束します。家庭に愛があふれ、子供たちは親に従うようになるでしょう。イスラエルの若者たちの心に信仰が育まれ、彼らは自分たちに付きまとう悪の影響や誘惑と闘う力を得るでしょう。

大管長会

ジョセフ・F・スミス

アンソン・H・ランド

チャールズ・W・ペンローズ



家庭の夕べ 100周年



原則がさらによく理解できるようになります。この家庭で過ごす夕べのひとときでは、祈り、賛美歌その他の歌を歌い、楽器を演奏し、聖文を読み、家族の話題を話し、福音の原則と生活上の倫理的な問題について具体的に教え、さらに親や家庭、教会、社会、国に対する子供の務めと義務を教えます。小さな子供のためにはその年齢に見合った言葉の朗読や、歌、話、

洞 察



家庭の夕べを優先するにはどうしたらよいでしょうか。

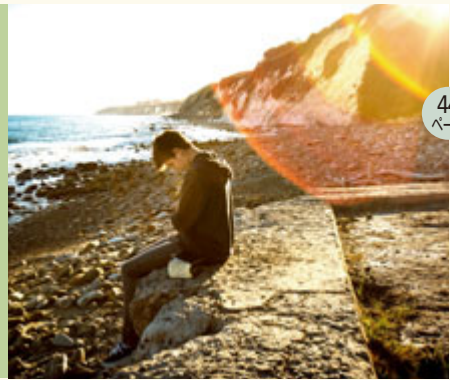
「家族を強め、家庭に平安を増し加えようと努力する際に、……毎週の家庭の夕べを忘れてはなりません。家庭の夕べを忙しい1日の単なる付け足しにしないように注意してください。月曜の夜は、その夕べのために家族全員が皆家庭に戻る決心をしてください。家庭で家族と一緒に過ごす時間よりも大切になるような仕事、スポーツ、クラブ活動、宿題、その他の予定を入れないようにしましょう。家庭の夕べの内容はともかく、家族で時間を共にすること、それこそが大切なのです。福音は改まった状況でも、打ち解けた状況でも教えるべきです。家族の誰にとっても有意義な経験となるようにしてください。」

今月号のその他の記事

ヤングアダルト

信仰 を込めて前進する

ニーファイの生涯から得られるこれらの4つの洞察は、あなた自身が決定を下す際に自信を与えてくれます。



44
ページ

青少年



50
ページ

ジョセフ のおかげで

預言者ジョセフ・スミスのおかげで皆さんの人生にどのような違いがもたらされているでしょうか。ここに紹介する6つの点について考えてみてください。

子ども

イエスがわたしを あいしておられることを 知っています

きょうかい 教会にいる間、あいだ けいけん_てでいられるよう助けてくれる
あなただけの_{ほん}本を作りましょう。



76
ページ

JAPANESE

4 02125 64300 9

12564 300

末日聖徒
イエス・キリスト
教会